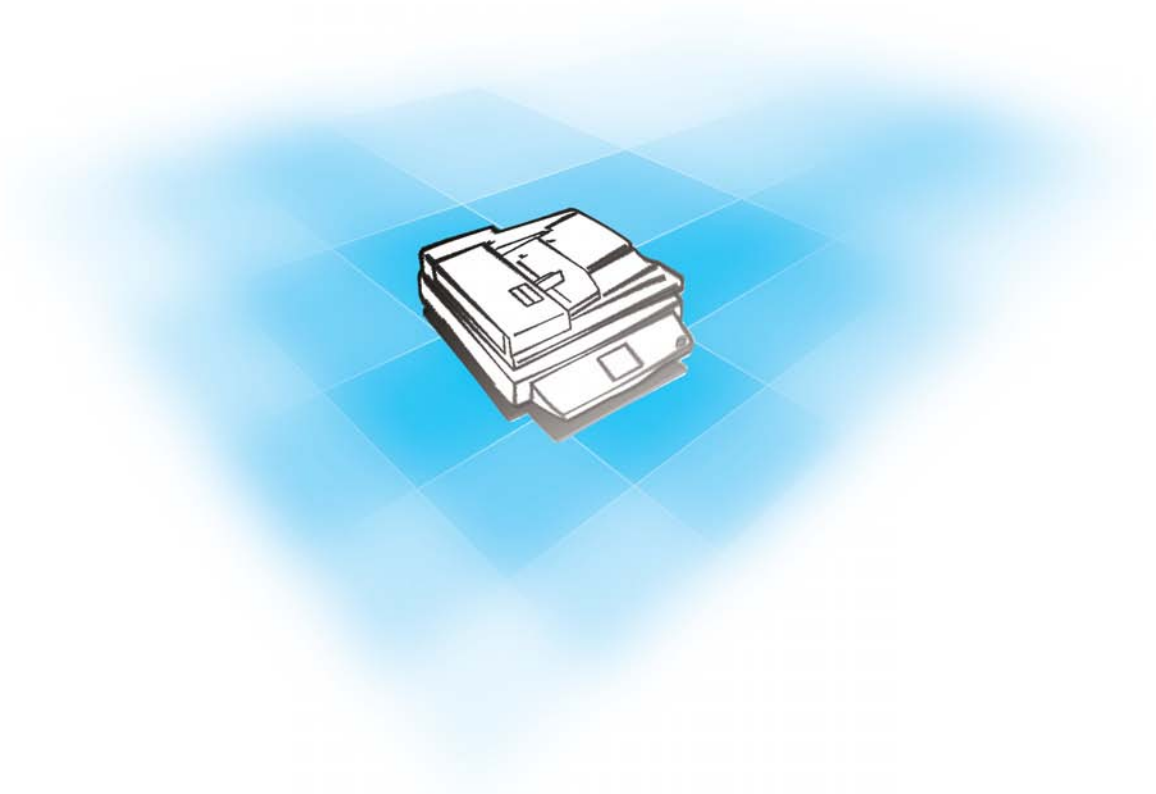
NEC

スキャナユニット

型番 PR-MW-SC51 / PR-MW-SC41



ユーザーズマニュアル

DE3771J9-2
第1版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

スキャナーを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠ 警 告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
⚠ 注 意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は、「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	破裂するおそれがあることを示します。		けがを負うおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。

行為の禁止

行為の禁止は、「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	スキャナーを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。
	水や液体のかかる場所で使用しないでください。感電や発火のおおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は、「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。

	スキャナーの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。		アース線を接続してください。感電や火災のおそれがあります。

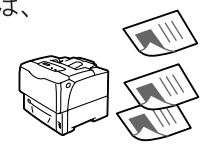
できることは？

スキャナユニットPR-MW-SC51/PR-MW-SC41で、
紙を読み込み、できること（メニュー）を紹介します。

・・・ 紙にコピーしたい

コピー

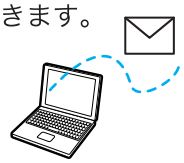
プリンターと接続すれば、
紙にコピーできます。
USB接続なので、
ネットワーク環境は
必要ありません。

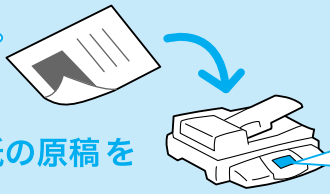


・・・ みんなにメールしたい

メール送信

メールに添付して送信できます。
メールなら特定の相手に
直接届けられます。
複数の相手にも同時に
送信できます。





スキャナーのメニュー画面

・・・ PCで使いたい

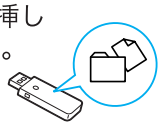
PC保存

自分のコンピューターの
指定したフォルダーに
手軽に取り込めます。
また、FTPサーバーに保存して、
みんなで利用することもできます。

・・・ 持ち運びたい

メディア保存

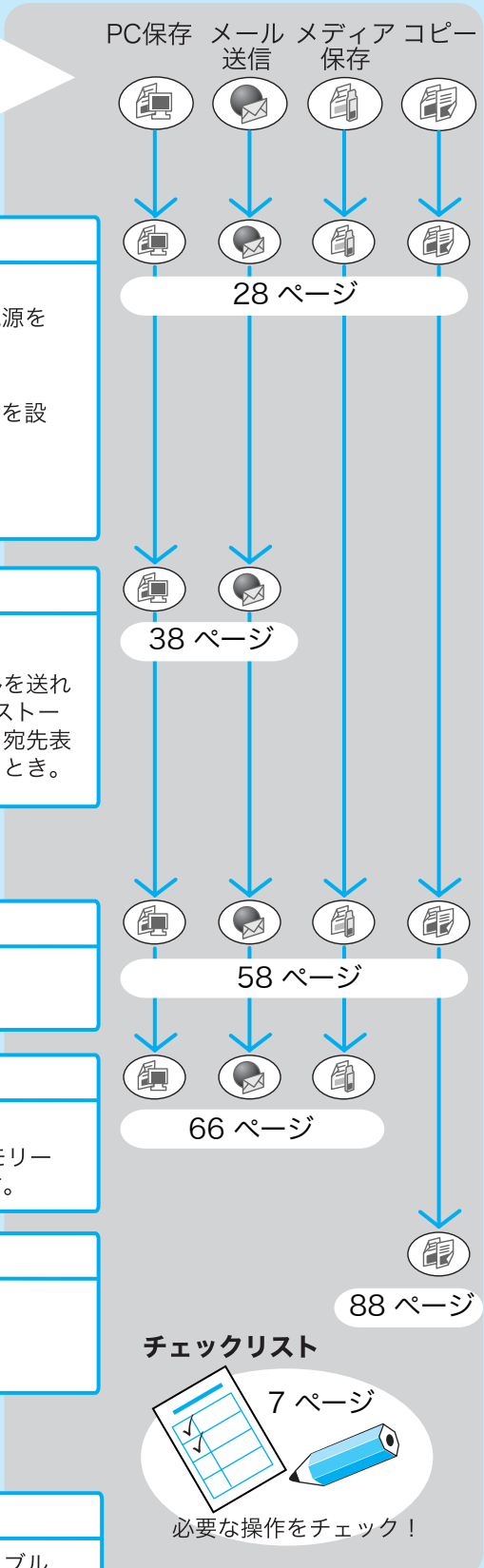
USBフラッシュメモリーを挿し
込んで、直接保存できます。
ネットワーク環境が
なくても、持ち運んで
コンピューターに入れられます。



スキャナーをご利用になる目的とあうメニューが見つかりましたか。
では、その名前とボタンを覚えておいてください。

読むページはここ！

利用するメニューによって、準備も操作も違います。
ボタンの矢印をたどって、本書をお読みください。



準備

1 スキャナーの設置（スキャナーでの作業）

はじめてお使いになるとき
スキャナーを箱から出す、キャリッジロックを解除する、電源を入れるとき。

【PC保存】/【メール送信】をする前に
ネットワークケーブルを接続する、スキャナーのIPアドレスを設定するとき。

【コピー】をする前に
スキャナーとプリンターを接続するとき。

2 スキャンの準備（コンピューターでの作業）

【PC保存】/【メール送信】をする前に
コンピューターに保存するためのフォルダーを作る、メールを送れるように設定する、MultiWriterスキャンマネージャをインストールする、スキャナーを選択する、保存先やメールの送信先を宛先表に登録するなど、コンピューター側でスキャンの準備をするとき。

基本操作

3 原稿のセット

紙の原稿をスキャナーにセットするとき。
使用してはいけない原稿などの注意事項もここにあります。

4 スキャンのしかた

【PC保存】/【メール送信】/【メディア保存】
コンピューターに保存、メールで送信、USBフラッシュメモリーに保存するとき。スキャンの設定項目一覧もここにあります。

5 コピーのしかた

【コピー】
接続したプリンターで、コピーするとき。
コピーの設定一覧もここにあります。

トラブル

6 困ったときには

原稿が詰まったときの対処方法、スキャナーの使い方やトラブルに関するQ&A、エラーコードの意味を知りたいとき。

目次

●安全にかかわる表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
●できることは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●読むページはここ！ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
●目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
●チェックリスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
●はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
●本書の表記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
●マニュアル体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
●安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・12
●法律上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

●各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
●電源切り時のお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
●節電モードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

1 スキャナーの設置 ・・・・・27

設置の流れ（スキャナーでの作業）・・・・・ 28
スキャナーを箱から出す ・・・・・・・・・・・・・ 29
キャリッジロックを解除する・・・・・・・・・・ 30
電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
ネットワークに接続する ・・・・・・・・・・・・・ 32
プリンターと接続する ・・・・・・・・・・・・・・・ 35

2 スキャンの準備 ・・・・・・・37

準備の流れ（コンピューターでの作業）・ 38
MultiWriter スキャンマネージャを
　インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
PC 保存の準備をする ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
メール送信の準備をする ・・・・・・・・・・・・・ 42
宛先を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
こんなときの準備は ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
いつも使う設定を保存する ・・・・・・・・・・・・ 55

3 原稿セットのしかた・・ 57

使用できる原稿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
使用できない原稿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
原稿をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

4 スキャンのしかた ・・・・ 65

PC 保存する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
メール送信する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
件名、コメントを設定する・・・・・・・・・・・・・ 76
メディア保存する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
次の原稿があるとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
プレビューを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
スキャンを中止する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
スキャンの設定項目の紹介・・・・・・・・・・・・・ 83
DocuWorks を利用する ・・・・・・・・・・・・・・ 85

5 コピーのしかた・・・・・・・ 87

コピーする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
コピーを中止する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
コピーの設定項目の紹介・・・・・・・・・・・・・・・ 92

6 困ったときには・・・・・・・ 93

原稿が詰まって困った・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
スキャナーの使い方で困った・・・・・・・・・・・ 97
エラーコードで困った・・・・・・・・・・・・・・・・111

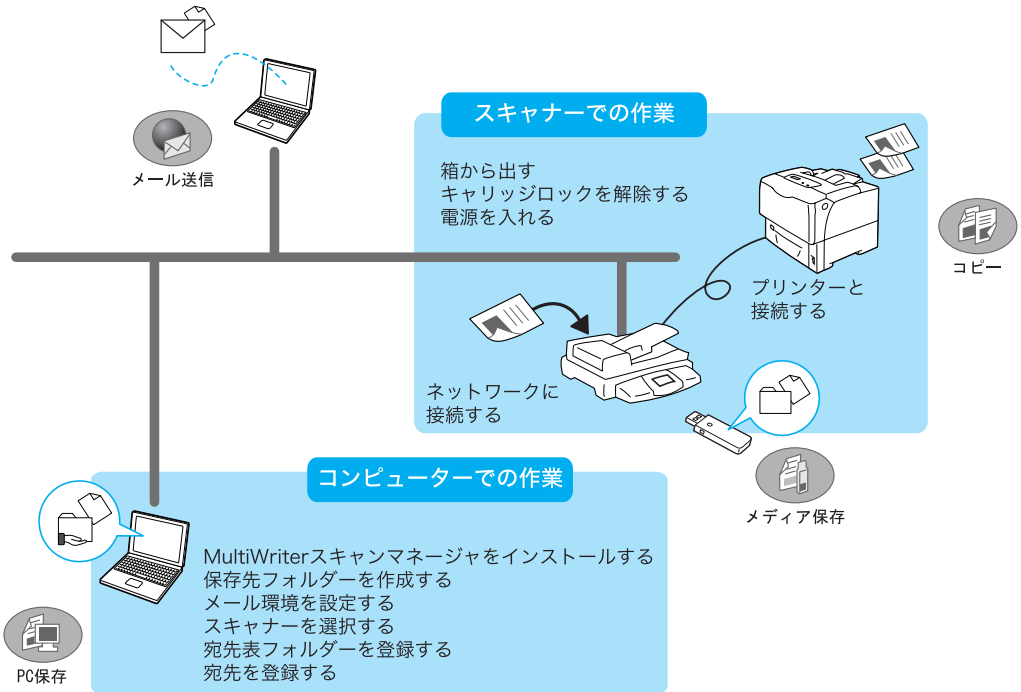
●オプション品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124
●製品情報の入手方法・・・・・・・・・・・・・・・・・124
●保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・125
●索引 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128

チェックリスト

このページをコピーして ☑ を付け、ご利用いただけます。

このチェックリストの項目をひとつずつ操作していくと、スキャンやコピーができます。
スキャンやコピーまでの、操作の全体をつかみたいときにも、ご活用ください。

	【PC 保存】	【メール送信】	【メディア保存】	【コピー】
スキャナーでの作業	☐ 箱から出す (29 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (30 ページ) ☐ 電源を入れる (31 ページ) ☐ ネットワークに接続する (32 ページ)	☐ 箱から出す (29 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (30 ページ) ☐ 電源を入れる (31 ページ) ☐ ネットワークに接続する (32 ページ)	☐ 箱から出す (29 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (30 ページ) ☐ 電源を入れる (31 ページ)	☐ 箱から出す (29 ページ) ☐ キャリッジロックを解除する (30 ページ) ☐ 電源を入れる (31 ページ) ☐ プリンターと接続する (35 ページ)
コンピューターでの作業	☐ MultiWriter スキャンマネージャをインストールする (39 ページ) ☐ 保存先フォルダーを作成する (40 ページ) ☐ スキャナーを選択する (46 ページ) ☐ 宛先表フォルダーを登録する (47 ページ) ☐ 宛先を登録する (48 ページ)	☐ MultiWriter スキャンマネージャをインストールする (39 ページ) ☐ メール環境を設定する (42 ページ) ☐ スキャナーを選択する (46 ページ) ☐ 宛先表フォルダーを登録する (47 ページ) ☐ 宛先を登録する (51 ページ)	↓	↓
	☐ 原稿をセットする (60 ページ) ☐ スキャンする (67 ページ)	☐ 原稿をセットする (60 ページ) ☐ スキャンする (71 ページ)	☐ 原稿をセットする (60 ページ) ☐ スキャンする (77 ページ)	☐ 原稿をセットする (60 ページ) ☐ コピーする (88 ページ)
	☐ スキャン結果を確認する (70 ページ)	☐ スキャン結果を確認する (75 ページ)	☐ スキャン結果を確認する (79 ページ)	●



はじめに

このたびはスキャナユニット PR-MW-SC51/PR-MW-SC41 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書には、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、本機でスキャンするための準備、基本的な操作方法、使用上の注意事項などについて記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。
本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。
本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

日本電気株式会社

NEC、NEC ロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。
Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の各国での登録商標または商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を受けています。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の米国およびその他の国における商標です。
MULTIWRITER、Ethernet（イーサネット）、CentreWare、DocuWorks は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーが得られないことがあります。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意
①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

本書の表記

本書で使用している記号

本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

PC保存	PC 保存機能を使用する（スキャンデータをコンピューターに保存する）場合にお読みください。	メール送信	メール送信機能を使用する（スキャンデータをメールに添付して送信する）場合にお読みください。
コピー	コピー機能を使用する（スキャンデータを直接プリンターから印刷する）場合にお読みください。	メディア保存	メディア保存機能を使用する（スキャンデータをUSBフラッシュメモリーに保存する）場合にお読みください。

注記 ： 注意すべき事項を記述しています。

ポイント ： 補足事項を記述しています。

➔ ： 参照先を記述しています。

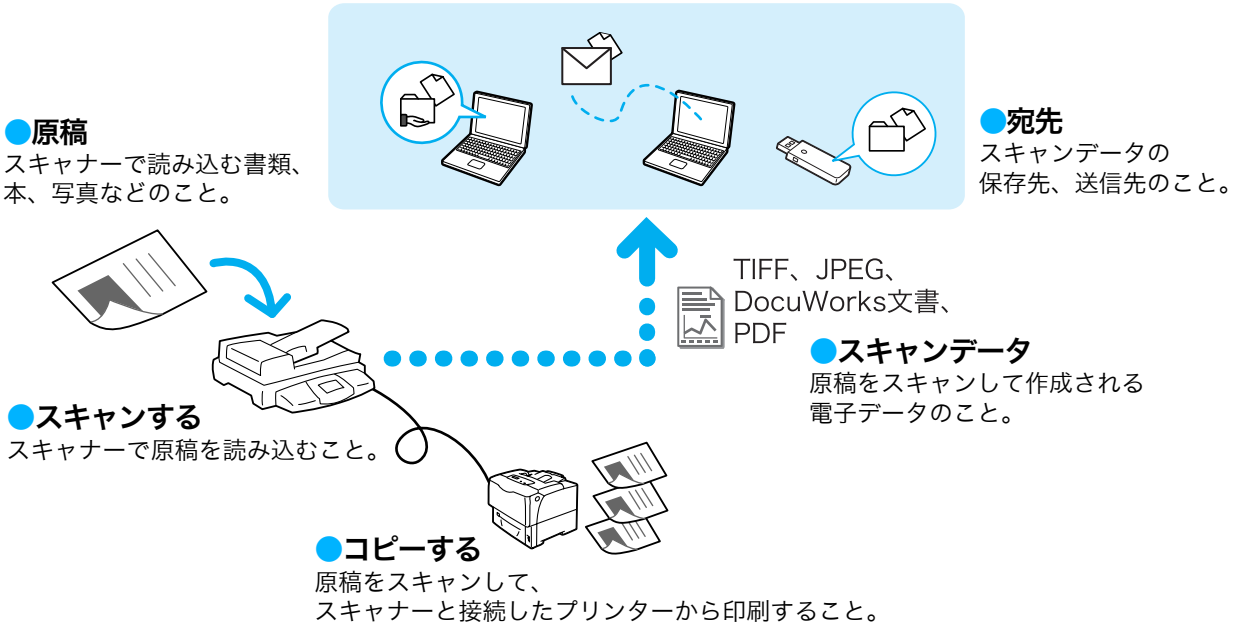
[　　] ： コンピューターやスキャナーの操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示される項目を表します。

〈　　〉 ： キーボード上のキーや、スキャナーの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

＞ ： メニューの階層を表します。

また、本書内の画面例は Microsoft® Windows® XP を使用しています。

本書で使用している用語



マニュアル体系

最初に読むマニュアル	スキャナーを設置したい スキャナーを使ってみたい	ユーザーズマニュアル（本書） （製本/PDF*1） 	本機の設置手順、原稿のセット方法、スキャン / コピーの基本操作、困ったときの対処方法などを説明しています。 ➔このマニュアルのPDFは、ソフトウェアCD-ROMに収録されています。
	同梱 CD-ROM について知りたい MultiWriter スキャンマネージャをインストールしたい	ソフトウェア CD-ROM 操作ガイド（DocuWorks 自己解凍文書形式） 	ソフトウェア CD-ROM の内容や、ソフトウェア CD-ROM から MultiWriter スキャンマネージャをインストールする方法などを説明しています。 ➔このマニュアルは、ソフトウェアCD-ROMに収録されています。
スキャナーを使用中に読むマニュアル	スキャナーのすべての機能を知りたい 操作パネルの文字の入力方法を知りたい 清掃の方法を知りたい	オンラインマニュアル（PDF*1） 	スキャン / コピー機能の操作方法、困ったときの対処方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などを説明しています。 「オンラインマニュアル目次（参考にしてください）」(11 ページ) を参照してください。 ➔このマニュアルは、ソフトウェアCD-ROMに収録されています。
	宛先表に宛先を登録したい スキャンデータの画像を編集したい	MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ 	MultiWriter スキャンマネージャの項目や各機能の設定方法を説明しています。 ➔MultiWriter スキャンマネージャの［ヘルプ］メニューから表示します。
	Web ブラウザーでスキャナーを管理したい	CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ 	CentreWare Internet Services の項目や各機能の設定方法を説明しています。 ➔ このマニュアルは、CentreWare Internet Services の［ヘルプ］ボタンから表示します。

*1: PDF を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、ソフトウェア CD-ROM を使って、まず Adobe® Reader® をインストールしてください。

●オプション製品に同梱されているマニュアル

スキャナテーブル設置手順書	スキャナテーブルの設置手順を説明しています。スキャナテーブルを使用すると、スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。

オンラインマニュアル目次（参考にしてください）

1　スキャナー環境の設定
- 1.1　使用できる環境について
- 1.2　ケーブルを接続する
- 1.3　ネットワーク環境を設定する
- 1.4　CentreWare Internet Services でスキャナーを設定する
- 1.5　MultiWriter スキャンマネージャをインストールする
- 1.6　PC 保存の環境を設定する
- 1.7　メール送信の環境を設定する

2　基本操作
- 2.1　各部の名称と働き
- 2.2　文字の入力方法
- 2.3　電源を入れる / 切る
- 2.4　節電モードを設定 / 解除する
- 2.5　原稿をセットする

3　スキャンする
- 3.1　スキャン操作の流れ
- 3.2　スキャンを中止する
- 3.3　スキャン設定項目一覧
- 3.4　PC に保存する
- 3.5　メールで送信する
- 3.6　メディアに保存する
- 3.7　基本スキャン項目を設定する
- 3.8　その他のスキャン項目を設定する

4　コピーする
- 4.1　コピー操作の流れ
- 4.2　コピーを中止する
- 4.3　コピー設定項目一覧
- 4.4　基本コピー項目を設定する
- 4.5　画質調整のコピー項目を設定する
- 4.6　その他のコピー項目を設定する

5　宛先表 / 登録リストを使用する
- 5.1　宛先表の概要
- 5.2　登録リストの概要
- 5.3　スキャナーでの宛先表の使い方

6　ジョブを確認する
- 6.1　操作パネルで確認する
- 6.2　CentreWare Internet Services を使う

7　仕様設定
- 7.1　仕様設定の流れ
- 7.2　仕様設定項目一覧
- 7.3　画面コントラスト調整
- 7.4　共通設定
- 7.5　ネットワーク設定
- 7.6　コピー設定
- 7.7　スキャナー設定
- 7.8　機械管理者情報の設定

8　MultiWriter スキャンマネージャを使用する
- 8.1　MultiWriter スキャンマネージャとは
- 8.2　宛先を登録する
- 8.3　宛先の登録内容を変更する
- 8.4　スキャンデータを取り込む
- 8.5　画像をまとめて編集する
- 8.6　画像を 1 つずつ編集する
- 8.7　画像を印刷する
- 8.8　画像を保存する

9　困ったときには
- 9.1　どのような症状で困っていますか
- 9.2　原稿が詰まったときは
- 9.3　スキャナー本体のトラブル
- 9.4　画質のトラブル
- 9.5　スキャナー機能使用時のトラブル
- 9.6　エラーコード
- 9.7　こんなときには　Q&A

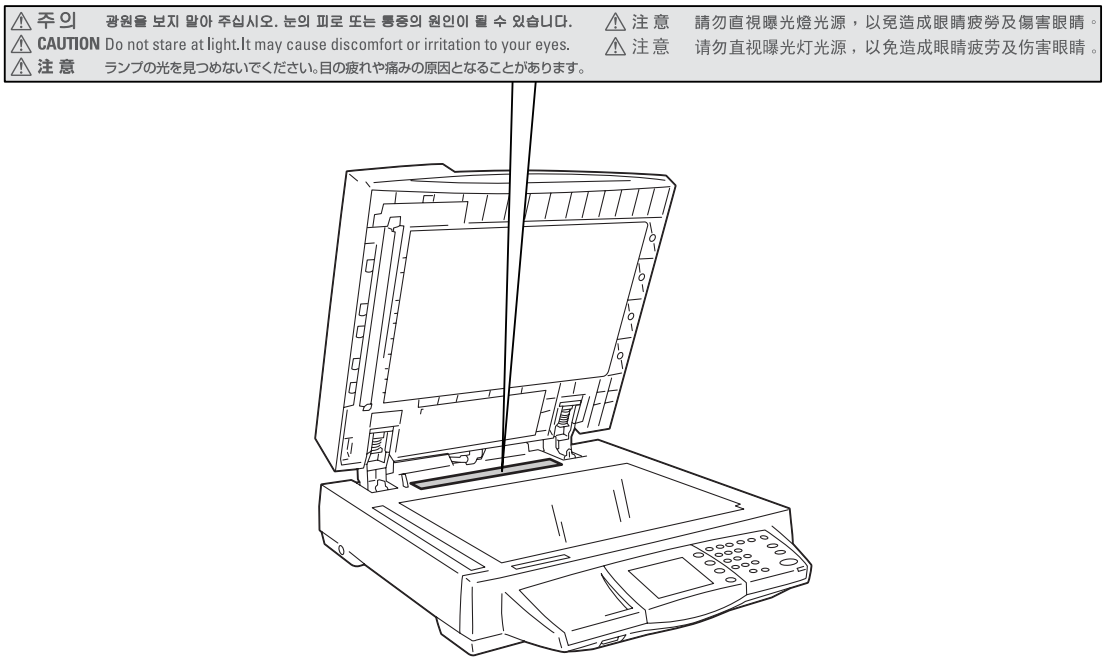
10　日常管理
- 10.1　Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する
- 10.2　スキャナーの清掃
- 10.3　スキャナーを移動するときは

A　付　録
- A.1　主な仕様
- A.2　オプション品の紹介
- A.3　製品情報の入手方法
- A.4　注意 / 制限事項
- A.5　用語集
- A.6　保証について

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

スキャナユニット PR-MW-SC51/PR-MW-SC41 には、注意ラベルが貼り付けられています。これはスキャナーを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

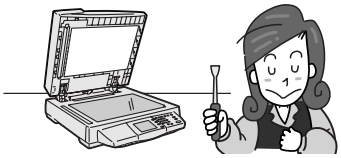


安全上のご注意

ここで示す注意事項はスキャナーを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、スキャナーをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

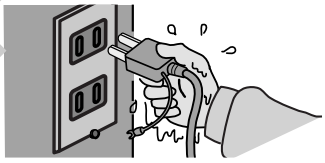
警 告

分解・修理・改造はしない



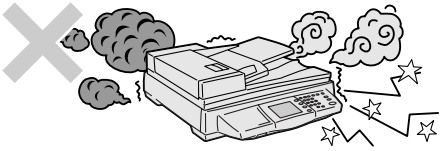
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。スキャナーが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない



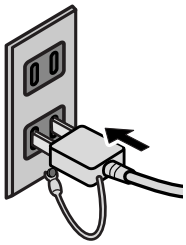
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源プラグを抜く



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役割を果たしません。）

⚠ 注 意

雷が鳴りだしたら スキャナーに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

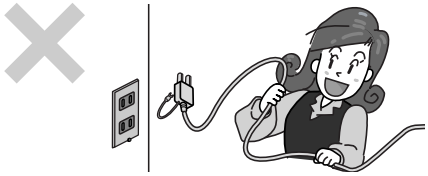
電源コードに薬品類を かけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

スキャナー内に 異物を入れない

スキャナー内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときはすぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときは コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

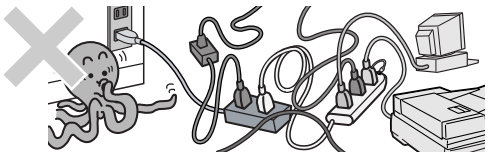
損傷した電源コードは 使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、販売店にお問い合わせください。

専用電源コード 以外は使わない

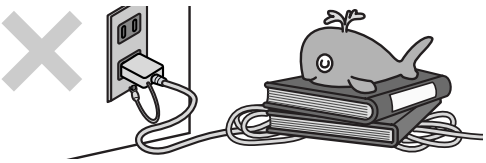
スキャナーに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。
また、電源コードを他の装置や用途に使用しないでください。火災になるおそれがあります。

電源コードを
たこ足配線にしない



コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたり
ねじったりしない

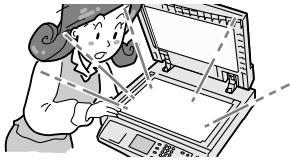


電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またテーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に
差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

ランプの光を
見つめない



ランプの光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となることがあります。

長期間使用しないときは
電源プラグを抜く

旅行などで長期間、スキャナーを使用しないときは、安全のため、スキャナーの電源をOFFにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

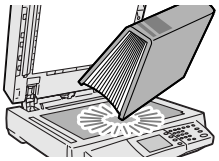
巻き込み注意

スキャナーの動作中は自動原稿送り装置に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

手をはさまないように注意

スキャナー使用時、原稿カバーを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

原稿ガラスを押さない

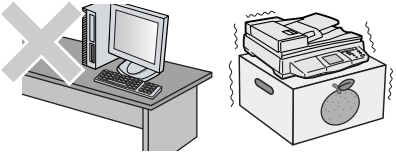


原稿ガラスを固い物や尖った物で押さないでください。スキャナーが破損するばかりでなく、原稿ガラスが割れてけがをするおそれがあります。

原稿カバーに体重をかけない

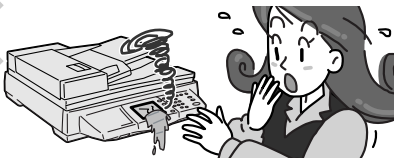
原稿カバーに体重をかけたりしないでください。スキャナーが破損するばかりでなく、原稿ガラスが割れてけがをするおそれがあります。

不安定な場所に置かない



スキャナーを不安定な場所には置かないでください。スキャナーが破損するおそれがあるばかりでなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
- 装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

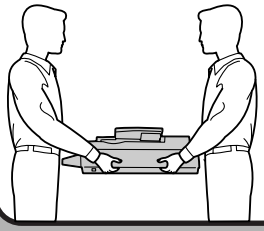
もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

添付の電源コードを他の装置や用途に使わない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

PR-MW-SC51を持つときは2人で

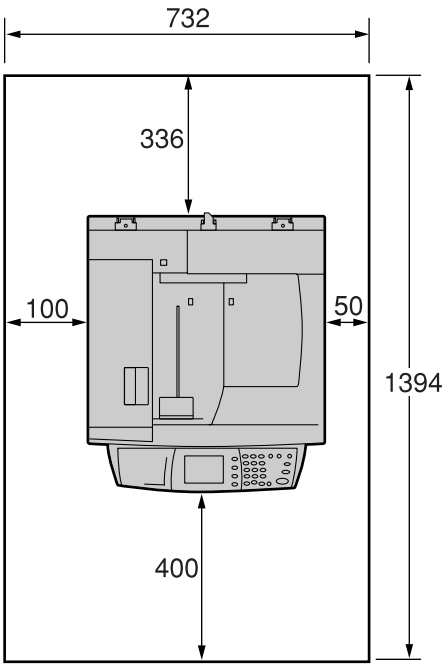
スキャナユニットPR-MW-SC51は約24.0kgです。機械の前後に立って、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ち、必ず2人以上で持ち運んでください。

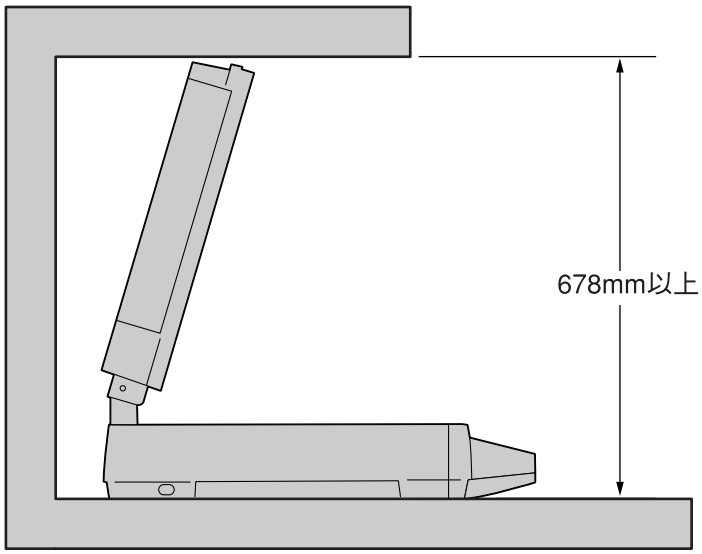


操作パネルなど、両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。

設置に必要なスペース

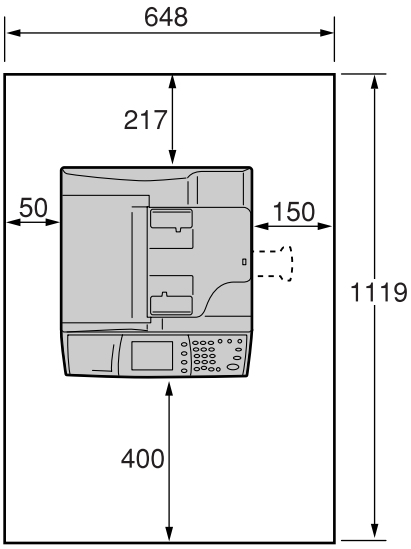
PR-MW-SC51

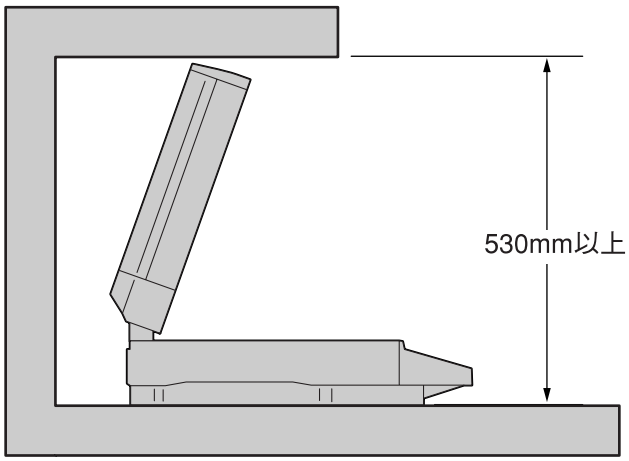




単位：mm

PR-MW-SC41





単位：mm

設置してはいけない場所

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。
- じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。
- 強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。
- 腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。
- 上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。
- ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。スキャナーのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。
- 添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

   ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
   これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。

   ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

   ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
   ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   ❑ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

   (1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

   (2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

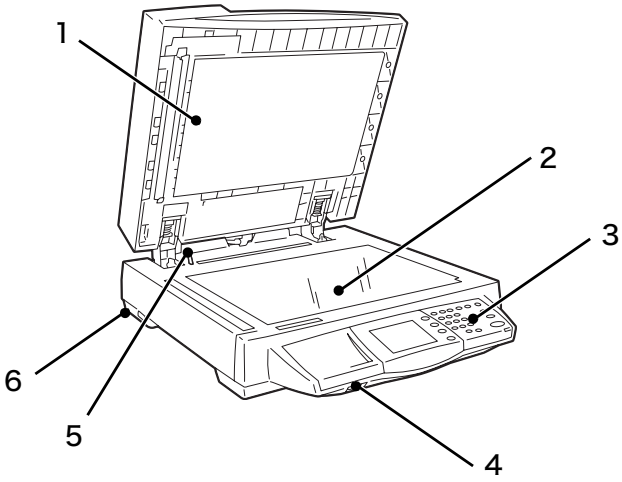
   (3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

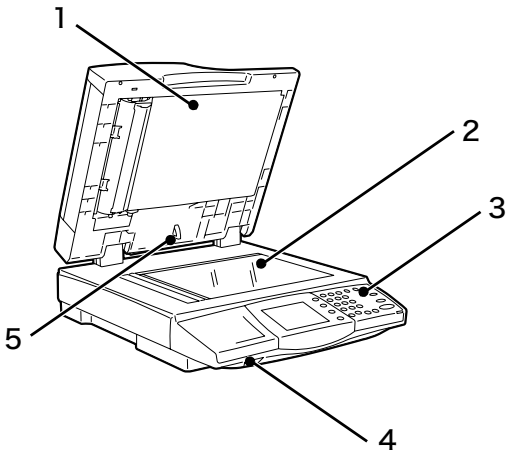
   ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
   ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   ❑ 学校教科書への掲載。
   ただし、権利者への補償金が必要です。
   ❑ 学校その他教育機関における複製。
   ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   ❑ 試験問題としての複製。
   ただし、権利者への補償金が必要です。

各部のなまえ

●前面



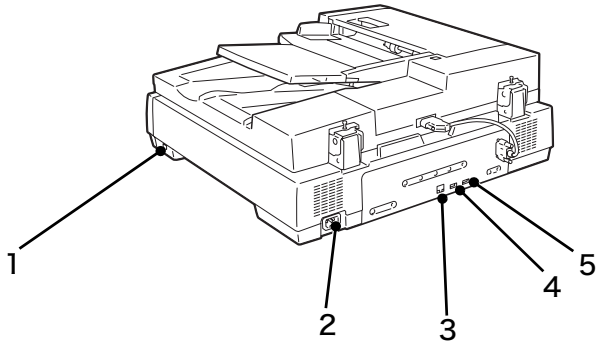
スキャナユニット PR-MW-SC51



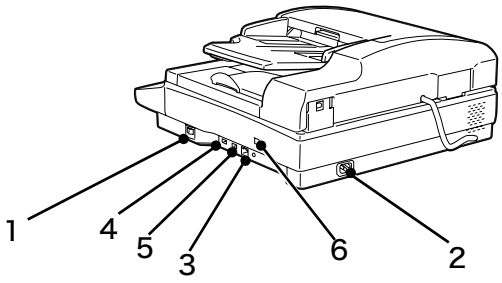
スキャナユニット PR-MW-SC41

No.	名称	説明
1	原稿カバー	原稿を押さえます。
2	原稿ガラス	原稿をセットします。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。
4	USB コネクター	USB フラッシュメモリーを接続します。 ・ このスキャナーの USB インターフェイスは、USB2.0（Hi-Speed）に対応しています。 ・ USB ハブは接続できません。
5	原稿カバー開閉センサー	セットされた原稿のサイズを検知します。
6	キャリッジロック（スキャナユニット PR-MW-SC51）	キャリッジ（読み取りヘッド）を固定 / 解除するスイッチです。固定（ロック）すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

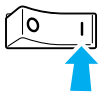
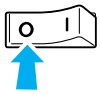
●右側面部および背面



スキャナユニット PR-MW-SC51



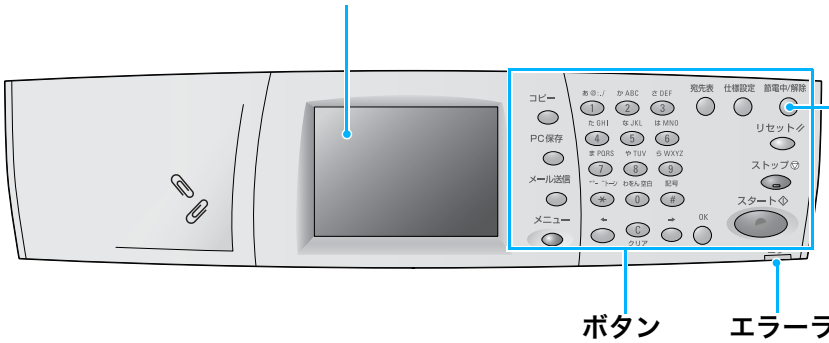
スキャナユニット PR-MW-SC41

No.	名称	説明
1	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切するスイッチです。 入れる：  切る： 
2	電源コードコネクター	電源コードを接続します。
3	ネットワークコネクター	ネットワークケーブルを接続します。 ・このスキャナーの Ethernet（イーサネット）インターフェイスは、100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。
4、5	USB コネクター	プリンターと接続する USB ケーブルを接続します。 ・このスキャナーの USB インターフェイスは、USB2.0（Hi-Speed）に対応しています。 ・USB ハブは接続できません。
6	キャリッジロック（スキャナユニット PR-MW-SC41）	キャリッジ（読み取りヘッド）を固定 / 解除するスイッチです。固定（ロック）すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

●タッチパネルディスプレイ

タッチパネルディスプレイ

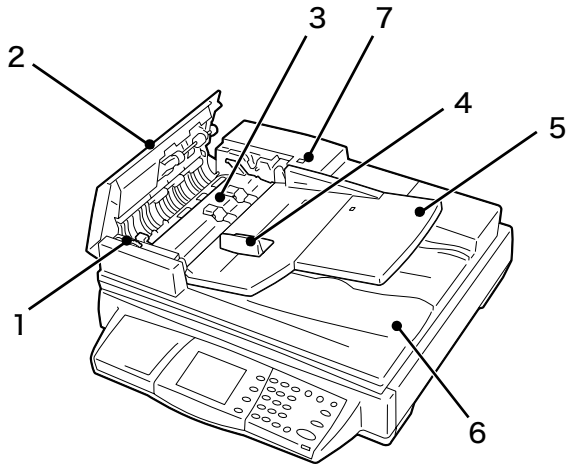
操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。
直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。



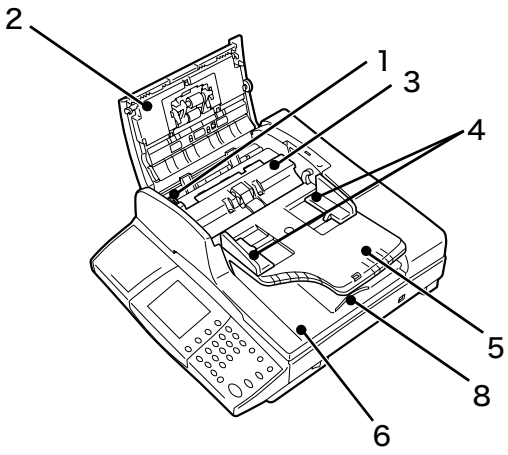
〈節電中 / 解除〉は、ボタンとランプの機能を持っています。節電モードになると、操作パネルは、このランプだけが点灯します。

ボタン　　エラーランプ

●自動原稿送り装置



スキャナユニット PR-MW-SC51

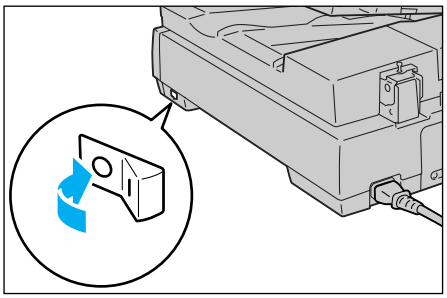


スキャナユニット PR-MW-SC41

No.	名称	説明
1	ノブ	原稿づまりを処置するときに回します。
2	左側カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
3	内カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
4	原稿ガイド	原稿の端をそろえるガイドです。
5	原稿送りトレイ	原稿をセットします。
6	原稿受け	原稿が排出されます。
7	原稿検知ランプ (スキャナユニット PR-MW-SC51 のみ)	原稿が正しくセットされるとランプが点灯します。
8	延長ガイド (スキャナユニット PR-MW-SC41 のみ)	長い原稿が排出されるときに引き出します。

電源切り時のお願い

通常の操作時に電源を切るときは、タッチパネルディスプレイのメッセージやランプの状態で、スキャナーが処理中でないことを確認してください。



注記

- スキャン中は、電源を切らないでください。
  スキャン中に電源を切ると、スキャナーの中に残っているスキャンデータや、スキャナーのメモリーに蓄えられた情報は消去されます。

節電モードについて

スキャナーは、待機しているときの電力の消費を抑えるために、節電モードを備えています。工場出荷時は、10 分間操作しない状態が続くと、節電モードに移行する設定になっています。

節電モードになると、〈節電中 / 解除〉ボタンだけが点灯し、他のランプは消灯します。タッチパネルディスプレイも消灯し、何も表示されません。

節電モードに切り替わるまでの時間は、1 ～ 60 分の間で設定できます。節電モード時の消費電力は、9W 以下で、節電モードからスキャンできる状態になるまでの時間は、約 12 秒です。

ポイント

- 節電モードに移行しないように設定したり、節電モードに切り替わる時間を長くしたりできます。
  節電モードの詳細および設定の変更手順 ➔『オンラインマニュアル』「7.4 共通設定」の「システム時計 / タイマー設定」

節電モードを解除するには

節電モードを解除するには、操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。

1

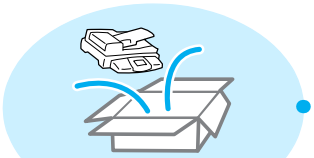
スキャナーの設置

お使いになる前に、スキャナー側で必要な作業を説明しています。

設置の流れ（スキャナーでの作業）

スキャナーが届いたら・・・

スキャナーを箱から出す



➔29 ページ

キャリッジロックを解除する

➔30 ページ

電源を入れる

➔31 ページ

スキャナーで何がしたいですか？

できること
➔4 ページ

コンピューターに保存したい

PC保存

メールに添付して送信したい

メール送信

紙にコピーしたい

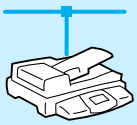
コピー

USB フラッシュメモリーに保存したい

メディア保存

やりたいことによって、準備が違います

ネットワークに接続する

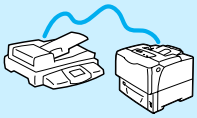


➔32 ページ

続いて、コンピューターを使って準備します

準備 ➔38 ページ

プリンターと接続する



➔35 ページ

ここで準備終了【コピー】できます

原稿のセット ➔60 ページ
コピーのしかた ➔88 ページ

ここで準備終了【メディア保存】できます

原稿のセット ➔60 ページ
スキャンのしかた ➔77 ページ

はじめてお使いになるとき

スキャナーを箱から出す

1 箱の中のものが、すべてそろっていることを確認します。

- スキャナー本体
- 電源コード
- USB ケーブル（長さ：200cm）
- ユーザーズマニュアル（本書）
- ソフトウェア CD-ROM
- NEC サービス網一覧表
- ソフトウェアのご使用条件
- 保証書（梱包箱に貼られています。）
- 操作パネル用シール
- DocuWorks（1 ライセンス）

2 スキャナーを箱から取り出し、設置場所に移動します。

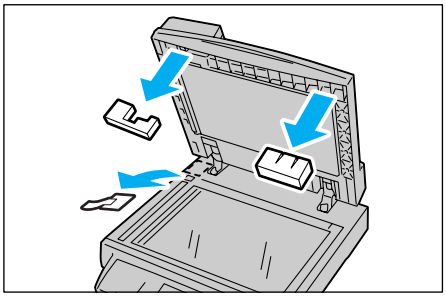
注記

- スキャナユニット PR-MW-SC51 の場合は、必ず 2 人以上で、機械の左右に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかり持って、箱から取り出してください。
- 操作パネル部分を持たないでください。

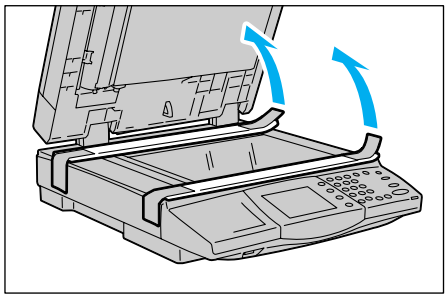
ポイント

- 緩衝材は、スキャナーを移動するときに必要です。なくさずに保管しておいてください。
- 移転など、スキャナーを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材や箱を保管してください。

3 梱包箱から取り出したスキャナーは、開閉部がテープで留められています。開閉部のテープと緩衝材を取り外します。



スキャナユニット PR-MW-SC51



スキャナユニット PR-MW-SC41

スキャナーの移動方法 ➔『オンラインマニュアル』「10.3 スキャナーを移動するときは」

設置場所についての注意と条件

設置場所は次の事項、および「設置してはいけない場所」(20 ページ) に記載されている注意と条件を守ってください。

- 温度 10 ～ 32 ℃　湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）
- 温度が 32 ℃のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。
- 直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。
- エアコン、ヒーターの風が直接当たる場所に設置しないでください。
- 冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めたり、湿度や温度が低いところから高いところへスキャナーを移動した場合は、スキャナー内部に水滴が付着し（結露）、部分的にスキャンまたはコピーできないことがあります。

はじめてお使いになるとき

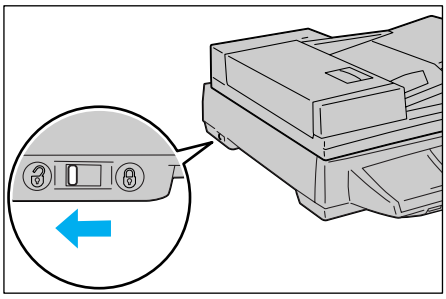
キャリッジロックを解除する

出荷時にはキャリッジがロックされています。設置場所に移動したら、ご使用の前に、キャリッジロックを解除してください。

キャリッジロックについて ➔22 ページ

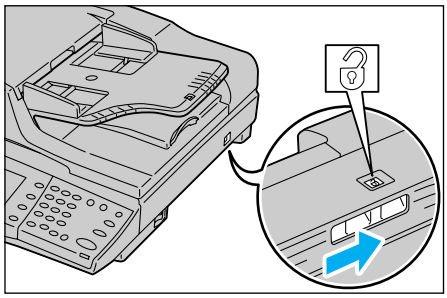
●スキャナユニット PR-MW-SC51 の場合

左側面にあるキャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドさせて、ロックを解除します。



●スキャナユニット PR-MW-SC41 の場合

キャリッジロックは、右側面のロックマーク（固定マーク）の下部裏側にあります。キャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドさせて、ロックを解除します。



注記

- キャリッジロックを解除しないで電源を入れると、「062-360」エラーが発生します。その場合は、いったん電源を切り、キャリッジロックを解除してから、電源を入れ直してください。

はじめてお使いになるとき

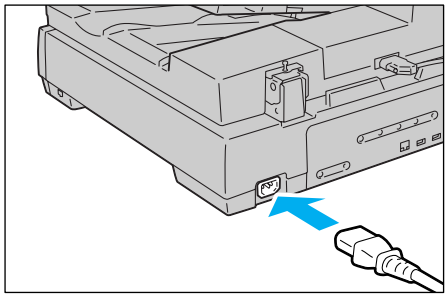
電源を入れる

電源コードを接続する場合は、「安全上のご注意」(13 ページ) に記載されている警告、および注意を守ってください。

ポイント

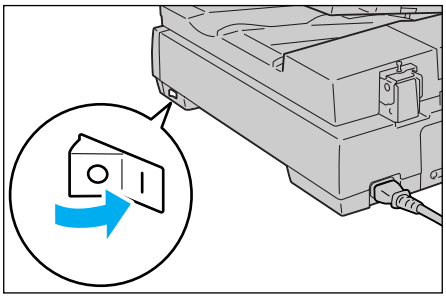
本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

1 電源コードを、スキャナー背面の電源コードコネクターに接続します。



2 電源コードの他方に付いているアース線を、電源コンセントに接続します。そのあとで、電源プラグを差し込みます。

3 スキャナーの電源スイッチの〈 | 〉側を押します。



電源が入り、起動画面が表示されます。

次は

【メディア保存】の場合は、これで USB フラッシュメモリーに保存できます。

原稿のセット ➔60 ページ
【メディア保存】の使い方 ➔77 ページ

【PC 保存】/【メール送信】の場合は、次にネットワークに接続します。

ネットワークへの接続 ➔32 ページ

【コピー】の場合は、次にプリンターと接続します。

プリンターとの接続 ➔35 ページ

【PC 保存】/【メール送信】をする前に

ネットワークに接続する

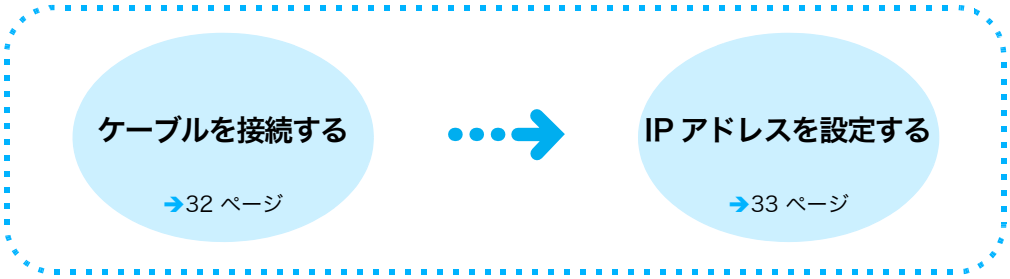
PC保存　メール送信

スキャンデータをコンピューターに保存したり（【PC 保存】）、メールに添付して送信したり（【メール送信】）する場合は、ネットワークケーブルで、スキャナーをネットワークに接続します。
ネットワークケーブルを用意してください。

ポイント

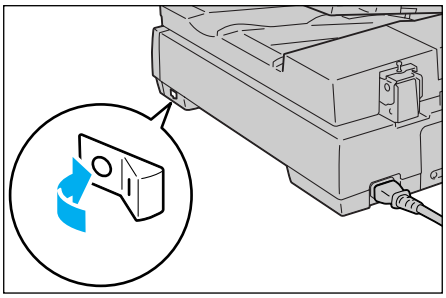
- 本機は、100BASE-TX と 10BASE-T に対応しています。ご利用のネットワーク環境に応じたケーブルを用意してください。

ネットワークに接続する作業は、次の流れで行います。

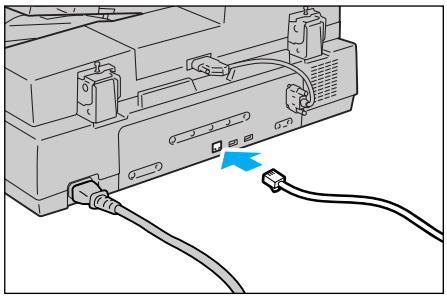


ケーブルを接続する

1 スキャナーの電源が入っている場合は、電源スイッチの〈○〉側を押して、電源を切ります。



2 ネットワークコネクターに、ネットワークケーブルを接続します。



ポイント

- スキャナユニット PR-MW-SC41 の場合、ネットワークコネクターの位置は、スキャナーの右側面です。

3 ケーブルの他方をネットワークに接続します。

IP アドレスを設定する

工場出荷時は、［IP アドレスの取得方法］が［DHCP/Autonet］に設定されています。
そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、スキャナーをネットワークにケーブル接続するだけで、自動的にスキャナーに IP アドレスが設定されます。
DHCP サーバーがない、または使用しない場合は、次の手順で、操作パネルから IP アドレスを設定してください。

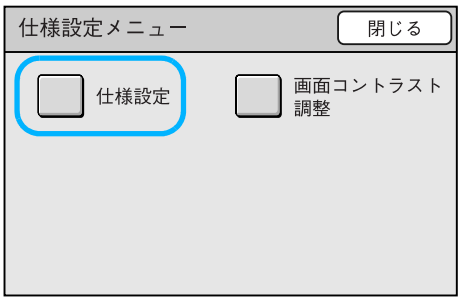
ポイント

- IP アドレスがわからない場合は、システム管理者にご相談ください。

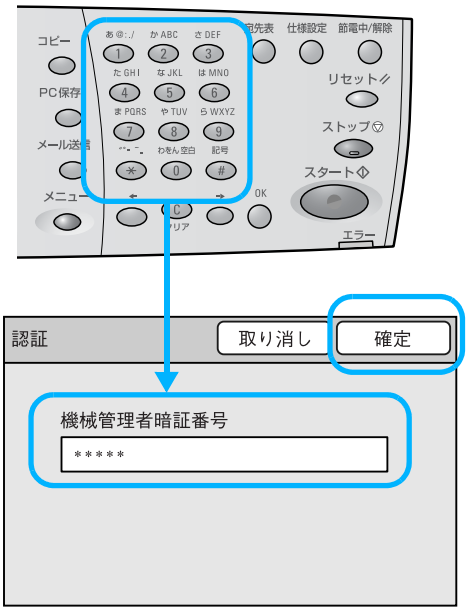
1 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。

タッチパネルディスプレイに［仕様設定メニュー］画面が表示されます。

2 ［仕様設定］を押します。

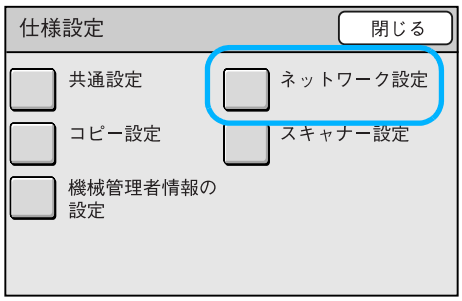


3 数字ボタンを押して、機械管理者暗証番号 を入力し、［確定］を押します。

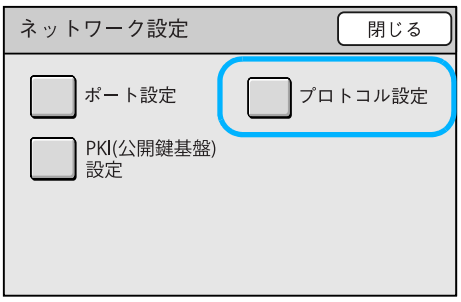


- 機械管理者暗証番号の工場出荷時の初期値は「11111」です。

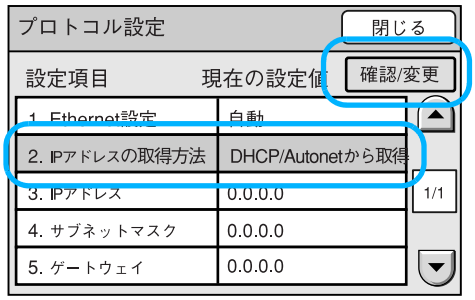
4 ［ネットワーク設定］を押します。



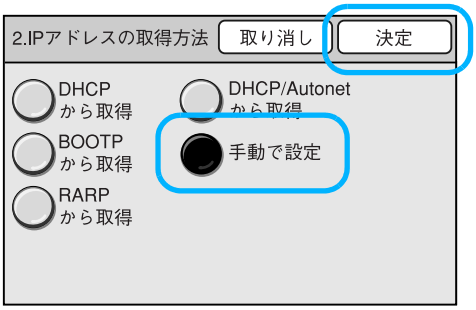
5 [プロトコル設定] を押します。



6 [2. IP アドレスの取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

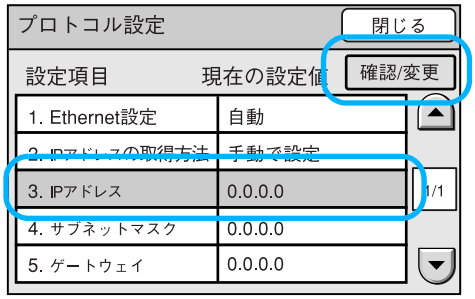


7 [手動で設定] を選択し、[決定] を押します。

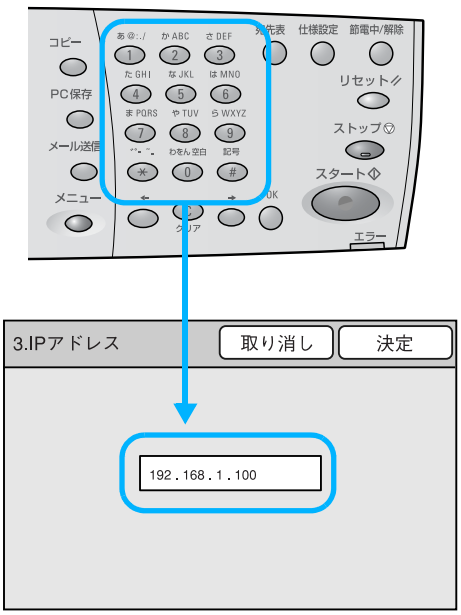


[プロトコル設定] 画面に戻ります。

8 [3. IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。



9 数字ボタンを使って、アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力し、[決定] を押します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。



10 必要に応じて、サブネットマスク、ゲートウエイも同様に設定します。

11 [電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

12 スキャナーの電源を切り、入れ直します。

- 電源を入れ直すときは、電源を切って、タッチパネルディスプレイの表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。

次は

【PC 保存】、【メール送信】の場合は、このあとコンピューターでスキャンの準備を行います。

スキャンの準備 ➔38 ページ

【コピー】をする前に

プリンターと接続する

コピー

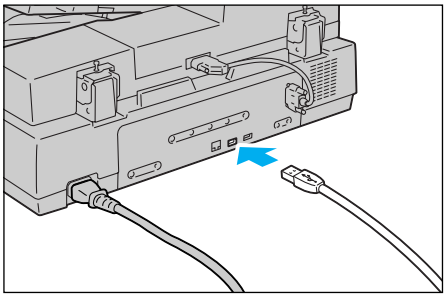
プリンターと接続して【コピー】を使用する場合は、スキャナーとプリンターを USB ケーブルで接続します。なお、スキャナーに接続できるプリンターは、1 台だけです。

注記

- USB ケーブルをスキャナーに接続する際、スキャナー背面の USB コネクターを使用してください。スキャナー前面の USB コネクターは使用しないでください。
- USB インターフェイスは、USB2.0（Hi-Speed）に対応しています。プリンター側の USB ポートが USB1.1 の場合、動作は保証できません。
- プリンターと接続して【コピー】を使用するには、プリンターのファームウエアが、スキャナーに対応している必要があります。
  接続して使用できるプリンターの機種、および対応ファームウエアの情報は、当社ホームページで確認してください。
  URL：http://nec8.com/

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

2 USB ケーブルを、スキャナーの USB コネクターのどちらかに接続します。その際、USB コネクターに正しく入るように、USB ケーブルの上下の向きを確認してください。



3 USB ケーブルの他方を、プリンターの USB コネクター（USB2.0 Hi-Speed 対応）に接続します。

- プリンターの USB コネクターについては、お使いのプリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

4 プリンターの電源を入れます。

次は

これで、接続したプリンターからコピーできます。

原稿のセット →60 ページ
【コピー】の使い方 →88 ページ

2

スキャンの準備

【PC 保存】/【メール送信】をする前に

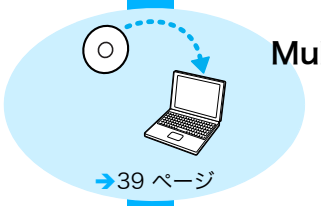
保存先やメール環境の設定、宛先の登録など、スキャンの前にあらかじめコンピューターで準備しておくことを説明しています。

●本書は、Windows をお使いの場合を例に説明しています。
Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合は、「Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合」(54 ページ) を参照してください。

準備の流れ（コンピューターでの作業）

ネットワークに接続したら・・・

ネットワークへの接続 ➔32 ページ



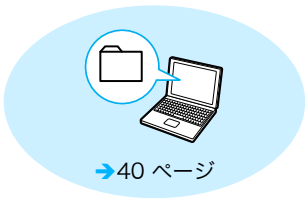
➔39 ページ

MultiWriter スキャンマネージャをインストールする

コンピューターに保存したい

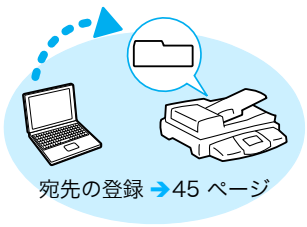
PC保存

PC 保存の準備をする



➔40 ページ

MultiWriter スキャンマネージャで宛先（保存先）を登録する



宛先の登録 ➔45 ページ

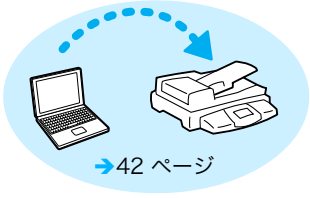
これで準備完了【PC 保存】できます

原稿のセット ➔60 ページ
PC 保存のしかた ➔67 ページ

メールに添付して送信したい

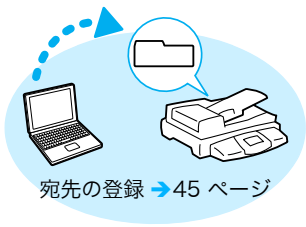
メール送信

メール送信の準備をする



➔42 ページ

MultiWriter スキャンマネージャで宛先（送信先）を登録する



宛先の登録 ➔45 ページ

これで準備完了【メール送信】できます

原稿のセット ➔60 ページ
メール送信のしかた ➔71 ページ

MultiWriter スキャンマネージャをインストールする

PC保存　メール送信

スキャナーに同梱されているソフトウェア CD-ROM から、「MultiWriter スキャンマネージャ」をインストールします。
MultiWriter スキャンマネージャは、宛先の登録や、保存された画像ファイルを編集するためのソフトウエアです。
スキャンしたデータをコンピューターに保存したり、メールに添付して送信したりするときには、「宛先」（保存先や送信先）を指定します。
宛先は、スキャナーとネットワーク接続しているコンピューターから、MultiWriter スキャンマネージャを使って、あらかじめスキャナー内の「宛先表」に登録しておきます。スキャンするときには、タッチパネルディスプレイで宛先を選択するだけで、指定できます。

ポイント

- 宛先は、スキャンするときに、操作パネルの数字ボタンで入力することもできます。

注記

- スキャナーとネットワーク経由で接続されたコンピューターに、インストールしてください。

1 Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Vista の場合は、Administrators グループメンバーのユーザー、または Administrator でログオンします。

2 スキャナーに同梱されているソフトウェア CD-ROM を、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

自動的に、ソフトウェア CD-ROM の画面が表示されます。

- 自動的に画面が表示されない場合は、Windows の［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択し、「E:¥Install.exe」を設定して［OK］をクリックします。「E:¥Install.exe」の「E」は、お使いの CD-ROM ドライブにあわせて読み替えてください。
- Windows Vista をお使いの場合、ユーザーアクセス制御のダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックして操作を続行してください。

3 ［MultiWriter スキャンマネージャのインストール］をクリックします。

4 画面の指示に従って、MultiWriter スキャンマネージャをインストールします。

次は

次は、【PC 保存】の場合、【メール送信】の場合、それぞれに分かれて準備作業を行います。

PC 保存の場合 ➔40 ページ
メール送信の場合 ➔42 ページ

PC 保存の準備をする

PC保存

MultiWriter スキャンマネージャをインストールしたコンピューターに、スキャンデータを保存するための準備をします。

【PC 保存】を使う場合、スキャンデータを保存するフォルダーを、あらかじめコンピューターに作成する必要があります。

次に、MultiWriter スキャンマネージャを使って、スキャナー内に宛先を登録します。
本書では、MultiWriter スキャンマネージャを使って宛先を登録するときに「かんたん設定モード」を使います。

ポイント

- 【PC 保存】を使うためには、事前に保存先フォルダーを共有設定する必要がありますが、かんたん設定モードを使うと、次の操作が自動的に行われ、スキャン前の準備が簡単になります。
  ・保存先フォルダーの共有設定
  ・保存先フォルダーを使用できるユーザーアカウントの作成

注記

- 保存先が Windows XP Home Edition の場合は、かんたん設定モードは利用できません。
  かんたん設定モードを使わないときは ➔53 ページ
- かんたん設定モードを使用するときは、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Vista の場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。
- パーソナルファイアウォール系ソフトウエア、ウイルス対策ソフトウエアなどをお使いの場合、設定によっては、スキャナーに接続できないことがあります。スキャナーが使用するポートをブロックしないように設定してください。使用するポートについては、システム管理者に確認してください。

保存先フォルダーを作成する

スキャンデータを保存するフォルダーを、お使いのコンピューターに作成します。
ここでは、例として、D ドライブに新規フォルダーを作成し、「ScanData」という名前を付けることにします。

1. Windows 上で、［新規作成］＞［フォルダ］を選択して、「新しいフォルダ」を作成し、「ScanData」と名前を設定します。

このフォルダーのパスは、「D:¥ScanData」になります。

次は

Windows XP Professional をお使いの場合は 41 ページへ

その他の場合は、MultiWriter スキャンマネージャを使って、宛先を登録します。
宛先の登録 ➔45 ページ

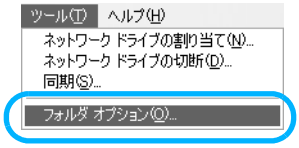
● Windows XP Professional だけに必要な準備

保存先が Windows XP Professional の場合、宛先を登録する前に、次の設定を行ってください。

1 作成した保存先フォルダーのアイコンをダブルクリックします。

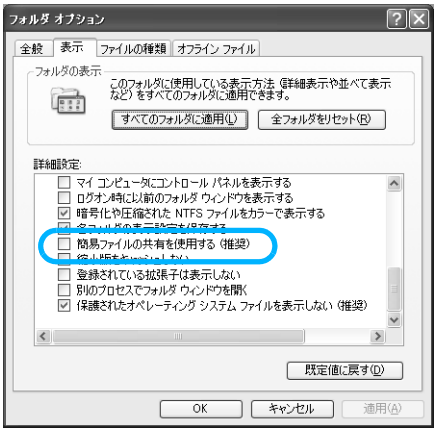
フォルダーが開きます。

2 [ツール] メニューから [フォルダオプション] を選択します。



[フォルダオプション] ダイアログボックスが表示されます。

3 [表示] タブで、[簡易ファイルの共有を使用する（推奨）] のチェックを外し、[OK] をクリックします。



次は

次は、MultiWriter スキャンマネージャを使って、宛先を登録します。

宛先の登録 →45 ページ

メール送信の準備をする

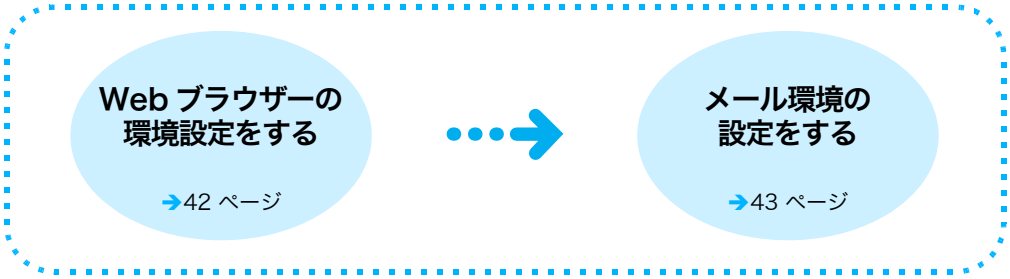
メール送信

【メール送信】を使うには、スキャナーのメール環境の設定が必要です。
メール環境の設定には、CentreWare Internet Services を使います。

ポイント

- CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、スキャナーの状態やジョブの履歴を表示したり、ネットワーク設定などを変更したりするためのサービスです。
  CentreWare Internet Services の詳細 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メール環境の設定は、次の流れで行います。



Web ブラウザーの環境設定をする

CentreWare Internet Services を使用する前に、使用する Web ブラウザーで、プロキシサーバーを使わない設定にします。

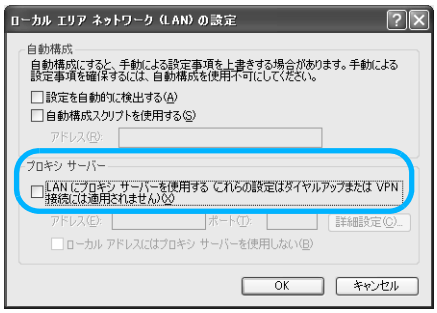
ポイント

- CentreWare Internet Services は、次のブラウザーで動作することを確認しています。
  Windows 2000、Windows XP の場合
  ・Microsoft Internet Explorer 6、7
  ・Mozilla Firefox 2
  Mac OS X 10.4 の場合
  ・Mozilla Firefox 2
  ・Safari 2
- ここでは、Internet Explorer 7 の場合を例に説明します。お使いのブラウザーに読み替えて設定してください。

1 Internet Explorer の［ツール］メニューから、［インターネットオプション］を選択します。

2 ［接続］タブで、［LAN の設定］をクリックします。

3 ［プロキシサーバー］を、次のどちらかに設定します。
- ［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外す
- ［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを付けて、［詳細設定］をクリックし、［例外］にスキャナーの IP アドレスを設定して、［OK］をクリックする



4 ［OK］をクリックします。

5 ［インターネットオプション］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

● JavaScript を有効にする

1 Internet Explorer の［ツール］メニューから、［インターネットオプション］を選択します。

2 ［セキュリティ］タブで［イントラネット］（使用環境によっては［ローカルインターネット］）を選択し、［レベルのカスタマイズ］をクリックします。

3 ［スクリプト］の下にある［アクティブスクリプト］で、［有効にする］を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

5 ［インターネットオプション］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

メール環境の設定をする

Web ブラウザーの準備ができたら、CentreWare Internet Services でメール環境を設定します。

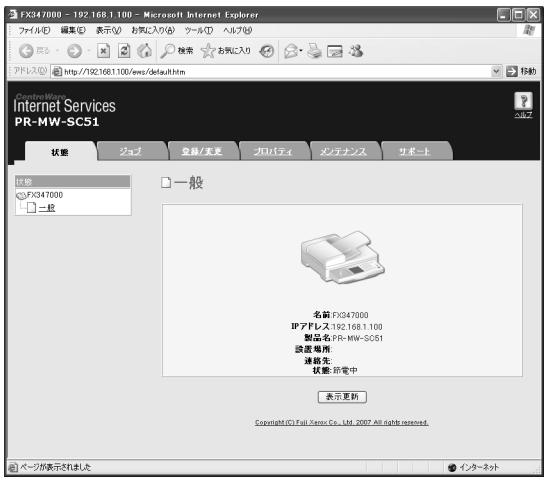
1 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、スキャナーの IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

・IP アドレスの入力例

ポイント

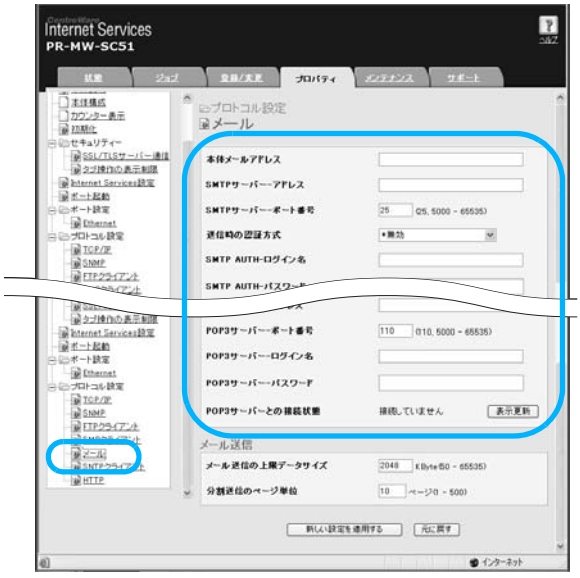
- スキャナーの IP アドレスは、スキャナーの操作パネルで［プロトコル設定］画面（34 ページの手順 6 の画面）を表示すると確認できます。

CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。



CentreWare Internet Services に接続できない
➔108 ページ (Q36)

2 [プロパティ] タブの [プロトコル設定] にある [メール] で、送信メールサーバーなどのメール環境を設定します。



- 各項目の詳細は、画面右上にある ([ヘルプ]) ボタンをクリックして、当社ホームページ上のオンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示するには、Web ブラウザーを起動しているコンピューターがインターネットに接続できる必要があります。
- 設定する値がわからないときは、システム管理者にご相談ください。

ポイント

- [本体メールアドレス] に設定するメールアドレスは、スキャナーから送信されるメールの「From:」に記載されます。エラー時には、このメールアドレスにメールサーバーからメールが送られます。この項目には、スキャナーの機械管理者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定してください。
- このスキャナーは、メールを受信できません。
- SMTP サーバー、POP3 サーバーを FQDN 形式（例：server.example.com）で設定するには、DNS サーバーの設定が必要です。設定は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［プロトコル設定］＞［TCP/IP］で行います。

次は

次は、MultiWriter スキャンマネージャを使って、宛先を登録します。

宛先の登録 ➔45 ページ

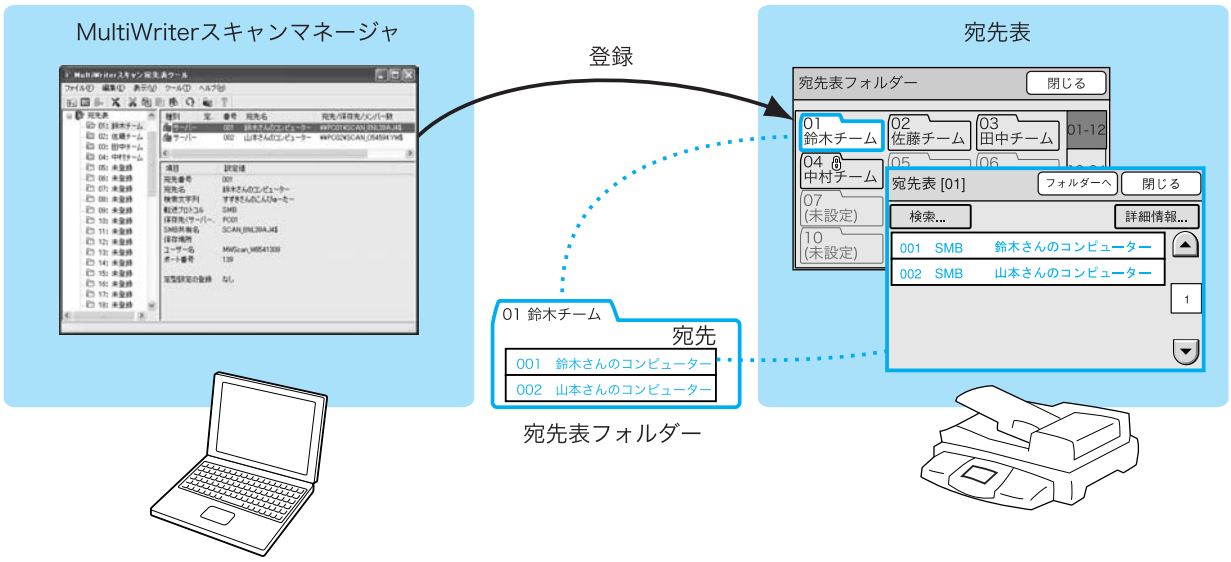
宛先を登録する

PC保存　メール送信

スキャナーとネットワーク接続しているコンピューターから、MultiWriter スキャンマネージャを使って、スキャナー内の宛先表に宛先（保存先や送信先）を登録します。

●宛先表フォルダーと宛先

まず、宛先表に「宛先表フォルダー」を登録します。宛先表フォルダーは、宛先を分類する働きをします。ユーザー別や用途別など目的にあわせて登録できます。
宛先表フォルダーを登録したら、次に、宛先表フォルダーに宛先を登録します。



MultiWriter スキャンマネージャの詳しい操作方法 ➔『オンラインマニュアル』「8 MultiWriter スキャンマネージャを使用する」、MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ

MultiWriter スキャンマネージャからの宛先の登録は、次の流れで行います。

スキャナーを選択する ➔46 ページ
➔
宛先表フォルダーを登録する ➔47 ページ
➔
宛先を登録する ➔48 ページ、51 ページ

注記

- 宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップは、操作パネルまたは MultiWriter スキャンマネージャから行えます。操作方法は、『ユーザーズガイド』「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」、または MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプを参照してください。

ポイント

- 本書では、【PC 保存】の宛先と、【メール送信】の個人宛の宛先の、2 種類の登録方法を説明します。宛先には、ほかに【メール送信】のグループ宛の宛先と、【メディア保存】の宛先の 2 種類があります。これらの登録方法は、『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」を参照してください。
- 宛先の登録は、CentreWare Internet Services で行うこともできます。
  詳しくは ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

スキャナーを選択する

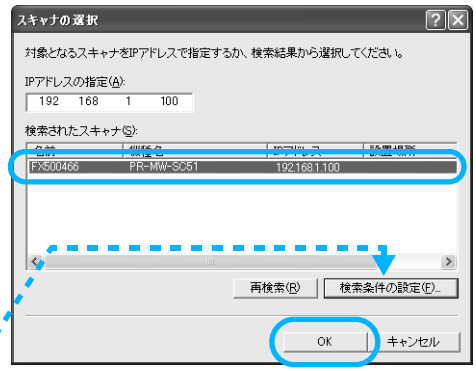
宛先表フォルダーや宛先は、スキャナー内の宛先表に登録します。
MultiWriter スキャンマネージャからスキャナーに接続するには、まずスキャナーを選択します。

スキャナー選択の操作は、はじめて MultiWriter スキャンマネージャの宛先表ツールを起動する場合や、接続先のスキャナーを変更する場合に行います。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [NEC Printers] > [MultiWriter スキャンマネージャ] > [MultiWriter スキャン宛先表ツール] を選択します。

[スキャナの選択] ダイアログボックスが表示されます。

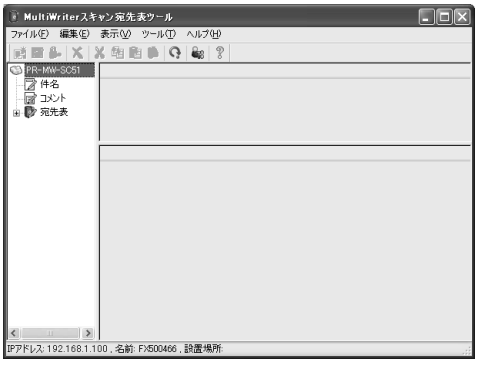
2 使用するスキャナーを、[検索されたスキャナ] から選択し、[OK] をクリックします。



[検索されたスキャナ] にスキャナーが表示されない場合は、[検索条件の設定] をクリックして、検索するサブネットやタイムアウト時間などを変更します。または、スキャナーの IP アドレスを [IP アドレスの指定] に入力します。

スキャナーに接続できない ➔107 ページ (Q34)

スキャナーに接続され、[MultiWriter スキャン宛先表ツール] ウィンドウが表示されます。



次は

次は、宛先表フォルダーを登録します。

宛先表フォルダーの登録 ➔47 ページ

宛先表フォルダーを登録する

宛先を登録する宛先表フォルダーを登録します。
ここでは、例として「鈴木チーム」という名前の宛先表フォルダーを登録することにします。

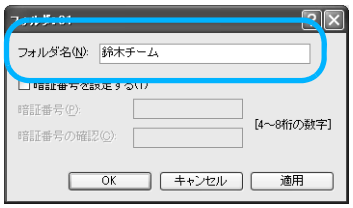
1 [MultiWriter スキャン宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、[宛先表] の中の未登録フォルダーを選択します。

- [ヘルプ] メニューから MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプを表示できます。

2 [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択するか、またはツールバーの [（プロパティ）] をクリックします。

フォルダーのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3 [フォルダ名] に、宛先表フォルダーの名前を「鈴木チーム」と入力します。



- 8 文字以内の全角文字、または 16 文字以内の半角文字で入力します。
- 暗証番号を設定する場合は、[暗証番号を設定する] にチェックを付けて、暗証番号を入力します。設定できる文字は、4 ～ 8 文字の半角数字です。設定すると、宛先表フォルダーを開くときに、暗証番号の入力が必要になります。

設定した暗証番号を忘れたときには ➔109 ページ (Q42)

4 [OK] をクリックします。

ツリービューのフォルダーアイコンの色が変わり、フォルダー名が表示されます。

次は

これで、宛先表フォルダー「鈴木チーム」が登録できました。
次に、この中に宛先を登録します。

PC 保存で使う宛先の登録 ➔48 ページ
メール送信で使う宛先の登録 ➔51 ページ

コンピューターに保存するときの宛先を登録する【PC 保存】

PC保存

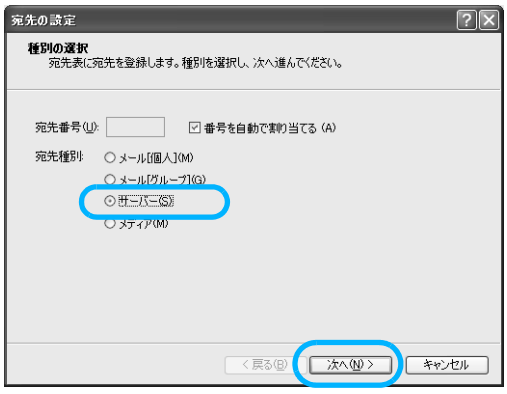
MultiWriter スキャンマネージャを使って、スキャンデータをコンピューターに保存するための宛先を登録します。
ここでは、例として「鈴木さんのコンピューター」という宛先を登録することにします。

1 [MultiWriter スキャン宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録する宛先表フォルダーを選択します。

2 [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [(宛先の新規作成)] をクリックします。

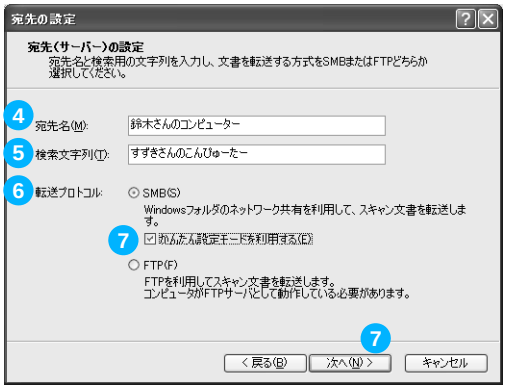
宛先の設定ウィザードが開始します。

3 [宛先種別] の [サーバー] を選択し、[次へ] をクリックします。



[宛先（サーバー）の設定] ダイアログボックスが表示されます。

4 [宛先名] に、登録する宛先の名前を「鈴木さんのコンピューター」と入力します。



- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

5 [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。

- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

6 [転送プロトコル] で、[SMB] が選択されていることを確認します。

7 [かんたん設定モードを利用する] に、チェックが付いていることを確認し、[次へ] をクリックします。

- Windows Vista の場合、[次へ] をクリックしたときに、ユーザーアクセス制御のダイアログボックスが表示されます。[続行] をクリックして操作を続行してください。

[SMB フォルダの設定] ダイアログボックスが表示されます。

8 [保存先フォルダ] の [参照] をクリックして、40 ページで作成した保存先フォルダー（D:¥ScanData）を選択します。このフォルダーに、スキャンデータが保存されます。

9 [ネットワークで共有するフォルダを保存先フォルダと同じにする] に、チェックが付いていることを確認します。

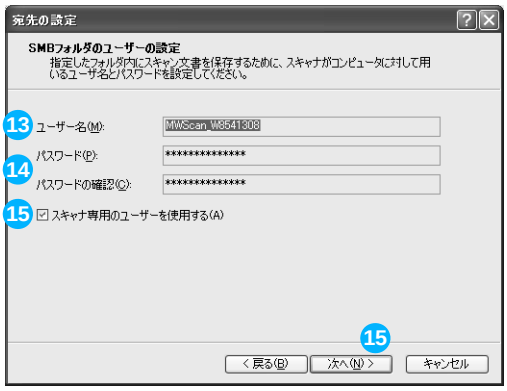
10 [共有フォルダ] に、[保存先フォルダ] で設定したパス（「D:¥ScanData」）が、自動的に入力されていることを確認します。

11 [自動でフォルダをネットワーク共有する] に、チェックが付いていることを確認します。

12 [共有名] が、自動的に入力されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

[SMB フォルダのユーザーの設定]ダイアログボックスが表示されます。

13 [ユーザー名] が自動的に入力されていることを確認します。

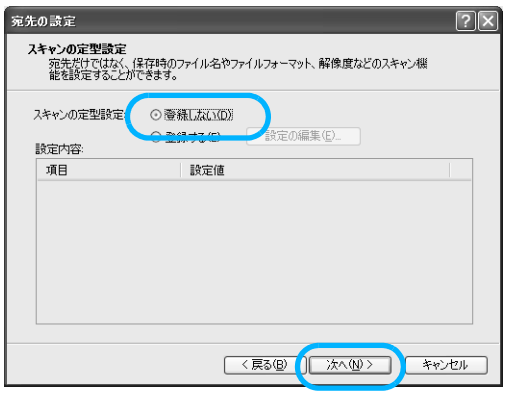


14 [パスワード] と [パスワードの確認] に、ランダムに生成されたパスワードが自動的に入力されていることを確認します。

15 [スキャナ専用のユーザーを使用する] に、チェックが付いていることを確認し、[次へ] をクリックします。

[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

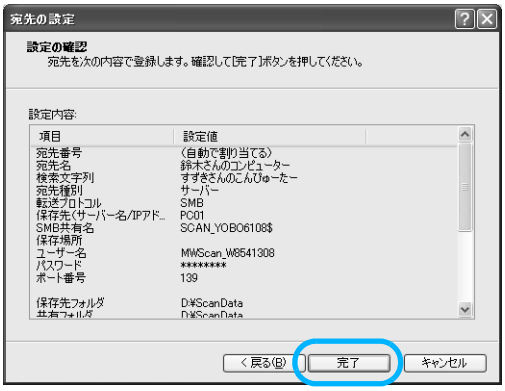
16 ここでは、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。



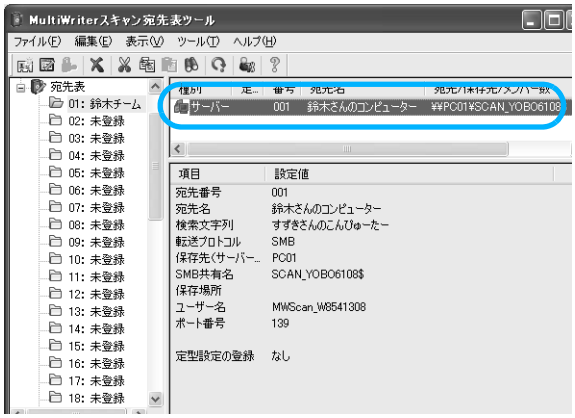
● [登録する] を選択すると、[スキャンの定型設定] が設定できます。➔55 ページ

[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

⑰設定内容を確認して、［完了］をクリックします。



［宛先表ツール］ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。

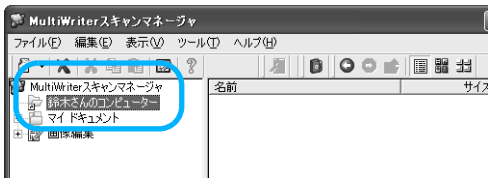


また、40 ページで作成した保存先フォルダーが共有設定されます。

この例の場合、スキャナーで PC 保存するときに、宛先表フォルダー「鈴木チーム」内の、宛先「鈴木さんのコンピューター」を選択すると、スキャンデータが「D:¥ScanData」に保存されます。

ポイント

- 手順 8 で設定した保存先フォルダーが、［MultiWriter スキャンマネージャ］ウィンドウに追加されます。
  ［MultiWriter スキャンマネージャ］ウィンドウは、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］＞［NEC Printers］＞［MultiWriter スキャンマネージャ］＞［MultiWriter スキャンマネージャ］を選択すると表示されます。



［MultiWriter スキャンマネージャ］ウィンドウでは、複数のフォルダーやファイルを表示できるので、まとめて複数のファイルの画像編集ができます。

詳しくは➔MultiWriterスキャンマネージャのオンラインヘルプ

次は

これで、準備は完了です。
【PC 保存】を使って、スキャンできます。

原稿のセット ➔60 ページ
スキャンのしかた ➔67 ページ

メールで送信するときの宛先を登録する【メール送信】

メール送信

【メール送信】の宛先の種別には、次の 2 種類があります。

- メール（個人）
- メール（グループ）

MultiWriter スキャンマネージャを使って、メール送信するための宛先「メール（個人）」を登録します。

メール（グループ）の登録方法 ➔『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」の「メール送信で使用する宛先「メール（グループ）」を登録する」

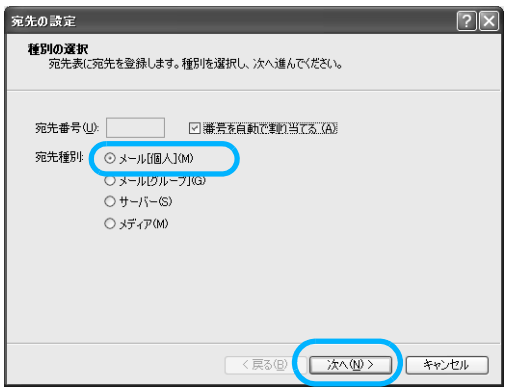
ここでは、例として「鈴木太郎」という宛先を登録することにします。

1 [MultiWriter スキャン宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録する宛先表フォルダーを選択します。

2 [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [(宛先の新規作成)] をクリックします。

宛先の設定ウィザードが開始します。

3 [宛先種別] の [メール [個人]] を選択し、[次へ] をクリックします。



[宛先（メールアドレス）の設定] ダイアログボックスが表示されます。

4 [宛先名] に、登録する宛先の名前を「鈴木太郎」と入力します。

- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

5 [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。

- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。

6 [メールアドレス] に、送信先のメールアドレスを入力します。

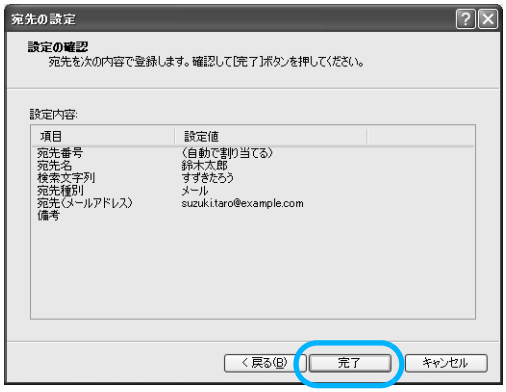
- 64 文字以内の半角文字で入力します。

7 [備考] には、会社名や部署名など、登録する宛先の補足情報を入力し、[次へ] をクリックします。

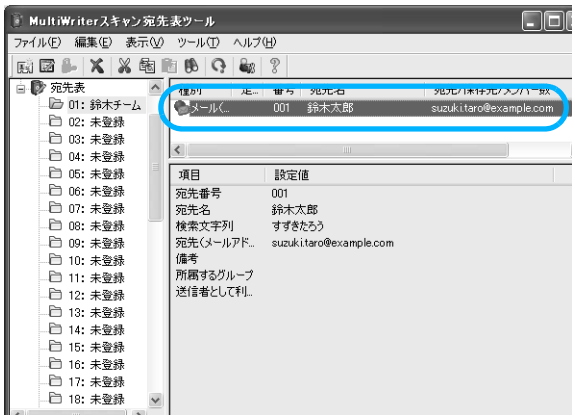
- 16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。
- この項目の設定は、省略できます。

[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

8 設定内容を確認して、［完了］をクリックします。



［宛先表ツール］ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



この例の場合、スキャナーでメール送信するときに、宛先表フォルダー「鈴木チーム」内の、宛先「鈴木太郎」を選択すると、スキャンデータが「suzuki.taro@example.com」宛に送信されます。

次は

これで、準備は完了です。
【メール送信】を使って、スキャンできます。

原稿のセット ➔60 ページ
スキャンのしかた ➔71 ページ

こんなときの準備は

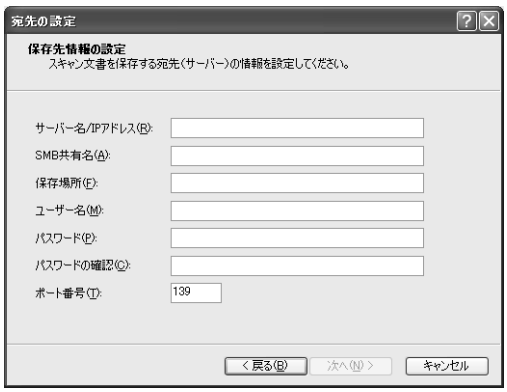
PC保存

本書では、PC 保存の準備として MultiWriter スキャンマネージャのかんたん設定モードを使って宛先を登録しましたが、次の場合には、かんたん設定モード以外の方法で、宛先を登録します。

● Windows XP Home Edition をお使いの場合

Windows XP Home Edition の場合、かんたん設定モードを使用できません。
コンピューターのサーバー名や保存場所などを指定して、宛先を登録します。
詳しくは、『オンラインマニュアル』を参照してください。

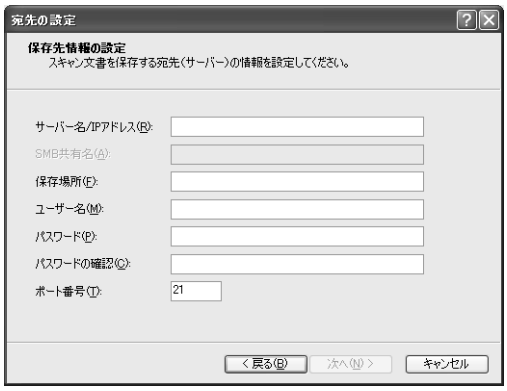
- Windows XP Home Edition 以外の場合でも、サーバー名や保存場所などを指定して宛先を登録したいときは、この方法で登録します。



保存先フォルダーの作成と共有設定 ➔『オンラインマニュアル』「1.6 PC 保存の環境を設定する」の「SMB の場合の共有フォルダーの作成」
宛先表フォルダーの登録 ➔ 本書の 47 ページ
宛先の登録 ➔『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」の「PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する」
宛先登録時の設定項目 ➔ 本書の「宛先の登録に必要な設定項目」(54 ページ)、または『オンラインマニュアル』「5.1 宛先表の概要」

● FTP サーバーに保存する場合

FTP サーバーに保存する場合、FTP サーバー（保存先コンピューター）に、保存先フォルダーを作成したあと、FTP サーバーのサーバー名や保存場所などを指定して、宛先を登録します。
詳しくは、『オンラインマニュアル』を参照しください。



保存先フォルダーの作成 ➔ 各オペレーティングシステム（OS）のオンラインヘルプを参照してください。
宛先表フォルダーの登録 ➔ 本書の 47 ページ
宛先の登録 ➔『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」の「PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する」
宛先登録時の設定項目 ➔ 本書の「宛先の登録に必要な設定項目」(54 ページ)、または『オンラインマニュアル』「5.1 宛先表の概要」

● Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合

Mac OS X 10.3/10.4 の場合、OS 側で必要な設定があります。
また、宛先表への宛先表フォルダーの登録や、宛先の登録は、CentreWare Internet Services で行います。
『オンラインマニュアル』や CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照して、必要な設定や、宛先の登録を行ってください。

ポイント

- MultiWriter スキャンマネージャは、Mac OS X 10.3/10.4 には対応していません。

必要な設定 ➔『オンラインマニュアル』「1.6 PC 保存の環境を設定する」の「Mac OS X に保存するための設定」
保存先フォルダーの作成 ➔Mac ヘルプ
宛先表フォルダー / 宛先の登録 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

宛先の登録に必要な設定項目

かんたん設定モードを使わないで宛先を登録するときの設定項目は、次のとおりです。

各項目の詳細 ➔『オンラインマニュアル』「5.1 宛先表の概要」

設定項目		入力例
サーバー名 /IP アドレス	コンピューター名、または IP アドレス	myhost myhost.example.com 192.168.1.1
SMB 共有名 (FTP のときは、表示されません。)	40 ページで作成した共有フォルダー名	例）ScanData
保存場所	SMB の場合： 共有フォルダー内のフォルダー名 (共有フォルダー直下に保存する場合は、省略できます。) FTP の場合： 保存先フォルダー名 (ログインしたフォルダー直下に保存する場合は、省略できます。)	SMB の例）SMBscan¥SubFolder FTP の例）FTPscan/SubFolder
ユーザー名	保存先コンピューターおよびフォルダーに、スキャナーがログインするときのユーザー名	わからないときは、システム管理者にご相談ください。
パスワード	上記の［ユーザー名］に設定したユーザーのパスワード	
パスワードの確認	パスワードを再入力	
ポート番号	(通常は変更しません)	――――――

注記

- FTP の場合、FTP サーバーが Mac OS X のときは、保存場所やファイル名に全角文字は使用できません。

いつも使う設定を保存する

読み取り解像度や出力ファイル形式など、操作パネルから行うスキャン条件の設定を、あらかじめ宛先に登録できます。この設定を「スキャンの定型設定」といいます。
スキャンの定型設定の登録は、MultiWriter スキャンマネージャで宛先を登録するときに行います。
宛先の登録 ➔48 ページ

ポイント

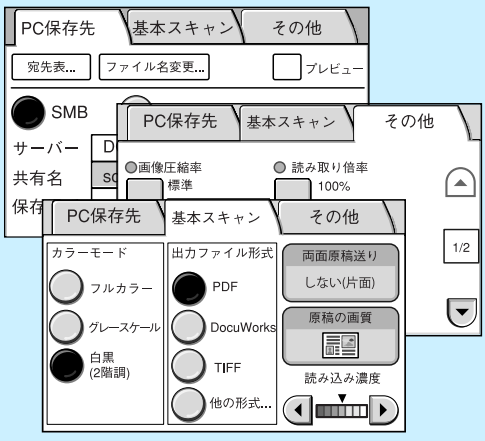
- スキャンの定型設定を設定できる宛先は、次のとおりです。
  ・PC 保存の宛先「サーバー」
  ・メール送信の宛先「メール（グループ）」
  ・メディア保存の宛先「メディア」
  メール送信の宛先「メール（個人）」には、設定できません。

スキャンの定型設定を登録すると、宛先を選択するだけで、同時にスキャン条件も設定できます。
たとえば、「スキャンデータを、いつも自分のコンピューターに DocuWorks 文書形式で保存している」といった場合、スキャンの定型設定で出力ファイル形式に DocuWorks 文書形式を選択して、宛先に登録しておきます。こうすると、スキャン時の出力ファイル形式の指定操作が必要なくなります。

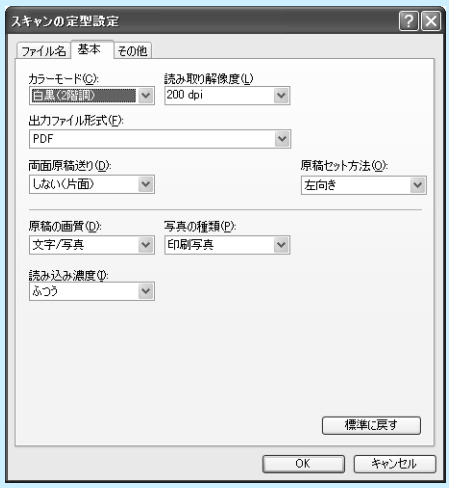
●［スキャンの定型設定］ダイアログボックス

スキャンの定型設定を行う［スキャンの定型設定］ダイアログボックスには、操作パネルのスキャン画面と同じ、スキャン条件に関する設定項目が表示されます。

操作パネル



［スキャンの定型設定］ダイアログボックス



［スキャンの定型設定］ダイアログボックスについての詳細 ➔MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ

3

原稿セットのしかた

紙の原稿をスキャナーにセットする方法を説明しています。
また、使用してはいけない原稿など、注意事項を説明しています。

使用できる原稿

	機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
セットできる原稿サイズ	PR-MW-SC51	［最大］334.5 × 452.0mm	［最小］100.0 × 148.0mm ［最大］297.0 × 432.0mm
	PR-MW-SC41	［最大］220.0 × 300.0mm	［最小］140.0 × 140.0mm ［最大］215.9 × 355.6mm
読み取り可能エリア	PR-MW-SC51	［最小］15.0 × 15.0mm ［最大］297.0 × 432.0mm	［最小］100.0 × 148.0mm ［最大］297.0 × 432.0mm
	PR-MW-SC41	［最小］15.0 × 15.0mm ［最大］215.9 × 297.0mm	［最小］140.0 × 140.0mm ［最大］215.9 × 355.6mm
原稿の質量（メートル坪量*1）	PR-MW-SC51	―	35 ～ 120g/ ㎡（片面原稿） 50 ～ 120g/ ㎡（両面原稿*2）
	PR-MW-SC41	―	60 ～ 105g/ ㎡（片面原稿） 60 ～ 105g/ ㎡（両面原稿*2）
原稿セット可能枚数		1 枚	50 枚 （普通紙の場合：60 ～ 100g/ ㎡）

*1　メートル坪量とは、1 ㎡の用紙 1 枚の質量をいいます。
*2　両面原稿のおもて面 / うら面両方を読み込ませてスキャンする場合の値です。

●自動検知できる原稿サイズ

このスキャナーは、スキャンするときに原稿サイズを自動で検知します。原稿が次の表の定形サイズの場合、原稿サイズを指定する必要はありません。

機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
スキャナユニット PR-MW-SC51	B5、B5、A5、A5、A4、A4、8.5 × 11 インチ、B4、A3、11 × 17 インチ、B6、A6	B5、B5、A5、A5、A4、A4、B4、A3
スキャナユニット PR-MW-SC41	B5、A5、A5、A4、B6、A6	B5、A5、A5、A4

※　表は、AB 系の場合の定形原稿サイズです。AB 系（八開 / 十六開）、インチ系の場合の原稿サイズ、およびサイズ検知の切り替えについては、『オンラインマニュアル』「7.4 共通設定」の「その他の設定」を参照してください。

使用できない原稿

原稿ガラスの場合

次のような原稿の場合、原稿のサイズを自動検知できずにエラーメッセージが表示されたり、スキャンデータの画像が切れたりすることがあります。
次の方法で対処してください。

原稿	対処方法
非定形サイズの原稿	[その他]画面の[読み取りサイズ](スキャン時)または[原稿サイズ入力](コピー時)で原稿のサイズを指定してください。
光沢のある原稿	
厚みのある原稿(冊子など)	
透過度が高い原稿 (OHP フィルムなど)	原稿の上に同じサイズの白紙をのせてください。または、[その他]画面の[読み取りサイズ](スキャン時)または[原稿サイズ入力](コピー時)で原稿のサイズを指定してください。
破れ、しわ、穴あき、激しいカールがある原稿	

「対処方法」の詳しい操作 ➔『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

注記

- 多量の水分を含んだ原稿は、セットしないでください。機械内部に水分が入り、機械が故障するおそれがあります。
- 5kg 以上の原稿は、セットしないでください。原稿ガラス、および機械が破損するおそれがあります。
- 写真ホルダーを用いた原稿の場合、フィルムの波打ち状態によっては、正しくスキャンされないことがあります。

自動原稿送り装置の場合

次のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因になります。原稿ガラスにセットしてください。

折り目、しわ、やぶれた原稿　切り貼り原稿　薄紙　カールした原稿　裏カーボン紙　穴の多い原稿

その他、次の原稿は原稿ガラスにセットしてください。

- 光沢がある原稿(写真など)
- クリップ、ホチキス、のり付けなどで留めた原稿、付せんがついた原稿
- 厚みがある原稿
- 透過度が高い原稿(OHP フィルムなど)
- 感熱紙

また、スキャナユニット PR-MW-SC41 は、ミックスサイズ原稿(異なるサイズの混在する原稿)を自動原稿送り装置にセットできません。

原稿をセットする

原稿は、原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。
本をスキャンしたい、付せんやクリップがついたままスキャンしたい場合は、原稿ガラスにセットします。
1 枚ずつ、ばらばらになっている原稿は、自動原稿送り装置を使うと、まとめてセットできます。

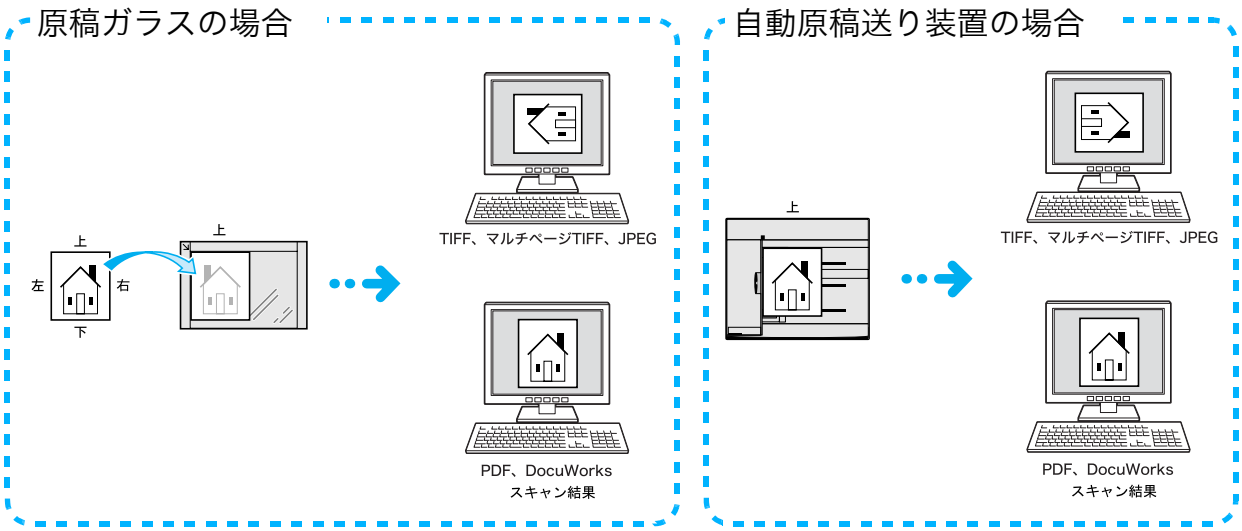
ポイント

- ジョブの途中で原稿の読み取りを追加して行う場合、最初に読み取りを行った位置に、原稿を置いてください。
- ジョブの途中で、原稿ガラスから自動原稿読取装置に、切り替えて読み込ませることはできません。また、自動原稿送り装置から原稿ガラスに、切り替えて読み込ませることもできません。

原稿セットの向きについて

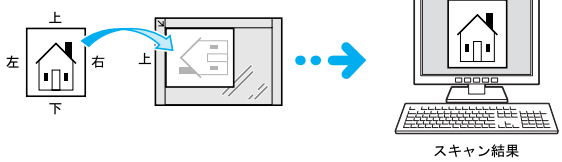
スキャン / コピーするときは、原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。
スキャン画面またはコピー画面の［その他］画面にある［原稿セット向き指定］で、［読める向き］、または［左向き］を選択してください。
出力ファイル形式が TIFF、マルチページ TIFF、JPEG の場合、通常は原稿を「左向き」にセットしてください。
また、両面原稿を読み込む場合は、［両面原稿送り］（スキャン時）または［両面 / 片面選択］（コピー時）の［原稿セット向き指定］とセットされた原稿の向きが合っているかを確認してください。

読める向き

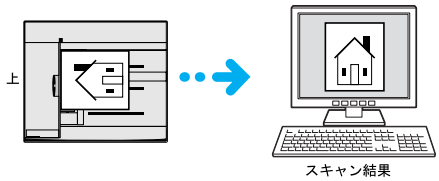


左向き

原稿ガラスの場合



自動原稿送り装置の場合



詳しい使い方 ➔『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

原稿ガラスにセットする

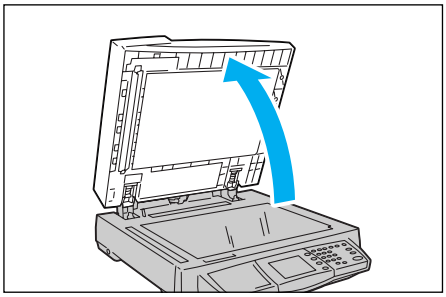
⚠注意

- 書籍などの厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。
- 原稿カバーを開けたまま原稿を読み取るとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

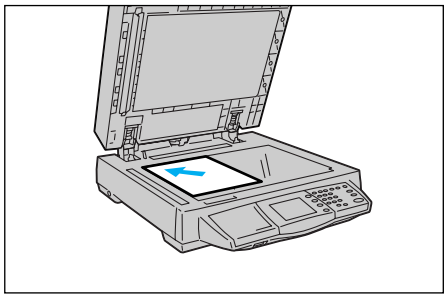
注記

- 節電中、または節電解除中（タッチパネルディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態）は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知できません。
- 節電中、または節電解除中に、原稿ガラスでスキャンするときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください。」という表示が消えてから原稿をセットしてください。
- 原稿カバーは原稿カバー開閉センサーが離れる位置まで開けてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズの自動検知機能が働きません。

1 原稿カバーを開けます。



2 スキャンする面を下に向けて、原稿ガラス左奥の角に合わせて原稿をセットします。



- OHP フィルムやトレーシングペーパーなど透過度の高い原稿は、原稿の上に白紙をのせてください。

3 原稿カバーを閉じます。

- 原稿カバーは静かに閉めてください。原稿ガラス破損の原因となるおそれがあります。

自動原稿送り装置にセットする

50 枚以上の原稿をスキャンするときは、50 枚単位で分けてセットしてください。
セットした原稿は、いちばん上から順に送り込まれ、スキャン面を下にして排出されます。

注記

- 原稿ガラス上に原稿を置いたままの状態で、自動原稿送り装置からスキャンしないでください。原稿づまりの原因になることがあります。

●スキャナユニット PR-MW-SC51 の場合

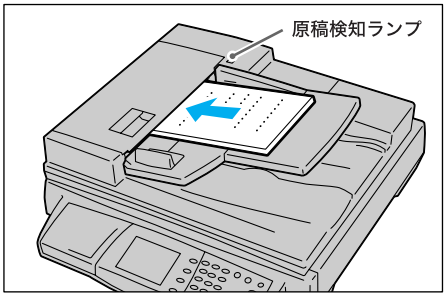
自動原稿送り装置は、100.0 × 148.0mm ～ 297.0 × 432.0mm の範囲の原稿を、50 枚（普通紙：60 ～ 100g/m²）まで、まとめてセットできます。

1 原稿の端をそろえます。

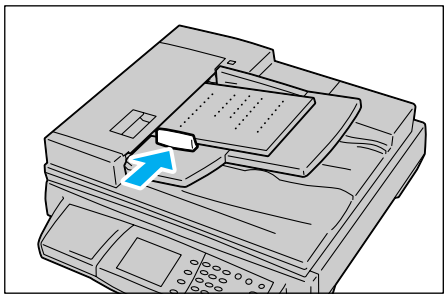
- 原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。

2 スキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、自動原稿送り装置の左奥側に原稿を沿わせて、矢印方向にセットします。

原稿が正しくセットされると、原稿検知ランプが点灯します。



3 原稿ガイドを移動して、原稿の端に軽く押し当てます。



注記

原稿づまりや原稿破損の原因になるので、次の事項に注意してください。

- 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
- 原稿受けにものを置かないでください。

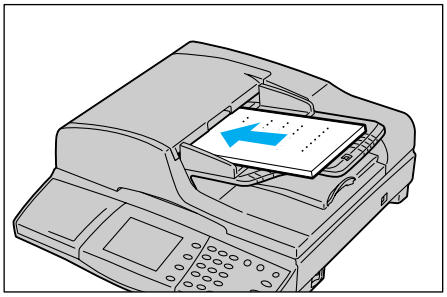
●スキャナユニット PR-MW-SC41 の場合

自動原稿送り装置は、140.0 × 140.0mm ～ 215.9 × 355.6mm の範囲の原稿を、50 枚（普通紙：60 ～ 100g/m²）まで、まとめてセットできます。

1 原稿の端をそろえます。

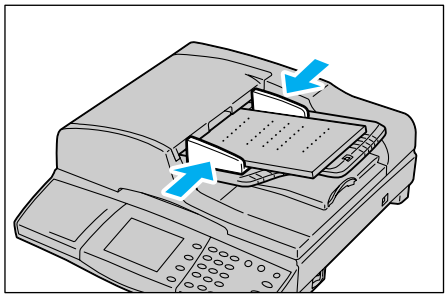
- 原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。

❷スキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、自動原稿送り装置の中央に原稿を沿わせて、矢印方向にセットします。



● 原稿が奥に突き当たるまで、しっかりセットしてください。

❸原稿ガイドを移動して、原稿の両端に軽く押し当てます。



注記

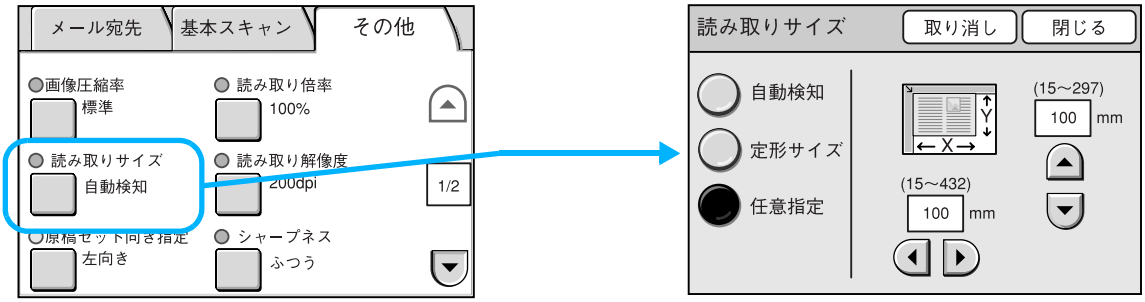
原稿づまりや原稿破損の原因になるので、次の事項に注意してください。

- 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
- 原稿受けにものを置かないでください。

定形サイズでない原稿をセットする

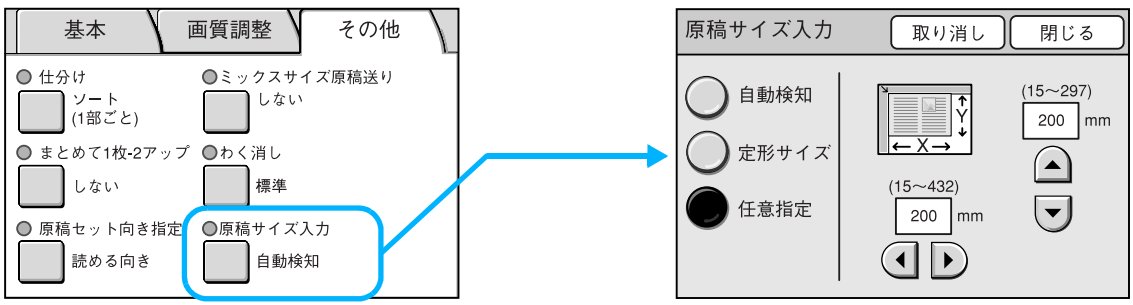
非定形サイズの原稿や、付せんを付けたままの原稿をスキャンしたいときなど、原稿が定形サイズでない場合、［その他］画面で原稿サイズを設定します。

●スキャンの場合



詳しい使い方 ➔『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

●コピーの場合

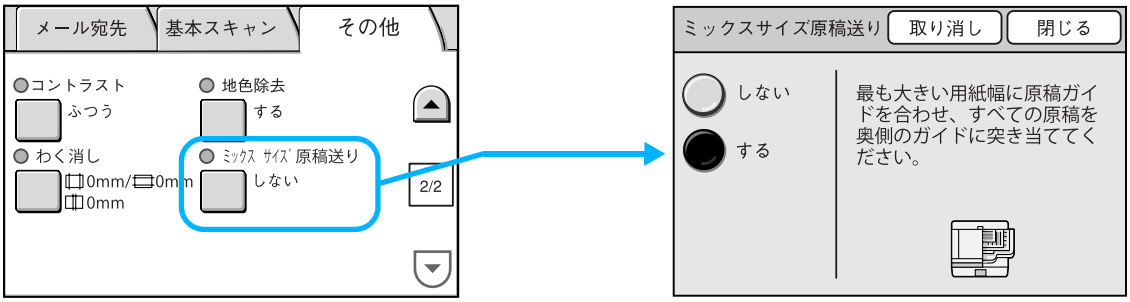


詳しい使い方 ➔『オンラインマニュアル』「4.6 その他のコピー項目を設定する」

サイズがいろいろある原稿をセットする（PR-MW-SC51 のみ）

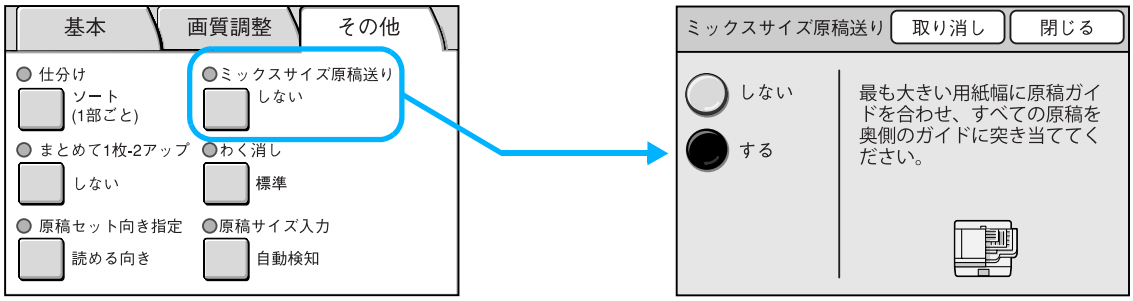
いろいろなサイズの原稿が混在しているときは、[ミックスサイズ原稿送り]を[する]に設定します。

●スキャンの場合



詳しい使い方 ➔『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

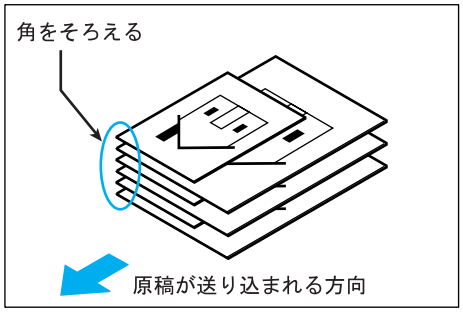
●コピーの場合



詳しい使い方 ➔『オンラインマニュアル』「4.6 その他のコピー項目を設定する」

ミックスサイズ原稿を自動原稿送り装置にセットするときは、次の点に注意してください。

- A5 サイズの原稿は、必ずよこ置きにします。
- 原稿は左上の角をそろえます。そろえないと原稿が詰まります。



4

スキャンのしかた

【PC 保存】/【メール送信】/【メディア保存】

コンピューターに保存、メールで送信、USB フラッシュメモリーに保存する手順を説明しています。

スキャンデータについて、知っておきたいこと

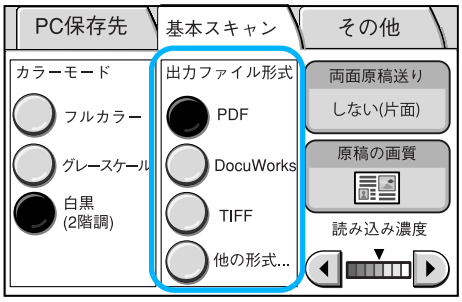
●出力ファイル形式

原稿をスキャンすると、次のいずれかのファイル形式で、保存先コンピューターや USB フラッシュメモリーに保存されるか、またはメールに添付され送信されます。ファイル名は、自動的に設定されますが、指定することもできます。

ファイル名の指定方法 ➔103 ページ (Q21)

種類	ファイル形式	拡張子	目的
文書	PDF	.pdf	複数ページに対応。Adobe® Reader® などで開きます。 PDF（1 ページ 1 ファイル）は、1 ページずつファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。
	DocuWorks 文書	.xdw	複数ページに対応。DocuWorks で開きます。 DocuWorks（1 ページ 1 ファイル）は、1 ページずつファイルにして、DocuWorks 文書で保存します。
画像	TIFF	.tif	印刷物などに使われます。白黒向き。 マルチページ TIFF は、複数ページを 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。ソフトウエアによっては開けません。MultiWriter スキャンマネージャで開けます。
	JPEG	.jpg	Web ブラウザーでも開けます。カラーデータに向いています。

出力ファイル形式は、操作パネルの［基本スキャン］画面で設定できます。



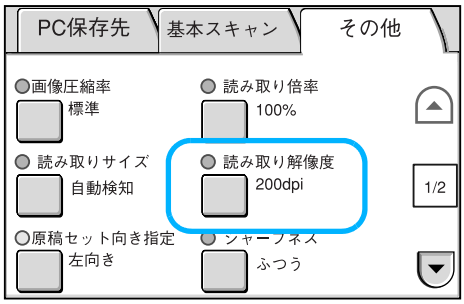
スキャンの設定項目一覧 ➔83 ページ

●読み取り解像度

原稿を読み取るときの解像度を設定できます。

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi の値から選択するか、任意の解像度を 200 ～ 600dpi の範囲で、1dpi 刻みで指定できます。数値が大きくなるほど、細かく読み取られますが、データ量は大きくなります。データ量が大きいと、読み込みや保存、送信に時間がかかります。

読み取り解像度は、操作パネルの［その他］画面で設定できます。



スキャンの設定項目一覧 ➔83 ページ

PC 保存する

PC保存

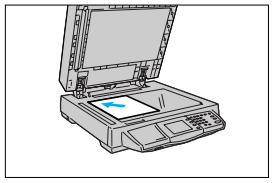
コンピューターに保存するための準備は済んでいますか？

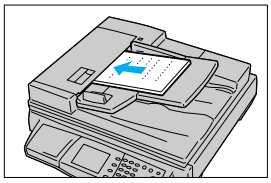
- 保存先フォルダーは作成しましたか ➔40 ページ
- MultiWriter スキャンマネージャをインストールして、宛先を登録しましたか ➔39 ページ、45 ページ

原稿をセットする

1 スキャンする原稿をセットします。

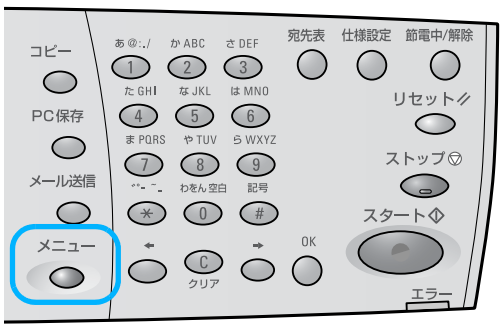
原稿のセット方法 ➔60 ページ





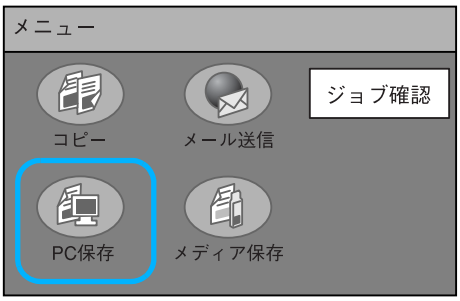
PC 保存画面を表示する

1 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。

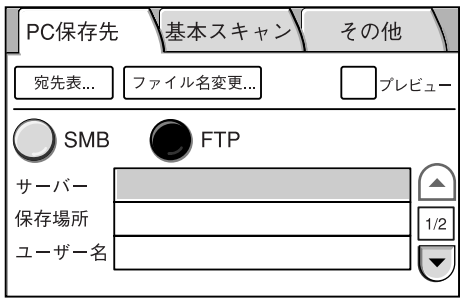


タッチパネルディスプレイに［メニュー］画面が表示されます。

2 ［PC 保存］を押します。



［PC 保存先］画面が表示されます。

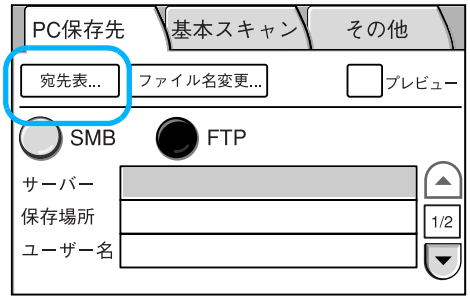


暗証番号を入力する画面が表示されたら
➔98 ページ (Q4)

宛先を選択する

「宛先を登録する」(45 ページ) で登録した宛先を選択します。

1 [宛先表. . .] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。



[宛先表フォルダー] 画面が表示されます。

2 指定したいPC保存先が登録されている宛先表フォルダーを選択します。

- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されるので、暗証番号を入力します。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されています。

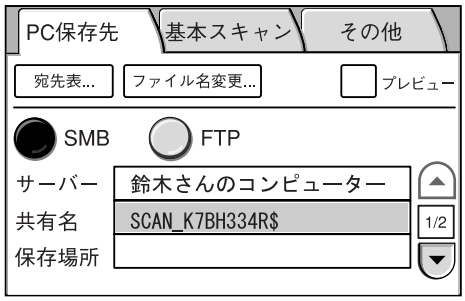
設定した暗証番号を忘れたときには ➔109 ページ (Q42)

3 [宛先表] 画面で、保存先を選択します。

選択すると、保存先は白黒反転します。

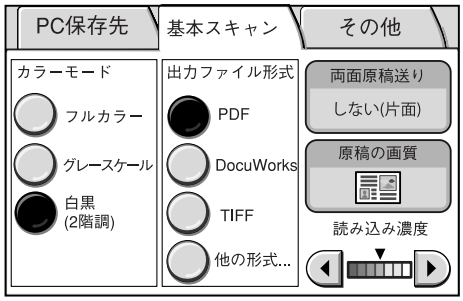
4 [閉じる] を押します。

登録されている内容が表示されます。



スキャンの設定をする

1 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、色や画質、読み取りサイズなどのスキャン条件を設定します。



設定できる項目一覧 ➔83 ページ

2 必要に応じて、ファイル名を設定します。設定しないと、決められたルールに従ったファイル名になります。

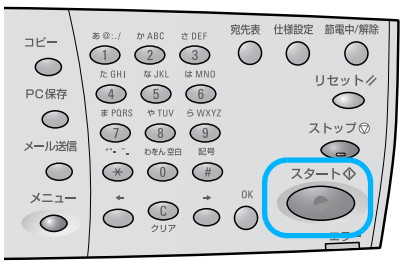
ファイル名について ➔103 ページ (Q21)

3 スキャンを開始する前に、プレビューを表示して内容を確認できます。

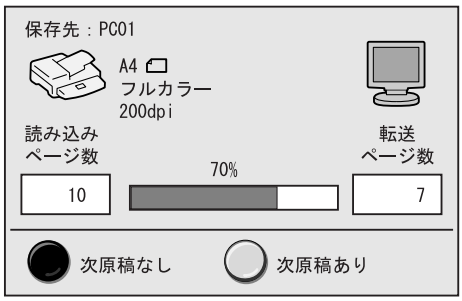
プレビューを表示するには ➔81 ページ

スキャンを開始する

1 [PC 保存先] 画面を表示して、〈スタート〉ボタンを押します。



スキャンが開始されます。



エラーが表示されたら ➔111 ページ
次の原稿がある場合 ➔80 ページ
ジョブを確認するには ➔103 ページ (Q23)

注記

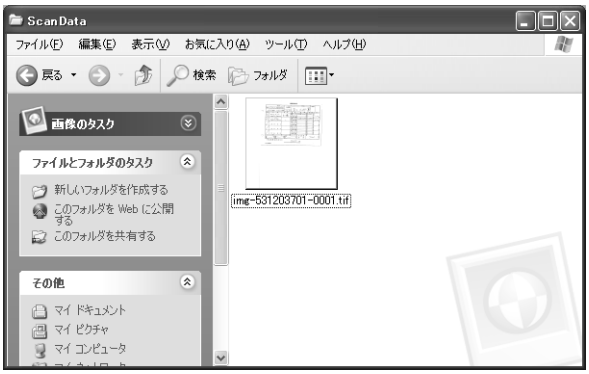
自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

完了すると、保存先に指定したコンピューターのフォルダーにスキャンデータ（ファイル）が保存されます。

【PC 保存】の結果を確認する

PC 保存されたファイルを、保存先のコンピューターで表示します。

Windows で表示する



MultiWriter スキャンマネージャで表示する

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］＞［NEC Printers］＞［MultiWriter スキャンマネージャ］＞［MultiWriter スキャンマネージャ］を選択すると表示されます。

メール送信する

メール送信

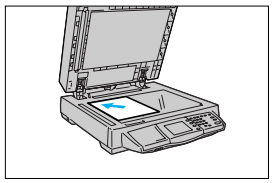
メールで送信するための準備は済んでいますか？

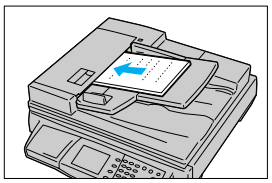
- メール環境は設定しましたか ➔42 ページ
- MultiWriter スキャンマネージャをインストールして、宛先は登録しましたか ➔39 ページ、45 ページ

原稿をセットする

1 スキャンする原稿をセットします。

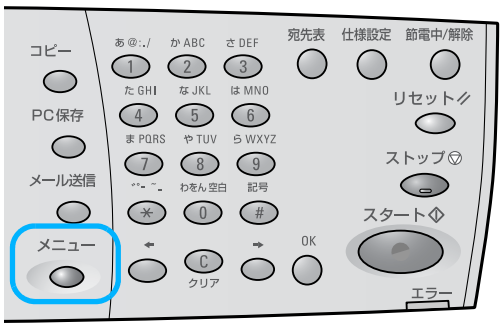
原稿のセット方法 ➔60 ページ





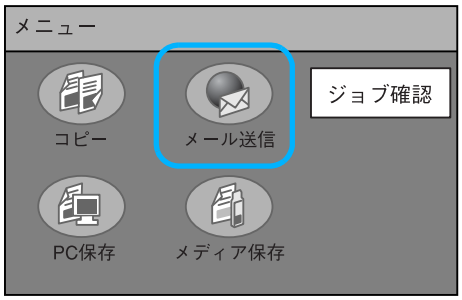
メール送信画面を表示する

1 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。

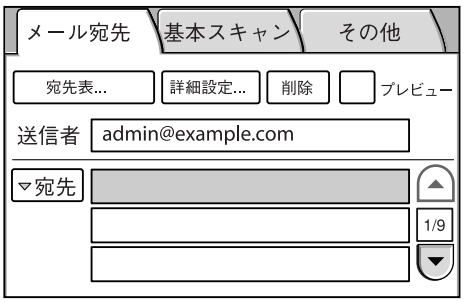


タッチパネルディスプレイに［メニュー］画面が表示されます。

2 ［メール送信］を押します。



［メール宛先］画面が表示されます。

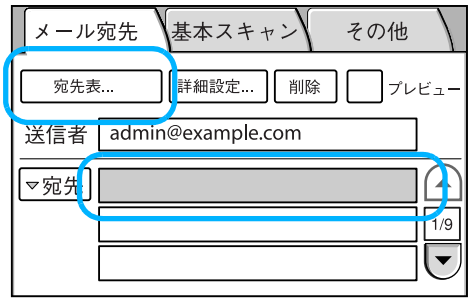


暗証番号を入力する画面が表示されたら
➔98 ページ (Q4)

宛先を選択する

「宛先を登録する」(45 ページ) で登録した宛先を選択します。

1 宛先の入力欄を選択して、[宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。



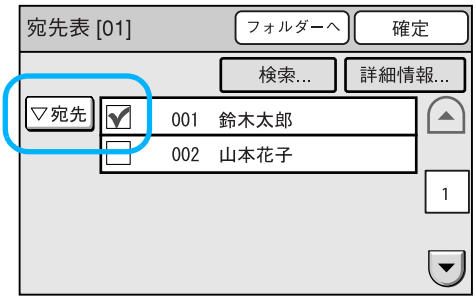
[宛先表フォルダー] 画面が表示されます。

2 指定したい宛先が登録されている宛先表フォルダーを選択します。

- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されるので、暗証番号を入力します。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されています。

設定した暗証番号を忘れたときには ➔109 ページ (Q42)

3 [宛先表] 画面で、使用する宛先名の ☐ を押して、チェックを付けると、左側に [宛先] が表示されます。



- 取り消すときは、もう一度 ☑ を押します。

4 必要に応じて、[宛先] を押して [CC] または [BCC] に変更します。

5 同じフォルダー内の宛先に同時に送信する場合は、手順 3 、4 を繰り返します。

6 [確定] を押します。

- [宛先表] 画面の右上にある [閉じる] は、宛先を選択すると、[確定] に変わります。

7 別のフォルダー内の宛先にも送信する場合は、手順 2 ～ 6 を繰り返します。

送信者を設定する

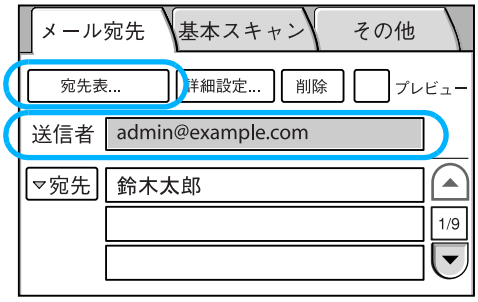
必要に応じて、送信者のアドレスを入力します。

ポイント

- エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。
- 本体メールアドレスが、設定されている場合には、その値が表示されます。設定は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［プロトコル設定］＞［メール］で行います。
  ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

1 ［送信者］の入力欄を選択して、［宛先表...］または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。

- 操作パネルの数字ボタンで［送信者］にアドレスを入力することもできます。



2 送信者にしたい宛先を選択します。

返信先アドレスを設定する

必要に応じて、返信先アドレスを設定します。

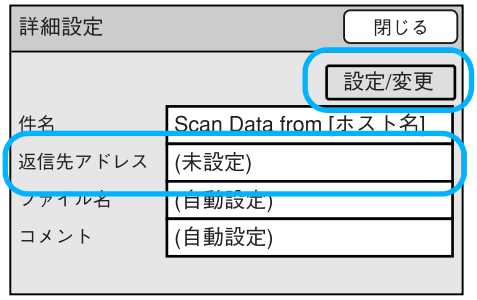
ポイント

- エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。

1 [詳細設定...] を押します。

[詳細設定] 画面が表示されます。

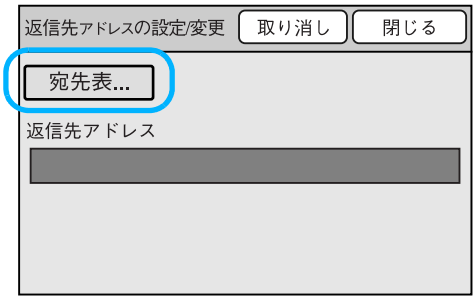
2 [返信先アドレス] を選択し、[設定 / 変更] を押します。



[返信先アドレスの設定 / 変更] 画面が表示されます。

3 [宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。

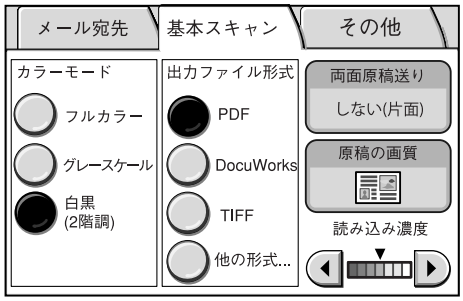
- 操作パネルの数字ボタンで [返信先アドレス] にアドレスを入力することもできます。



4 返信先アドレスにしたい宛先を選択します。

スキャンの設定をする

1 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、色や画質、読み取りサイズなどのスキャン条件を設定します。



設定できる項目一覧 ➔83 ページ

2 必要に応じて、ファイル名を設定します。設定しないと、決められたルールに従ったファイル名になります。

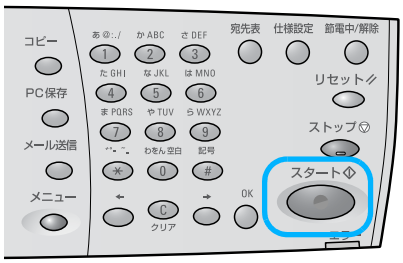
ファイル名について ➔103 ページ (Q21)

3 スキャンを開始する前に、プレビューを表示して内容を確認できます。

プレビューを表示するには ➔81 ページ

スキャンを開始する

1 [メール宛先] 画面を表示して、〈スタート〉ボタンを押します。



スキャンが開始されます。完了すると、メール送信されます。
なお、送信先の状態を確認後、読み込みを開始するので、読み込み開始まで時間がかかることがあります。

エラーが表示されたら ➔111 ページ
次の原稿がある場合 ➔80 ページ
ジョブを確認するには ➔103 ページ (Q23)

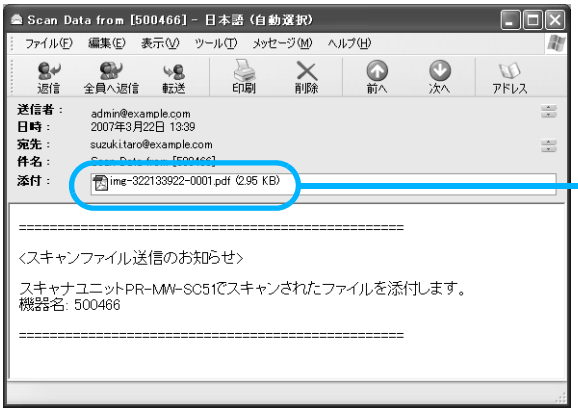
注記

自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

受信メールを確認する

受信したメールを確認します。

メールソフトで表示する



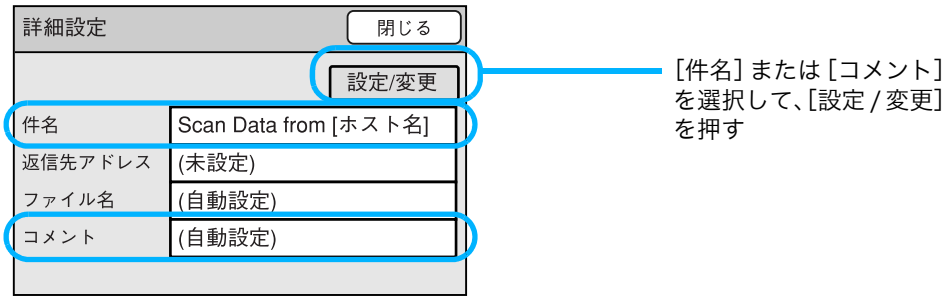
添付ファイルがスキャンデータです。

この例は、Outlook Express を使用している場合です。

件名、コメントを設定する

メール送信

[詳細設定] 画面 (74 ページ) で、メールの件名やコメント (メールの本文) を設定できます。



件名やコメントは、次のどちらかの方法で設定できます。

- 操作パネルの数字ボタンで入力する
- 登録リストから選択する

詳しい操作方法については、『オンラインマニュアル』「3.5 メールで送信する」を参照してください。

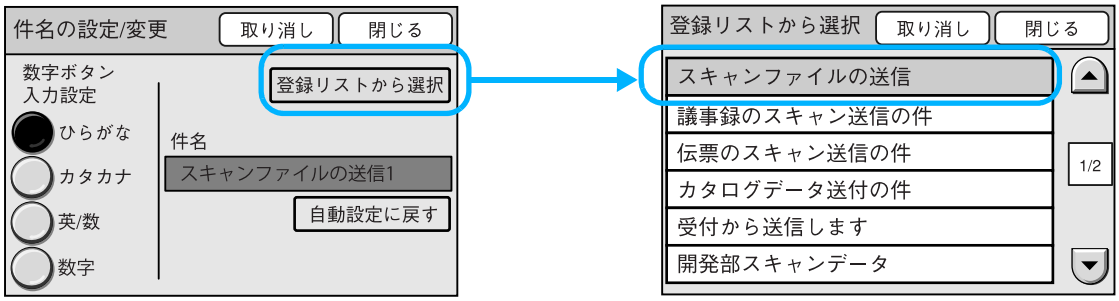
ポイント

- 登録リストに件名やコメントを登録するには、MultiWriter スキャンマネージャの宛先表ツールまたは CentreWare Internet Services を使います。
  MultiWriter スキャンマネージャの操作方法 ➔MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ
  CentreWare Internet Services の操作方法 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

注記

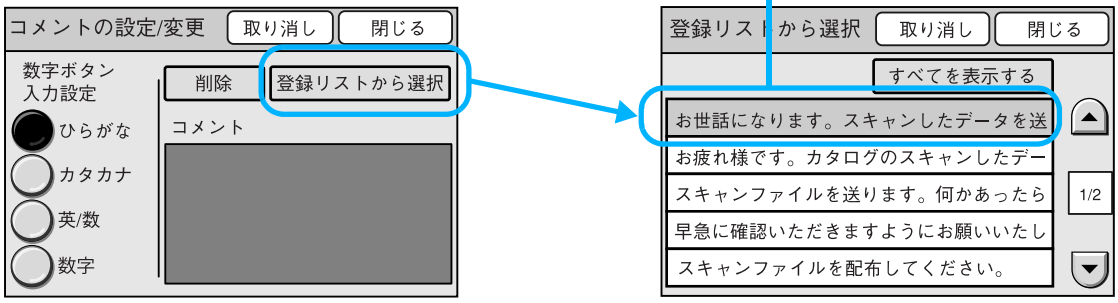
- 登録リストへ件名、コメントの新規登録、追加登録を行った場合は、登録リストのバックアップをとることをお勧めします。登録リストのバックアップ方法は、『オンラインマニュアル』「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」を参照してください。

件名を選択する



コメントを選択する

[すべてを表示する] を押すと、選択されているコメントの全文を表示できます。



メディア保存する

メディア保存

USB フラッシュメモリーに保存するための準備は済んでいますか？

次の注記を参照して、市販の USB フラッシュメモリー（以降、メディアと呼びます）を用意してください。

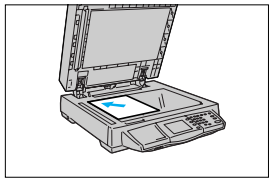
注記

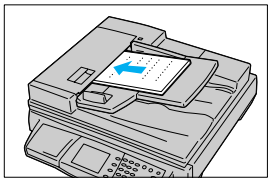
- セキュリティー機能や書き込み禁止機能付きの USB フラッシュメモリーの場合、セキュリティー機能や書き込み禁止機能を有効にしていると、メディア保存できません。

原稿をセットする

1 スキャンする原稿をセットします。

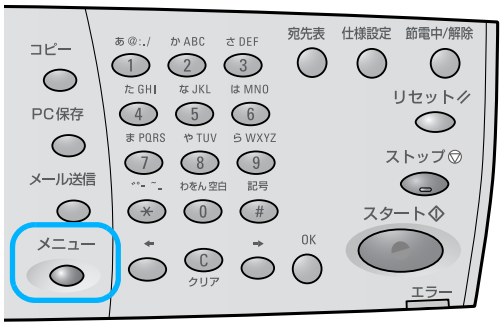
原稿のセット方法 ➔60 ページ





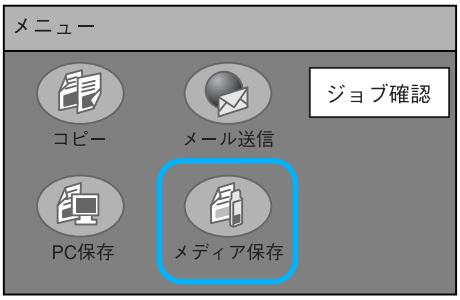
メディア保存画面を表示する

1 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。



タッチパネルディスプレイに［メニュー］画面が表示されます。

2 ［メディア保存］を押します。



［保存先］画面が表示されます。

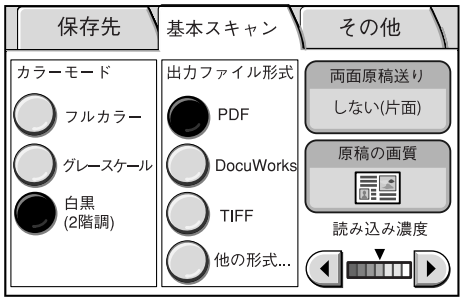
暗証番号を入力する画面が表示されたら
➔98 ページ (Q4)

- 入力欄の「¥」を変更しないと、ルートディレクトリーに保存されます。
- ［宛先表. . . ］を使って、宛先表に登録した保存先パスに保存できます。また、入力欄の「¥」のあとに、パスを入力できます。

➔『オンラインマニュアル』「3.6 メディアに保存する」

スキャンの設定をする

1 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、色や画質、読み取りサイズなどのスキャン条件を設定します。



設定できる項目一覧 ➔84 ページ

2 必要に応じて、ファイル名を設定します。設定しないと、決められたルールに従ったファイル名になります。

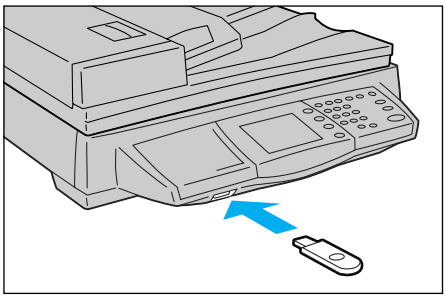
ファイル名について ➔103 ページ (Q21)

3 スキャンを開始する前に、プレビューを表示して内容を確認できます。

プレビューを表示するには ➔81 ページ

スキャンを開始する

1 メディアをスキャナーの USB コネクターに挿入します。

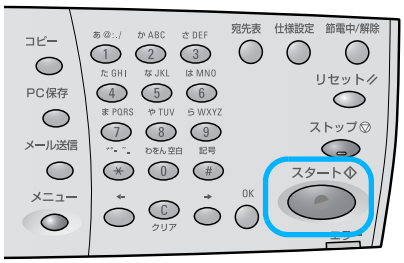


USB コネクターの場所 ➔22 ページ

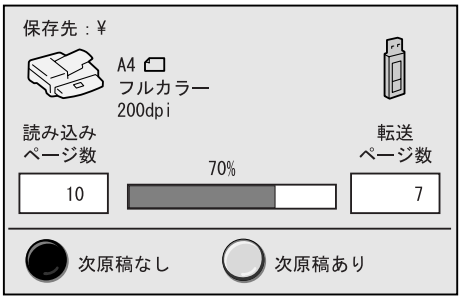
注記

- 自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- スキャン中や保存中は、USB コネクターからメディアを抜かないでください。

2 [保存先] 画面を表示して、〈スタート〉ボタンを押します。



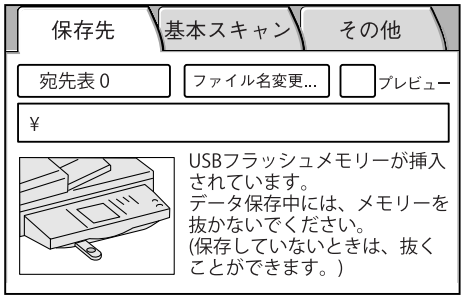
スキャンが開始され、完了するとメディアに保存されます。



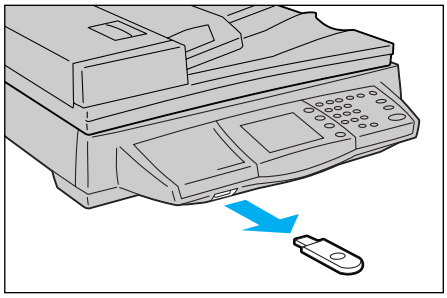
エラーが表示されたら ➔111 ページ
次の原稿がある場合 ➔80 ページ
ジョブを確認するには ➔103 ページ (Q23)

メディアを取り外す

1 次の画面が表示されていることを確認します。



2 USB コネクターからメディアを引き抜きます。



【メディア保存】の結果を確認する

メディア保存されたファイルを表示します。
スキャナーから取り外したメディアを、コンピューターにセットします。

Windows で表示した場合

次の原稿があるとき

セットした原稿に続けて、ほかの原稿を同じジョブとしてスキャンしたい場合、最初の原稿を読み込み中に［次原稿あり］を押します。
原稿は、最大 500 ページまで読み込めます。

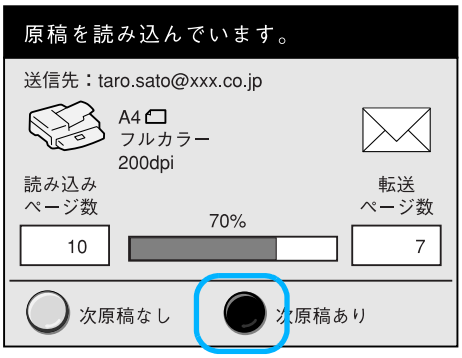
注記

- 原稿ガラスでスキャンしたあと、［次原稿あり］で（1 つのジョブとして）自動原稿送り装置からスキャンすることはできません。また、自動原稿送り装置からスキャンしたあと、［次原稿あり］で（1 つのジョブとして）原稿ガラスからスキャンできません。

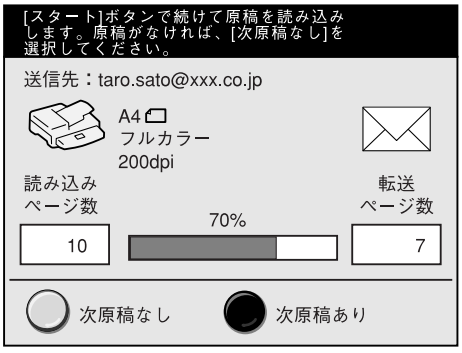
ポイント

500 ページを超えた場合は、その旨を知らせるメッセージが表示され、それ以降の読み取りは、ジョブが終了するまで、できなくなります。500 ページを超えた残りの原稿は、500 ページまでのジョブの終了後、次のジョブとして、スキャンし直してください。

1 原稿を読み込み中に、［次原稿あり］を押します。



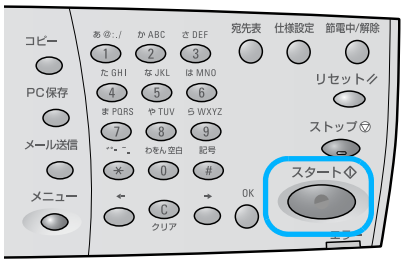
最初にセットした原稿の読み込みが完了すると、メッセージが変わります。



一定時間何も操作しないと、自動的に次の原稿がないと判断され、［次原稿なし］を押したときと同様に、読み込んだデータが、保存または送信されます。

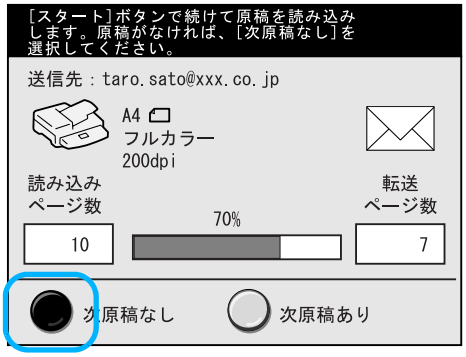
2 次の原稿をセットします。

3 〈スタート〉ボタンを押します。



さらに次の原稿があるときは、原稿のセットと〈スタート〉ボタンを押す操作を繰り返します。

4 すべての原稿を読み込んだら、［次原稿なし］を押します。



プレビューを表示する

スキャンを実行する前に、プレビューを表示して、スキャン内容を確認できます。
出力ファイル形式がDocuWorks文書またはPDFの場合は、画像を回転して保存できます。

細い線は、プレビューで表示されない場合がありますが、スキャンされた内容どおりに細い線も保存されます。

プレビューを表示してスキャンする

1 [プレビュー] の ☐ を押してチェックを付けます。

● ここでは、[メール宛先] 画面を例に説明します。

2 〈スタート〉ボタンを押します。

原稿読み込み中の画面が表示され、そのあと原稿の1ページめのプレビューが表示されます。

3 内容を確認します。

● 出力ファイル形式がDocuWorks文書またはPDFの場合は、[右90度回転]、[左90度回転] を押すと、プレビューと同様にスキャン画像を回転して保存できます。回転は、以降、すべてのページに反映されます。

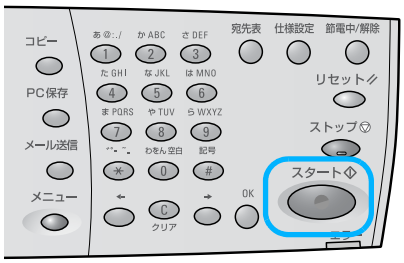
● 両面原稿の場合、おもてページ、うらページごとに回転の設定ができます。たとえば、おもてページに回転の設定をした場合、以降のおもてページすべてに反映されます。うらページには反映されません。

● 次の原稿がある場合は [次原稿あり] を、ない場合は [次原稿なし] を押します。

● 次のページ以降をプレビューしないときは、[次のページもプレビュー] の ☑ を押してチェックを外します。

● スキャンを中止する場合は、[中止] を押します。中止確認のメッセージが表示されるので、82ページの手順 2 、3 を、操作します。

4 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



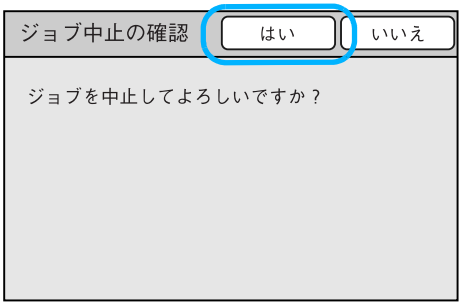
スキャンが実行されます。

スキャンを中止する

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。

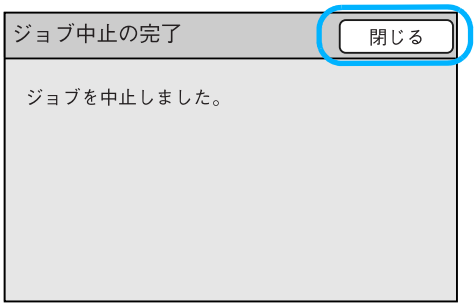
中止確認のメッセージが表示されます。

2 [はい] を押します。



中止操作完了のメッセージが表示されます。

3 [閉じる] を押します。



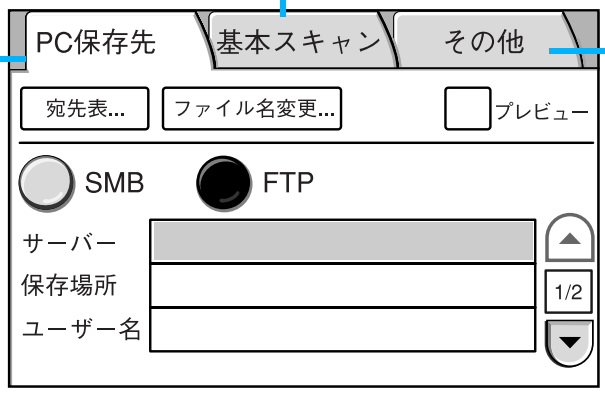
スキャンの設定項目の紹介

●【PC 保存】の画面

[PC 保存先] 画面
- 宛先表
- ファイル名変更
- プレビュー
- SMB/FTP
- サーバー
- 共有名
- 保存場所
- ユーザー名
- パスワード

[基本スキャン] 画面
- カラーモード
- 出力ファイル形式
- 両面原稿送り
- 原稿の画質
- 読み込み濃度

[その他] 画面
- 画像圧縮率
- 読み取り倍率
- 読み取りサイズ
- 読み取り解像度
- 原稿セット向き指定
- シャープネス
- コントラスト
- 地色除去
- わく消し
- ミックスサイズ原稿送り



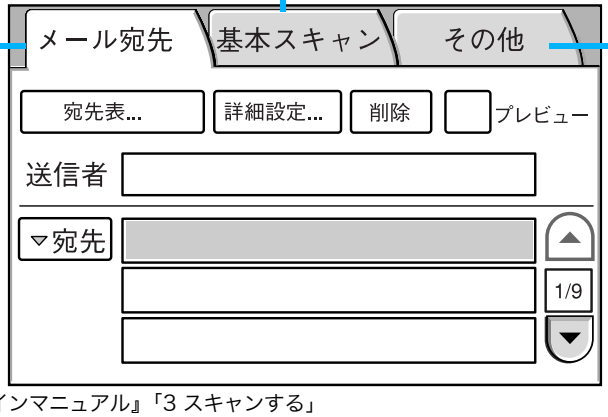
各項目の詳細は ➔『オンラインマニュアル』「3 スキャンする」

●【メール送信】の画面

[メール宛先] 画面
- 宛先表
- 詳細設定
- 削除
- プレビュー
- 送信者
- 宛先 /CC/BCC

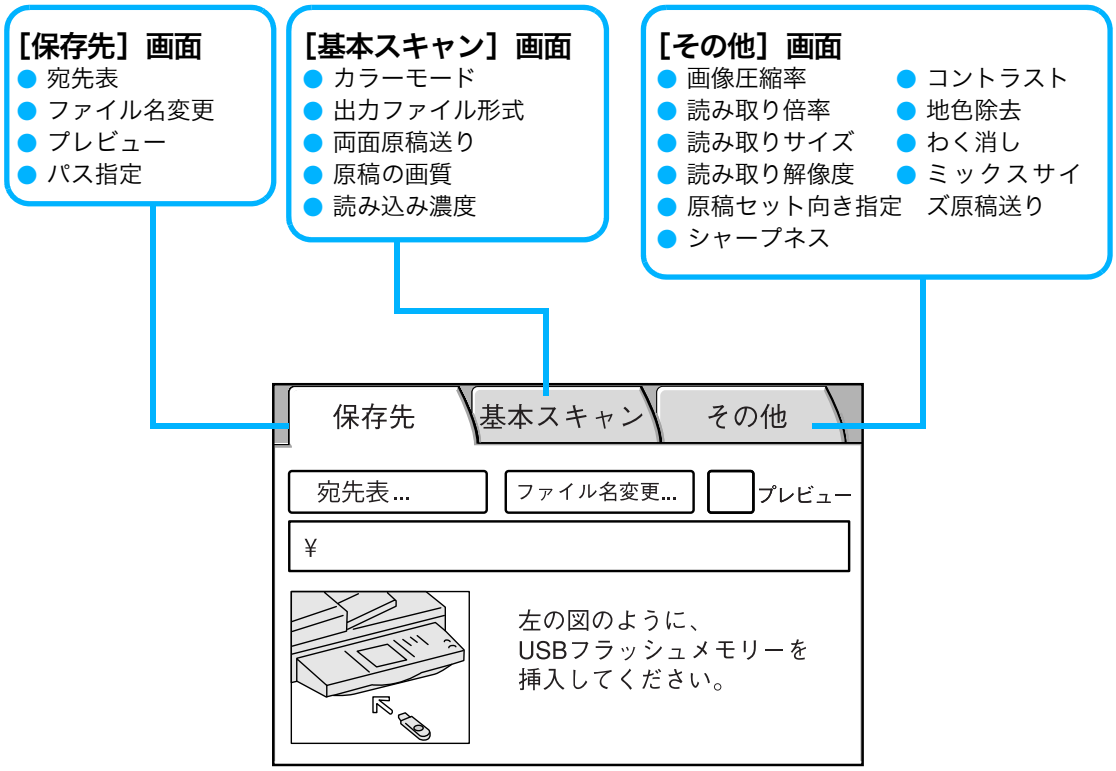
[基本スキャン] 画面
- カラーモード
- 出力ファイル形式
- 両面原稿送り
- 原稿の画質
- 読み込み濃度

[その他] 画面
- 画像圧縮率
- 読み取り倍率
- 読み取りサイズ
- 読み取り解像度
- 原稿セット向き指定
- シャープネス
- コントラスト
- 地色除去
- わく消し
- ミックスサイズ原稿送り



各項目の詳細は ➔『オンラインマニュアル』「3 スキャンする」

●【メディア保存】の画面



各項目の詳細は ➔『オンラインマニュアル』「3 スキャンする」

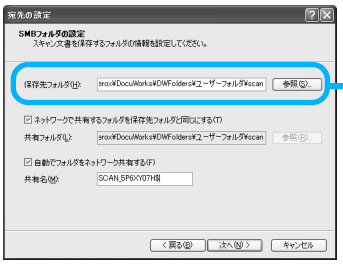
DocuWorks を利用する

スキャナーに同梱されている DocuWorks は、スキャンデータ、Web ページ、画像、さまざまなアプリケーションのファイルなどを、一元管理できるソフトウエアです。
詳しくは、DocuWorks に付属のマニュアルや、次のホームページを参照してください。
➔http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks/

スキャナーで読み込んだ原稿を DocuWorks 文書形式で保存して、直接 DocuWorks Desk に取り込むことができます。

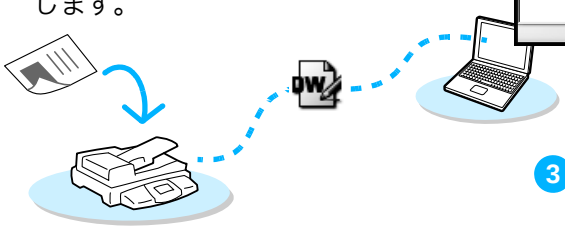
1 宛先を登録するときに、DocuWorks Desk のフォルダーを［保存先フォルダ］に指定します。

宛先の登録 ➔48 ページ

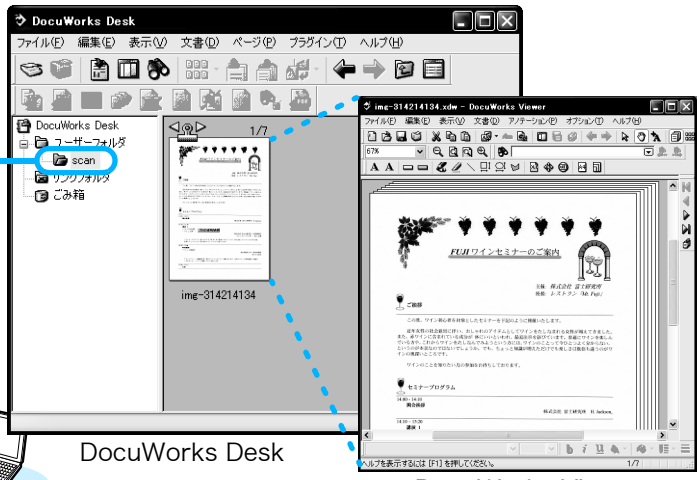


MultiWriter スキャンマネージャ
> 宛先表ツール

2 【PC 保存】でスキャンします。
1 で登録した宛先を選択し、［出力ファイル形式］は［DocuWorks］にします。



スキャンのしかた ➔67 ページ



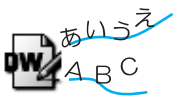
3 宛先に指定したフォルダーを DocuWorks Desk で開くと、スキャンした DocuWorks 文書が表示されます。ダブルクリックすると、DocuWorks Viewer で表示できます。

DocuWorksを利用すると、たとえば次のようなことができます。

●紙と電子の一元化
ほかのアプリケーションデータから作成した DocuWorks 文書と、スキャンした DocuWorks 文書を、1 つのファイルに束ねることができます。まとめて印刷したり、プレゼンテーション資料を作成したり、データを有効利用できます。

●セキュリティー
操作の制限やパスワードを設定して、文書を保護できます。

●OCR（文字認識）処理
OCR 処理して、テキストを検索、編集、コピーできます。



●文書の編集
紙と同じように、付せんを貼ったり、文字や図形を書き込んだりできます。ページ番号、日付印なども付けることができます。

●電子署名
文書に署名して、作成者や作成日を明確にしたり、編集状態を確認したりできます。

5

コピーのしかた

【コピー】

コピーする手順を説明しています。

コピーする

コピー

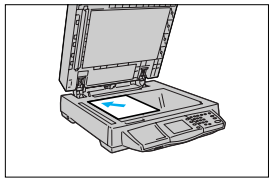
このスキャナーでは、スキャンした原稿を、USB ケーブルで接続しているプリンターから印刷することによって、コピーできます。
【コピー】を使う前に、スキャナーとプリンターを USB ケーブルで接続します。
プリンターとの接続方法 ➔35 ページ

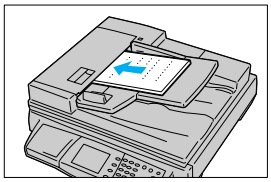
注記

- プリンターと接続して【コピー】を使用するには、プリンターのファームウエアが、スキャナーに対応している必要があります。
  接続して使用できるプリンターの機種、および対応ファームウエアの情報は、当社ホームページで確認してください。
  URL：http://nec8.com/

原稿をセットする

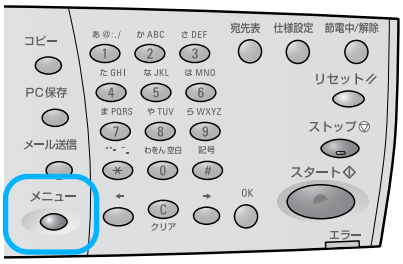
1 コピーする原稿をセットします。
原稿のセット方法 ➔60 ページ





コピー画面を表示する

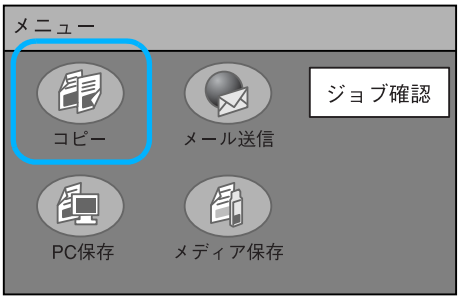
1 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。



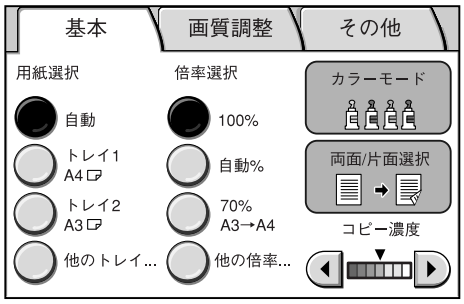
- 操作パネルで〈コピー〉ボタンを押すと、直接［基本］画面が表示できます。

タッチパネルディスプレイに［メニュー］画面が表示されます。

2 ［コピー］を押します。



［基本］画面が表示されます。

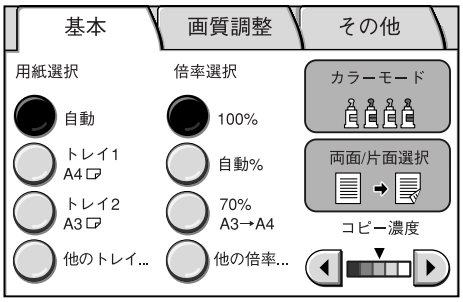


暗証番号を入力する画面が表示されたら
➔98 ページ (Q4)

● コピー画面に表示される項目や、項目の初期値は、接続しているプリンターの機能によって異なります。

コピーの設定をする

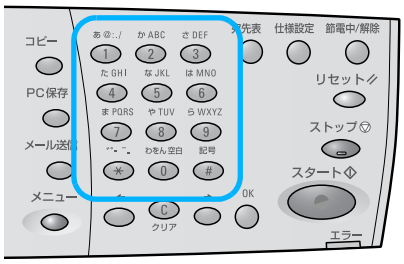
1 必要に応じて、［基本］画面、［画質調整］画面、［その他］画面で、用紙や倍率、画質などのコピー条件を設定します。



各画面の設定項目一覧 ➔92 ページ

部数を入力する

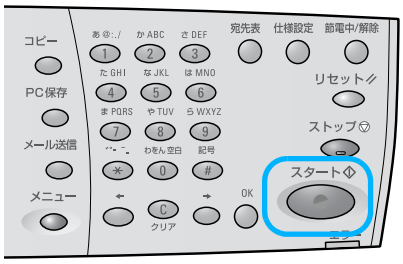
1 数字ボタンでコピー部数を入力します。
入力した部数はタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
1 ～ 999 部の範囲で入力できます。



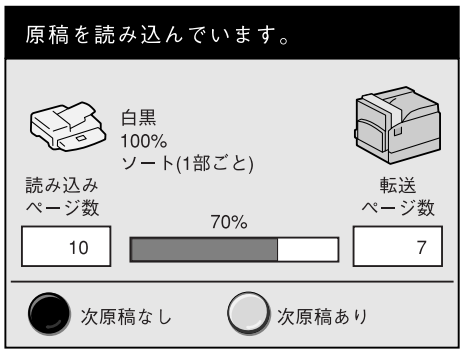
● 入力を間違えた場合は、〈C〉（クリア）ボタンを押して、正しい部数を入力します。

コピーを開始する

1〈スタート〉ボタンを押します。



コピーが開始されます。完了すると、プリンターから印刷されます。



エラーが表示されたら ➔111 ページ
次の原稿がある場合 ➔80 ページ
ジョブを確認するには ➔103 ページ (Q23)

注記

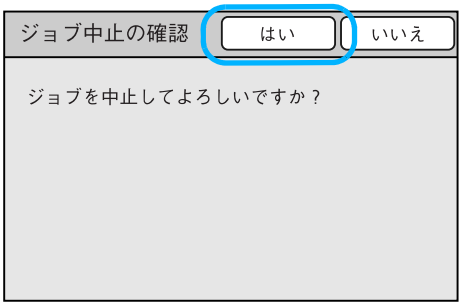
自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

コピーを中止する

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。

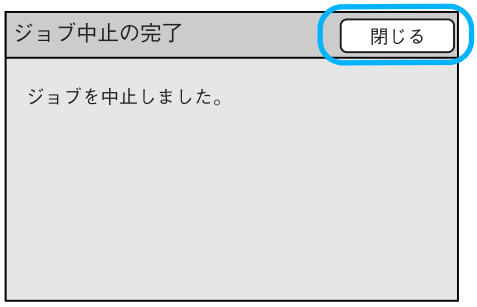
中止確認のメッセージが表示されます。

2 [はい] を押します。



中止操作完了のメッセージが表示されます。

3 [閉じる] を押します。



- 中止できるのは、プリンターに転送される前のページです。

注記

- プリンターによっては、プリンター側で印刷を中止する操作が必要なことがあります。その場合メッセージが表示されます。
- ネットワークでプリンターを使用している場合は、プリンター側で印刷を中止するとき、処理中の他の印刷ジョブを中止しないよう注意してください。
- コピーを途中で中止した場合、プリンターが印刷可能な状態になっていることを確認してから、次のコピーを開始してください。

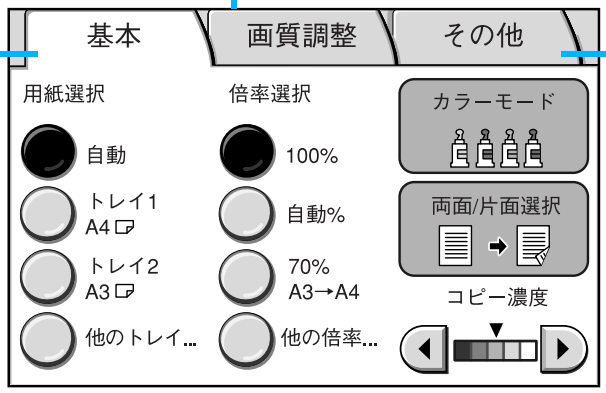
コピーの設定項目の紹介

●【コピー】の画面

［基本］画面
- 用紙選択
- 倍率選択
- カラーモード
- 両面 / 片面選択
- コピー濃度

［画質調整］画面
- おまかせ画質調整
- カラーバランス
- 原稿の画質
- シャープネス
- 地色除去
- 彩度

［その他］画面
- 仕分け
- ミックスサイズ原稿送り
- まとめて 1 枚 -2 アップ
- わく消し
- 原稿セット向き指定
- 原稿サイズ入力



各項目の詳細は ➔『オンラインマニュアル』「4 コピーする」

6

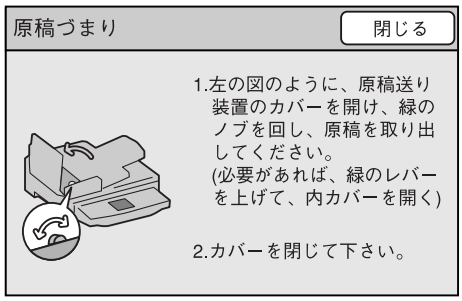
困ったときには

原稿が詰まったときの対処方法、スキャナーの使い方やトラブルに関する Q&A、エラーコードの意味などを説明しています。

- トラブルの原因は、本スキャナーの注意制限の場合もあります。注意制限事項については、オンラインマニュアルを参照してください。
- 解決策が見つからないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

原稿が詰まって困った

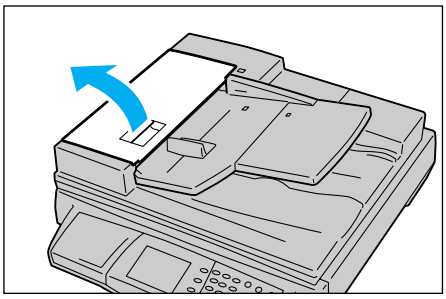
自動原稿送り装置に原稿が詰まると、機械が停止します。タッチパネルディスプレイに、右図のようなエラーメッセージが表示され、操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯します。メッセージに従って、原稿づまりの処置をしたあと自動原稿送り装置に原稿をセットし直します。



●スキャナユニット PR-MW-SC51 の場合

左側カバーを開ける

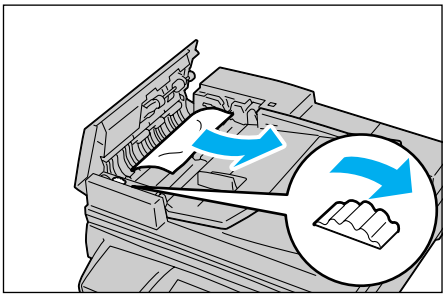
1 自動原稿送り装置の左側カバーのレバーを引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



● カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

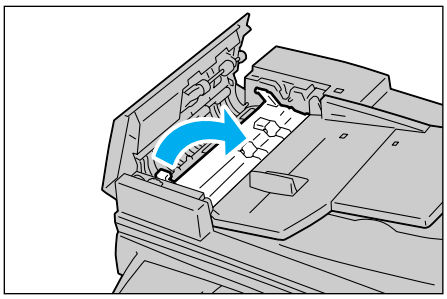
原稿の片側がスキャナーから出ている場合

2 緑色のノブを図のように回し、矢印方向に、原稿をゆっくり引き抜きます。



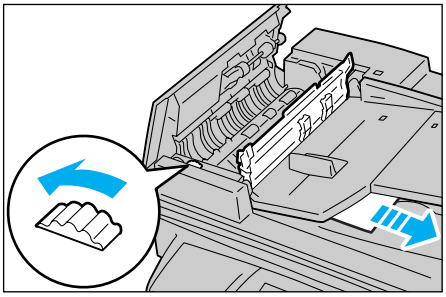
原稿の両側がはさまっている場合

3 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けます。

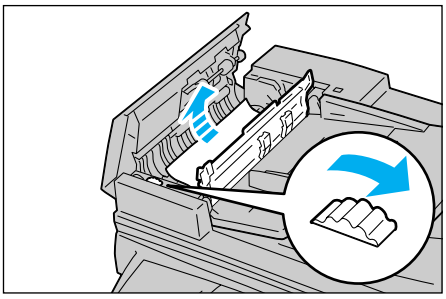


4 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

● 緑色のノブを図のように回し、原稿を排紙方向に送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。



● 緑色のノブを図のように回し、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。



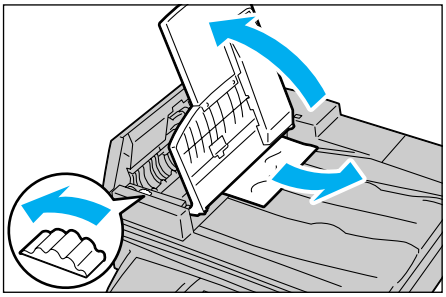
注記

ノブを回さずに原稿を引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

5 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。

原稿排出部にはさまっている場合

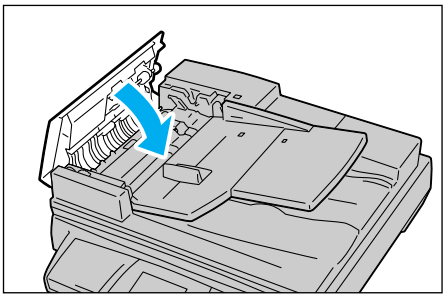
6 原稿送りトレイを上げて、緑色のノブを図のように回し、ゆっくり原稿を引き抜きます。



7 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

8 左側カバーを、カチッと音がして、はまるまで閉じます。

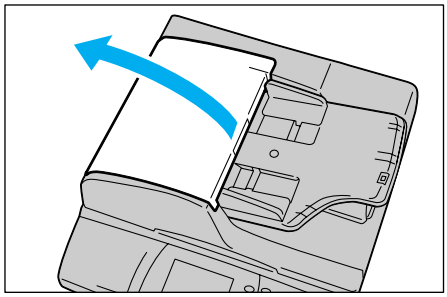


9 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

●スキャナユニット PR-MW-SC41 の場合

左側カバーを開ける

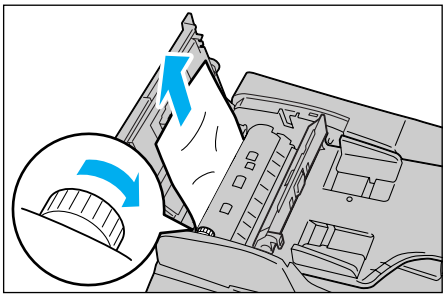
1 自動原稿送り装置の左側カバー中央の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



● カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

原稿の片側がスキャナーから出ている場合

2 緑色のノブを図のように回し、矢印方向に、原稿をゆっくり引き抜きます。

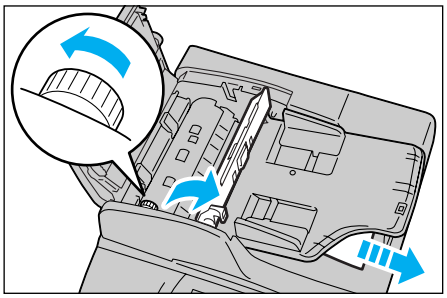


原稿の両側がはさまっている場合

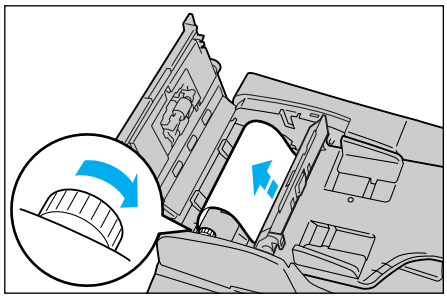
3 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けたままにします。

4 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

- 緑色のノブを図のように回し、原稿を排紙方向に送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。



- 緑色のノブを図のように回し、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。



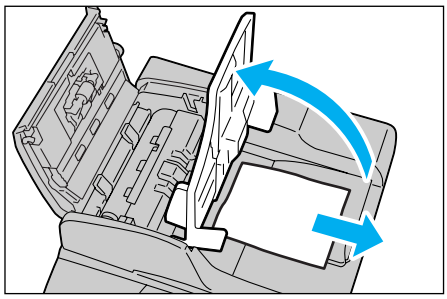
注記

ノブを回さずに原稿を引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

5 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。

原稿排出部にはさまっている場合

6 原稿送りトレイを上げたまま、ゆっくり原稿を引き抜きます。



7 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

8 左側カバーを、カチッと音がして、はまるまで閉じます。

9 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

スキャナーの使い方で困った

トラブルが発生した場合の対処方法や、よくある質問と回答を記載しています。
該当する処置をしてもトラブルが解消できない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

スキャナー本体で困った

スキャンやコピーができない

Q1 コピーできません。どうしてですか？

A プリンターとスキャナーを接続している USB ケーブルが抜けていませんか？

USB ケーブルを確実に差し込んでください。
➔35 ページ

USB ケーブルを差し込んでいる USB コネクターが故障していませんか？

スキャナーのほかの USB コネクターに USB ケーブルを差し込んで確認してください。
➔23 ページ、35 ページ

スキャナーがプリンターを認識していない可能性があります。プリンターが印刷可能状態でないときにスキャナーの電源を入れませんでしたか？

スキャナーの電源スイッチをいったん切り、プリンターが印刷可能状態になってから、スキャナーの電源を入れてください。

プリンターは、このスキャナーが対応しているプリンターですか？

以下の当社ホームページで、プリンターがスキャナーと接続して使用できる機種かどうかを確認してください。
URL：http://nec8.com/

プリンターのファームウエアが、スキャナーに対応していないバージョンの可能性があります。ファームウエアは最新版ですか？

以下の当社ホームページで、プリンターのファームウエアのバージョンがスキャナーに対応しているかどうかを確認してください。
URL：http://nec8.com/

対応していないときは、対応しているバージョンのファームウエアを、以下のホームページからダウンロードし、バージョンアップしてください。
URL：http://nec8.com/

Q2 カラーコピーできません。どうしてですか？ カラーのスキャンができません。どうしてですか？

A 次のことを確認してください。

[カラーモード] が [白黒] になっていませんか？

[カラーモード] の [フルカラー] を選択してください。
➔83 ページ、92 ページ、『オンラインマニュアル』「3.7 基本スキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

接続しているプリンターは、カラープリンターですか？

白黒プリンターの場合、カラーコピーはできません。カラープリンターに接続してください。

「暗証番号」で困った

Q3 機械管理者暗証番号を忘れて、[仕様設定]画面を表示できません。どうしたらいいですか？

A **機械管理者暗証番号を設定している場合、暗証番号を入力しないで［仕様設定］画面を表示することはできません。**

どうしても思い出せない場合は、サービス窓口にお問い合わせください。
機械管理者暗証番号を忘れないように管理してください。

Q4 暗証番号を入力する画面が表示されます。何を入力すればいいですか？

A **どの操作をしたときに表示されましたか。**

鍵マークのついた宛先表フォルダーを選択したとき

宛先表フォルダーに設定されている暗証番号を入力してください。

宛先表フォルダーの暗証番号 ➔『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」の「宛先表フォルダーを登録する」
宛先表フォルダーの暗証番号を忘れたときは ➔109 ページ (Q42)

［仕様設定］を押したとき

機械管理者暗証番号を入力してください。

機械管理者暗証番号 ➔『オンラインマニュアル』「7.8 機械管理者情報の設定」

［PC 保存］や［コピー］などのボタンを押したとき

機能認証の暗証番号を入力してください。

機能認証の暗証番号 ➔『オンラインマニュアル』「7.4 共通設定」の「機能認証」

その他の疑問

Q5 USB コネクターが、いくつかあります。それぞれ何に使うのですか？

A **USB コネクターは、前面、背面、側面のいずれかにあります。**

前面の USB コネクターは、【メディア保存】のときに USB フラッシュメモリーを挿入します。
背面 / 側面の USB コネクターは、【メディア保存】のときに USB フラッシュメモリーを挿入したり、【コピー】のときにプリンターと接続するために使用したりします。
なお、同時に複数のプリンターは接続できません。また、USB コネクターを使ってコンピューターとは接続できません。

各部のなまえ ➔22 ページ
【メディア保存】➔77 ページ
プリンターとの接続 ➔35 ページ

Q6 プリンターに取り付けたフィニッシャーの機能は、使用できますか？

A **いいえ。**

プリンターにフィニッシャーを取り付けている場合でも、コピー時にフィニッシャーの機能は使用できません。

原稿セットで困った

「サイズ」で困った

Q7 希望のサイズにスキャン / コピーされません。どうしたらいいですか？

A 次のことを確認してください。

OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ですか？
原稿ガラスに原稿をセットし、その上に白紙を載せてスキャン / コピーしてください。

原稿がずれていませんか？
原稿が正しくセットされていますか？
原稿を正しくセットしてください。
➔60 ページ

自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？
原稿ガイドを正しくセットしてください。
➔60 ページ

原稿が折れ曲がっていませんか？
原稿をのばして正しくセットし直してください。
➔60 ページ

定形外サイズの原稿をセットしていませんか？
原稿のサイズを入力してください。
➔63 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？
原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。
➔『オンラインマニュアル』「10.2 スキャナーの清掃」

「原稿送り」で困った

Q8 原稿が送り込まれません。どうしてですか？

A **原稿が小さくありませんか？**
自動原稿送り装置にセットできる原稿のサイズかどうかを確認してください。
使用できる原稿サイズ ➔58 ページ

Q9 原稿がたびたび詰まってしまいます。どうしてですか？

A 次のことを確認してください。

適切な原稿を使用していますか？
変形原稿や名刺、OHP フィルム、薄い原稿を使用していませんか？
自動原稿送り装置に適した原稿を正しくセットしてください。
使用できない原稿 ➔59 ページ

付せんやクリップ、セロハンテープなどをつけたまま使用していませんか？
付せんやクリップ、セロハンテープなどを取ってからスキャン / コピーしてください。

原稿ガイドの位置がずれていませんか？
原稿ガイドを正しくセットしてください。
➔60 ページ

原稿の一部が破れて、自動原稿送り装置に紙片が残っていませんか？
自動原稿送り装置のカバーを開けて確認してください。
➔94 ページ

サイズの異なる原稿を読み込むときに、[ミックスサイズ原稿送り] の設定が [する] になっていますか？
[ミックスサイズ原稿送り] の設定を [する] にしてください。
➔64 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.6 その他のコピー項目を設定する」

ミックスサイズ原稿送り機能を使用しているときに、A5 サイズの原稿をたて置きにして自動原稿送り装置にセットしていませんか？
A5 サイズの原稿は、よこ置きにセットしてください。
➔64 ページ

Q10 原稿の端が折れてしまいます。どうしてですか？

A **原稿がカールしていませんか？**
原稿のカールを直してから、セットしてください。

Q11 「原稿サイズが検知できません。」になります。どうしてですか？

A **節電中に原稿ガラスに原稿をセットしてから、〈節電中 / 解除〉ボタンを押してスキャンしませんでしたか？**
節電中、または節電解除中（タッチディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態）は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知できません。
節電中または節電解除中は、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください」という表示が消えてから、原稿をセットしてください。

画質で困った

Q12 スキャン画像またはコピーが汚れてしまいます。どうしてですか？

A **次のことを確認してください。**

OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ではありませんか？
透過度が高い原稿では、原稿カバーの汚れがスキャン画像やコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてスキャン / コピーしてください。

原稿がカラーペーパー、ザラ紙、青焼きなどではありませんか？
読み取り濃度またはコピー濃度を調整するか、画質を調整してスキャン / コピーしてください。
➔83 ページ、92 ページ、『オンラインマニュアル』「3.7 基本スキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

光沢のある印画紙をスキャン / コピーしていませんか？
原稿が光沢のある印画紙の場合は、原稿ガラスに張りつきやすく、影が汚れのようになることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてスキャン / コピーしてください。

原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？
原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。
➔『オンラインマニュアル』「10.2 スキャナーの清掃」

Q13 スキャン画像またはコピーに黒線や色線が入ってしまいます。どうしてですか？

A **自動原稿送り装置の読み取りガラスが汚れていませんか？**

原稿読み取りガラスを清掃してください。

➔『オンラインマニュアル』「10.2 スキャナーの清掃」

原稿カバーを開いたままスキャンまたはコピーしませんでしたか？

冊子の原稿をスキャンまたはコピーしませんでしたか？

［わく消し］機能を使うと、原稿の枠やとじしろの黒い影を消すことができます。

➔83 ページ、92 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

Q14 スキャン画像またはコピーがずれています。どうしてですか？ スキャン画像またはコピーが曲がっています。どうしてですか？

A **次のことを確認してください。**

原稿が正しくセットされていますか？

原稿を正しくセットしてください。

➔60 ページ

自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？

原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端にあててください。

➔60 ページ

原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？

貼り合わせたのりの部分や折りの部分が反り返って、原稿ガラスに密着せず、原稿が浮いていることが考えられます。原稿の上に白紙の束を載せて、原稿ガラスに密着するようにセットしてください。

Q15 縞模様が発生してしまいます。どうしてですか？

A **スキャン / コピーの倍率、またはスキャンの解像度によって、縞模様が発生することがあります。**

スキャン / コピーの倍率またはスキャンの解像度を調整してください。

➔83 ページ、92 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」

スキャンで困った

「スキャンの設定」で困った

Q16 毎回 [カラーモード] を設定しないで済む方法はありますか？

A **初期値を変更してください。
または、スキャンの定型設定をしてください。**

初期値の変更 ➔『オンラインマニュアル』「7.7 スキャナー設定」の「スキャナー機能設定初期値」
スキャンの定型設定 ➔55 ページ、『オンラインマニュアル』「5.1 宛先表の概要」、「8.2 宛先を登録する」

「原稿の向き」で困った

Q17 原稿が正しい向きに取り込めません。どうしたらいいですか？

A **コンピューターに取り込んでから、向きを直してください。**

たとえば、A3 でよこ向きの原稿をたて長にセットしたら、原稿ガラスからはみ出してしまいます。A4 より大きいよこ向きの原稿を読み込むときは、よこ長にセットするしかありません。コンピューターに取り込んでから MultiWriter スキャンマネージャ、DocuWorks などのソフトウエアで開いて修正してください。
MultiWriter スキャンマネージャは、同梱のソフトウェア CD-ROM からインストールできます。

インストール方法 ➔39 ページ
修正のしかた ➔『オンラインマニュアル』「8.6 画像を 1 つずつ編集する」

Q18 両面原稿をスキャンしました。コンピューターで開いたら、向きが指定したとおりになっていません。どうしてですか？

A **JPEG または TIFF の場合は、両面のセット向きを指定しても無効になります。**

原稿送り装置を使って両面の原稿をスキャンする場合、［原稿セット向き指定］を［読める向き］にすると、コンピューターで開いたときに正しい向きで取り込めます。ただし、この機能は、出力ファイル形式を PDF または DocuWorks文書にした場合にだけ働きます。JPEG または TIFF の場合は、コンピューターに取り込んでからソフトウエアで開いて修正してください。

原稿セット向き指定 ➔60 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
出力ファイル形式 ➔66 ページ、『オンラインマニュアル』「3.7 基本スキャン項目を設定する」
修正のしかた ➔『オンラインマニュアル』「8.6 画像を 1 つずつ編集する」

ファイルで困った

Q19 フルカラーまたはグレースケールでスキャンした TIFF が開きません。どうしたらいいですか？

A **フルカラーまたはグレースケールでスキャンした TIFF は、表示ソフトウエアによっては開けなかったり、1 ページめしか表示されなかったりします。**

MultiWriter スキャンマネージャの MultiWriter スキャンビューワなら、カラーの TIFF に対応しています。MultiWriter スキャンマネージャは、同梱のソフトウェア CD-ROM からインストールできます。

インストール方法 ➔39 ページ

Q20 【PC 保存】、【メディア保存】のときに、フォルダーが自動的に作成されないようにできますか？

A **スキャンをするときに、変更できます。または、仕様設定で初期値を変更できます。**

スキャンをするときは、［PC 保存先］/［保存先］画面で、［ファイル名変更...］>［詳細設定］>［フォルダー作成］>［しない］を選択すると、自動作成しない設定に変更できます。

初期値を変更するときは、操作パネルで、［仕様設定］>［スキャナー設定］>［スキャナー名の詳細設定］>［1. フォルダー作成］>［しない］を選択すると、自動作成しない設定に変更できます。

スキャン時の変更 ➔『オンラインマニュアル』「3.4 PC に保存する」、「3.6 メディアに保存する」
初期値の変更 ➔『オンラインマニュアル』「7.7 スキャナー設定」

Q21 自動で付くファイル名の「img-xxx」のルールを変えたいのですが・・・。

A **スキャンをするときに、変更できます。**

【PC 保存】、【メディア保存】のときは、［PC 保存先］/［保存先］画面の［ファイル名変更...］を押して変更します。

【メール送信】のときは、［メール宛先］画面で［詳細設定...］を押して、［詳細設定］画面を表示します。［ファイル名］を選択して、［設定 / 変更］を押し、変更します。

➔『オンラインマニュアル』「3.4 PC に保存する」、「3.5 メールで送信する」、「3.6 メディアに保存する」

その他の疑問

Q22 1 つのデータとしてスキャンできる枚数は、何枚ですか？

A **500 枚です。画面に表示される［次原稿あり］を使って、1 つのデータ（ジョブ）としてスキャンできます。**

➔80 ページ

Q23 ちゃんとスキャンできたかどうかを確認できますか？

A **ジョブ一覧を表示して、正常にコピーやスキャンが完了したかどうかを確認できます。**

ジョブ一覧を表示するには、操作パネルの〈メニュー〉ボタン>［ジョブ確認］を押します。ジョブ一覧を表示した［ジョブ実行完了］画面で、ジョブの状態を確認できます。ジョブの詳細を見たいときは、一覧からジョブを選択します。

スキャンで困った【PC 保存】

「準備」で困った

Q24 SMB で【PC 保存】をする場合、開放されていなくてはならない具体的なポート・プロトコルをすべて教えてください。

A **保存先のコンピューターの、ポート 139（TCP）と 137（UDP）の両方が開放されている必要があります。**

どちらか片方が開放されただけでは、SMB で【PC 保存】できません。

Q25 サブネットが異なる場合の注意はありますか？

A **次のことに注意してください。**

Windows XP ServicePack2、および Windows Vista の場合：
Windows ファイアウォールの［例外］タブの設定で、［ファイルとプリンタの共有］にチェックが入っていたとしても、［ファイルとプリンタの共有］のスコープの設定が、Windows XP SP2 の場合、［ユーザーのネットワーク（サブネットのみ）］、Windows Vista の場合、［ローカルサブネット］に設定されていると、異なるサブネットのコンピューターへの転送はできません（スキャナーと同一サブネット上のコンピューターに対しては転送できます）。
異なるサブネット上のコンピューターに対して転送する場合には、スコープの設定を任意、カスタムなどへ変更してご利用ください。
スコープの設定についての詳細は、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

「設定」で困った

Q26 ドメイン管理されている Windows ネットワーク環境の場合、SMB で【PC 保存】するときの設定で、注意はありますか？

A **ユーザー名をドメイン形式で指定してください。**

NetBIOS 形式ドメインユーザー：
Windows NT Server のドメインコントローラー環境下のネットワーク上にあるコンピューターの共有フォルダーに PC 保存（SMB）する場合は、ユーザー名を「ドメイン名 ¥ ユーザー名」の形式で指定します。
例：　domain¥user

UPN 形式ドメインユーザー：
本機は、Active Directory に対応しています。Windows Server 2003、Windows 2000 Server の Active Directory 環境下のネットワーク上にあるコンピューターの共有フォルダーに PC 保存（SMB）する場合は、ユーザー名を「ユーザー名 @ ドメイン名」の形式で指定します。
例：　user@domain1.domain2

詳細は ➔『オンラインマニュアル』「3.4 PC に保存する」

【PC 保存】ができない

Q27 【PC 保存】で、コンピューターに保存できません。どうしたらいいですか？

A 次のことを確認してください。

次の値は、正しく設定されていますか？

- 転送プロトコル
- サーバー名 /IP アドレス
- 保存場所
- 共有名（SMB の場合）
- ユーザー名
- パスワード

PC 保存の設定項目について ➔54 ページ

FQDN または DNS ホスト名の形式でサーバー名（保存先のコンピューター名）を設定した場合、DNS サーバーの設定は正しいですか？

CentreWare Internet Services の次の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。

- ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［DNS］

➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

SMB で、スキャナーとは異なるサブネット上のコンピューター名を NetBIOS 名で指定した場合、WINS サーバーの設定は正しいですか？

CentreWare Internet Services の次の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。

- ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［WINS］

➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

また、WINS サーバーが設置されていない場合は、コンピューターの固定 IP アドレスを宛先に設定する必要があります。
保存先コンピューターに固定IPアドレスを設定したら、宛先の設定項目［サーバー名 /IP アドレス］を保存先コンピューターの固定 IP アドレスに変更してください。

➔『オンラインマニュアル』「8.3 宛先の登録内容を変更する」

時間がかかる

Q28 スキャンしたとき、コンピューターへの接続やスキャン開始に時間がかかります。原因は何ですか？

A **スキャナーに正しい DNS サーバーアドレスまたは WINS サーバーアドレスが設定されていないと時間がかかります。**

DNS サーバーアドレスと、WINS サーバーアドレスが正しいかどうかを、CentreWare Internet Services の次の項目で確認してください。

- ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［DNS］または［WINS］

Q29 スキャンしたとき、コンピューターへの接続やスキャン開始に時間がかかる場合、実行中のジョブをキャンセルする方法はありますか？

A **キャンセルできません。**

ただし、コンピューターへの接続を、自動的に中止するまでの時間を短くできます。
設定は、CentreWare Internet Services で行います。

SMB の場合：

- ［プロパティ］>［SMB クライアント］で、［接続開始タイムアウト］の時間を短くします。

FTP の場合：

- ［プロパティ］>［FTP クライアント］で、［接続開始タイムアウト］の時間を短くします。

スキャンで困った【メール送信】

「設定」で困った

Q30 メール送信時の［送信者］には、どのようなアドレスを入れるべきでしょうか？

A **受信できるメールアドレスを設定してください。**

エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。メール送信をするときは、［送信者］には、スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。

Q31 【メール送信】で、メールが送信できません。どうしたらいいですか？

A **メールまたは TCP/IP の設定は正しいですか？**

CentreWare Internet Services の次の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。

- ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［メール］
- ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］

➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メール送信の上限データサイズを超えていませんか？

CentreWare Internet Services の次の項目で、［分割送信のページ単位］のページ数を減らしてください。または、［メール送信の上限データサイズ］を大きくしてください。

- ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［メール］>［分割送信のページ単位］または［メール送信の上限データサイズ］

➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

次の設定が適切ではありません。

- 読み取り解像度を下げてください。
- 画像圧縮率を高くしてください。

➔83 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

Q32 【メール送信】で、送信したメールが届きません。どうしたらいいですか？

A **入力したメールアドレスは正しいですか？**

メールアドレスの入力を確認してください。

その他の疑問

Q33 スキャナーは、メールを受信できますか？

A **できません。**

しかし、エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。メール送信をするときは、［送信者］や［返信先アドレス］に、スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなどの、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。

MultiWriter スキャンマネージャで困った

Q34 スキャナーに接続できません。どうしたらいいですか？

A **次のことを確認または設定してから、［スキャナの選択］ダイアログボックスの［再検索］をクリックしてください。**

- ［SNMP］が［起動する］になっているか。
  スキャナーの［仕様設定］＞［ネットワーク設定］＞［ポート設定］で確認、または CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［プロトコル設定］＞［SNMP］で確認。
  ➔『オンラインマニュアル』「7.5 ネットワーク設定」または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- TCP/IP の設定が正しいか。
  スキャナーの操作パネルの［仕様設定］＞［ネットワーク設定］＞［プロトコル設定］で確認、または CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［プロトコル設定］＞［TCP/IP］で確認。
  ➔『オンラインマニュアル』「7.5 ネットワーク設定」、または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- ［検索条件の設定］ダイアログボックスの［コミュニティー名の設定］の［読み取り専用］があっているか。
  初期値は「public」。
  CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［プロトコル設定］＞［SNMP］の［コミュニティー名登録（取得専用）］で変更。
  ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- ［検索条件の設定］ダイアログボックスで、タイムアウト時間をより長く設定する。
  ➔『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」、MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ
- ［検索条件の設定］ダイアログボックスで、サブネットを変更する。
  ➔『オンラインマニュアル』「8.2 宛先を登録する」、MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ

Q35 かんたん設定モードを使用するときの注意事項はありますか？

A **次のことに注意してください**

- Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Vista をお使いの場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。
- Windows XP Professional を、ワークグループに接続されたネットワーク環境でお使いの場合、保存先フォルダーの［フォルダオプション］で、［簡易ファイルの共有を使用する（推奨）］のチェックを外してください。➔41 ページ
- かんたん設定モードで作成した宛先は、サーバー名に NetBIOS 名を使っています。このため、コンピューターとスキャナーが異なるサブネットにあって、かつ WINS を使用していない環境では、スキャン時にネットワーク転送エラーになります。保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定してから、宛先の登録内容の［サーバー名］を固定 IP アドレスに変更してください。➔『オンラインマニュアル』「8.3 宛先の登録内容を変更する」
- 保存先が Windows XP Home Edition の場合は、かんたん設定モードは使用できません。➔53 ページ

CentreWare Internet Services で困った

「起動」で困った

Q36 CentreWare Internet Services に接続できません。どうしてですか？

A

スキャナーは正常に作動していますか？

スキャナーの電源が入っているかを確認してください。

CentreWare Internet Services が起動されていますか？

スキャナーの操作パネルで、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [2.CW インターネットサービス] を確認します。

[停止する] の場合、[確認 / 変更] > [起動する] > [決定] を押して、[電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押し、スキャナーの電源を切り、入れ直します。

なお、電源を入れ直すときは、電源を切ってタッチパネルディスプレイの表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。

URL は正しく入力されていますか？

URL をもう一度確認してください。接続できない場合、FQDN 形式で入力しているときは、IP アドレス形式で入力して接続してください。

プロキシサーバーを使用していますか？

CentreWare Internet Services を使用するとき、プロキシサーバーを経由した場合の動作については保証していません。プロキシサーバーを使わないで接続してください。

➔42 ページ

SSL/TLS サーバー通信を有効にしていますか？

通信を暗号化するために、SSL/TLSサーバー通信を有効にしている場合、CentreWare InternetServices に接続するには、ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

「表示」で困った

Q37 最新の情報が表示されません。どうしてですか？

A

[更新]、[表示更新]、または [最新の情報に更新] をクリックしてください。

Q38 日本語が正しく設定できません。どうしてですか？

A

シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できないことがあります。

Q39 表示言語が日本語になったり英語になったり、すぐに変わってしまいます。どうしてですか？

A

プロキシサーバーを使用しないで、スキャナーと接続してください。

設定しないと、表示言語が切り替わったり、入力した内容が反映されなかったりします。

➔42 ページ

「操作」で困った

Q40 [新しい設定を適用する] をクリックしても反映されません。どうしてですか？

A 入力した値は正しいですか？

入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されることがあります。

Q41 ページ中のボタンをクリックする代わりに、キーボードの〈Enter〉キーを押したとき、ページが戻るなどの現象が起きます。どうしてですか？

A キーボードの〈Enter〉キーを押すのではなく、ページ中のボタンをクリックしてください。

「ID やパスワード」で困った

Q42 宛先表フォルダーに設定した暗証番号を忘れてしまい、開けなくなりました。どうしたらいいですか？

A MultiWriter スキャンマネージャまたは CentreWare Internet Services から、「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を使って、宛先表フォルダーの暗証番号の設定を解除するか、変更します。「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」を使用できるシステム管理者に依頼してください。

工場出荷時の「機械管理者 ID」は「admin」、「機械管理者パスワード」は「NECPRADMIN」です。

Q43 機械管理者 ID や機械管理者パスワードを忘れて、設定を変更できません。どうしたらいいですか？

A どうしても CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を思い出せない場合は、操作パネルの［仕様設定］>［NVM 初期化］で、NV メモリーのうち「システムデータ」を初期化してください。

ただし、この場合は、システムデータがすべて工場出荷時の値に初期化されます。操作パネルの「機械管理者暗証番号」も忘れた場合は、［仕様設定］画面を表示できません。操作パネルの「機械管理者暗証番号」をどうしても思い出せない場合は、サービス窓口にお問い合わせください。

CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」、および操作パネルの「機械管理者暗証番号」を忘れないように管理してください。

➔『オンラインマニュアル』「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」

Q44 機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力する画面で、機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力しましたが、認証されません。どうしてですか？

A IME2000 と Internet Explorer 5.5/6.0 の組み合わせで使用していて、IME が KANA 入力モードになっていませんか？

IME を半角英数モードに切り替えて、入力し直してください。

電源を入れたあと、または最後に機械管理者認証に成功後、5 回連続で機械管理者認証に失敗すると、正しい機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力しても認証されません。その場合は、スキャナーの電源を入れ直すか、またはしばらくしてから、再度認証の操作をしてください。

ネットワークで困った

Q45 スキャナーの IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスはどこで確認できますか？

A **操作パネルで確認できます。**

IP アドレスとサブネットマスクは、［仕様設定］＞［ネットワーク設定］＞［プロトコル設定］で確認。

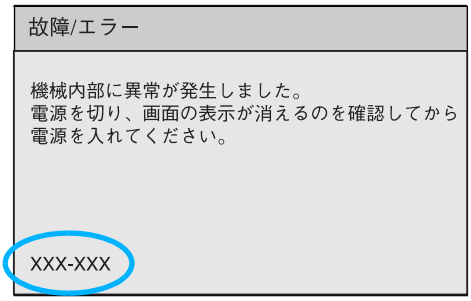
MAC アドレスは、［仕様設定］＞［共通設定］＞［保守 / 診断］＞［ソフトウエアバージョン］で確認。

➔『オンラインマニュアル』「7.5 ネットワーク設定」の「プロトコル設定」、「7.4 共通設定」の「保守 / 診断」

エラーコードで困った

エラーが発生してスキャンが正常に終了しなかった場合やスキャナーに故障が発生した場合は、メッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。以下の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

【エラーメッセージ画面例】



注記

- エラーコードが表示されたときは、スキャナー内に残っているスキャンデータや、スキャナーのメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。
- スキャナーの電源を切ると、スキャナー内に残っているスキャンデータやスキャナーのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

表の「分類」は、各機能を表します。
C:【コピー】、P:【PC 保存】、M:【メール送信】、U:【メディア保存】、O: その他

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
003-711		○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿の圧縮処理に失敗しました。 【処置】 画像圧縮率を高く、または解像度を低くして、スキャンし直してください。 ➔83 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
003-770	○	○	○	○		【原因】 両面原稿の読み取り時に、拡大の倍率値が、設定可能な範囲を超えました。 【処置】 倍率を下げて、スキャン / コピーし直してください。 ➔83 ページ、92 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」
003-795	○	○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿を、指定された用紙サイズに拡大 / 縮小したときに、拡大 / 縮小の倍率が、設定可能な範囲を超えてしまいました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 倍率を直接入力する ・ 用紙サイズを変更する ➔83 ページ、92 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」、「4.4 基本コピー項目を設定する」
031-503			○			【原因】 メール送信時に指定した SMTP サーバーが、ネットワーク上で見つかりませんでした。 【処置】 SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、SMTP サーバーを FQDN で指定している場合、DNS サーバーの設定が正しいかを確認してください。 SMTP サーバー、DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-504			○			【原因】 メール送信時に指定した POP3 サーバーが、ネットワーク上で見つかりませんでした。 【処置】 POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、POP3 サーバーを FQDN で指定している場合、DNS サーバーの設定が正しいかを確認してください。 POP3 サーバー、DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-505			○			【原因】 メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。 POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-506			○			【原因】 SMTP サーバー /POP3 サーバーが設定されていません。 【処置】 SMTP サーバー、POP3 サーバーが設定されているかを確認してください。 SMTP サーバー、POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-507			○			【原因】 メール送信時に SMTP サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 SMTP サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。 SMTP サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-511				○		【原因】 USB フラッシュメモリーが認識できません。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・USB フラッシュメモリーのフォーマット形式を確認してください。対応している形式は、2GB 以下の FAT 形式または FAT32 形式です。 ・USB フラッシュメモリーにフォーマット異常がないかを確認してください。 ・USB フラッシュメモリーの接続を確認してください。 ・USB フラッシュメモリーが故障していないかどうかを確認してください。 USB フラッシュメモリーのフォーマット形式について ➔『オンラインマニュアル』「A.1 主な仕様」
031-515				○		【原因】 USBフラッシュメモリー内のファイル数が上限に達しました。 【処置】 保存先に指定したUSBフラッシュメモリーのフォルダーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。
031-521		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ログイン可能なコンピューターが制限されていました。 【処置】 指定したユーザーのプロパティ情報を確認し、ログイン可能なコンピューターが制限されていないかを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置	
	C	P	M	U	O		
031-522		○				【原因】	ユーザー名またはパスワードが間違っているため、スキャンデータの転送時に、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインできませんでした。
						【処置】	システム管理者にユーザー名またはパスワードを確認してください。
		○				【原因】	SMB サーバー（保存先のコンピューター）とスキャナーの時刻が一致していません。(Windows Server 2003 の場合に発生)
						【処置】	Windows Server 2003 の場合、SMB サーバー（保存先のコンピューター）とスキャナーの時刻を一致させてください。
031-523		○				【原因】	SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインしたときに、SMB サーバーの共有名に、次のような問題がありました。 ・ 指定された共有名がサーバー上に存在しません。 ・ 指定された共有名に禁則文字が使用されていました。
						【処置】	指定した共有名を確認して、正しく設定してください。
031-524		○				【原因】	SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインしたときに、ユーザー数が制限を超えました。
						【処置】	次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 共有フォルダーの接続ユーザー数の制限を確認してください。 ・ サーバーの同時使用ユーザー数が最大数を超えていないかを確認してください。
031-525		○				【原因】	SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）へのアクセス権がありません。
						【処置】	指定した保存場所で、ファイルやフォルダーの読み取り、および書き込みができるように設定してください。
031-526		○				【原因】	SMB で PC 保存しようとしましたが、DNS アクセス時に、保存先に指定したコンピューターが、ネットワーク上に見つかりませんでした。
						【処置】	次のいずれかの方法で処置してください。 ・ DNS サーバーとの接続を確認してください。 ・ 保存先のコンピューター名がDNSサーバーに登録されているかを確認してください。 ・ 保存先の指定が正しいかを確認してください。
031-527		○				【原因】	SMB で PC 保存しようとしましたが、DNS アクセス時に、DNS サーバーが設定されていませんでした。
						【処置】	次のどちらかの方法で処置してください。 ・ DNS サーバーアドレスを設定してください。 ・ 保存先コンピューターのアドレスを IP アドレスで設定してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-528		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、コンピューターとの接続に問題がありました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・保存先の SMB サーバー（コンピューター）とスキャナーがネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。たとえば、次の内容を確認してください。 -ネットワークケーブルの接続確認 -TCP/IP 設定確認 -137 番ポート（UDP）、139 番ポート（TCP）による通信の確認 ・保存先のコンピューターが SMB サーバーとして動作しているか、次のネットワーク設定を確認してください。 -Microsoft ネットワーク用のファイル共有サービスが有効になっていること -TCP/IP 設定において NetBIOS over TCP/IP が有効になっていること -ファイアウォール設定において、ファイル共有サービス（137 番ポート（UDP）、139 番ポート（TCP）による通信）が許可されていること ・サブネットを越える通信の場合、CentreWare Internet Services で WINS サーバーの設定を確認してください。WINS サーバーを使用しない場合、保存先は IP アドレスで指定してください。 ・保存先の SMB サーバー（コンピューター）で NetBIOS インターフェイスデバイスが、開始されているかを確認してください。（Windows NT4.0 Server/Workstation の場合） 確認方法は次のとおりです。 1.[スタート] メニュー> [設定] を選択し、[コントロールパネル] を開く。 2.[サービス] を開き、[Messenger] サービスを選択する。 3.[スタートアップ] > [自動] > [OK] の順に選択し、[閉じる] を選択する。 4.[コントロールパネル] の [デバイス] を開き、[NetBIOS インターフェイス] デバイスを選択する。 5.[スタートアップ] > [自動] または [手動] > [OK] の順に選択し、[閉じる] を選択する。 6.コンピューターを再起動する。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-529		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、指定したパスワードが間違っています。 【処置】 共有フォルダーに設定したパスワードを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-530		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、指定されたスキャンデータの保存場所かファイル名に、次のいずれかの問題があります。 ・ 指定された保存場所がサーバー上に存在しません。 ・ 指定された保存場所かファイル名に、禁則文字が使用されていました。 ・ 指定された保存場所は、分散ファイルシステム（DFS）設定のため、別の共有フォルダーにリンクされています。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 保存場所が正しいかを確認します。 ・ 指定したファイル名が SMB サーバー（保存先のコンピューター）上に作成可能なファイル名かを確認します。 ・ システム管理者に分散ファイルシステム（DFS）の設定を確認します。 確認方法は次のとおりです。 1.SMB サーバー（保存先のコンピューター）上で、［スタート］メニュー>［すべてのプログラム］>［管理ツール］>［分散ファイルシステム］を選択する。 2.[分散ファイルシステム］ウィンドウの左枠から指定した保存場所を選択し、ウィンドウの右枠に表示される［ターゲット］情報を確認する。 3.確認した情報に基づいて、SMB サーバー（保存先のコンピューター）、共有名、および保存場所を直接指定する。
031-531		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのファイル名またはフォルダー名の取得に失敗しました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-532		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのファイル名またはフォルダー名のサフィックスが制限値を超えました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）のファイル名または保存先フォルダーを変更してください。または、保存先フォルダー内のファイルを移動するか、削除してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-533		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのスキャンデータのファイル作成に失敗しました。 ・指定されたファイル名は、サーバー上にすでに存在しています。 ・指定されたファイルは、使用されています。 ・指定されたファイル名は、フォルダーとしてすでに存在しています。 ・指定されたファイル名に、禁則文字が使用されていました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・指定したファイル名が、保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。 ・指定したファイルが、別のユーザーによって使用されていないかを確認してください。 ・指定したファイル名と同じ名前のファイル、またはフォルダーが存在するかを確認してください。
031-534		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのフォルダー作成に失敗しました。指定したフォルダーは、すでに存在します。 【処置】 指定した名前と同じ名前のファイルまたはフォルダーが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上にあるかを確認してください。
031-535		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのファイルの削除に失敗しました。 ・ファイルが存在しません。 ・すでにファイルがオープンされています。 ・指定したファイル名はフォルダーとして、すでに存在しています。 【処置】 指定した保存場所で、ほかのユーザーがファイル操作を行っていないかを確認してください。
031-536		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのフォルダーの削除に失敗しました。 ・ファイルが存在しません。 ・フォルダーが空ではありません。 【処置】 指定した保存場所で、ほかのユーザーがファイル操作を行っていないかを確認してください。
031-537		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上の保存先に空き領域がありませんでした。 【処置】 保存場所に空き領域があるかを確認してください。
031-539		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）名の、NetBIOS 名の指定が正しくありませんでした。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）のサーバー名が正しいかを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-542		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作をしてください。 それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
031-543		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ログインできない時間帯でした。 【処置】 システム管理者にログインが許可されている時間帯を確認してください。
031-544		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、パスワードの有効期間が過ぎていました。 【処置】 システム管理者から有効なパスワードを取得してください。
031-545		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、パスワードの変更が必要でした。 【処置】 ユーザーアカウントのパスワードを変更してください。システム管理者に、次回ログイン時のパスワード変更をしなくてよいように、設定を変更してもらってください。
031-546		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ユーザーが無効になっていました。 【処置】 システム管理者に、ユーザーの有効化を依頼してください。
031-547		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ユーザーがロックアウトされていました。 【処置】 システム管理者に、ロックアウトの解除を依頼してください。
031-548		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ユーザーの有効期間が過ぎていました。 【処置】 システム管理者から有効なユーザーを取得してください。または、システム管理者にアカウントの期限の延長を依頼してください。
031-549		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ユーザーが制限されていました。空パスワードは許可されていません。 【処置】 ユーザーのパスワードを設定してください。
031-550		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ファイルに対する書き込み処理に失敗しました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-551		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、ファイルに対するファイル生成処理に失敗しました。 【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-552		○				【原因】 SMB で PC 保存しようとしましたが、[ファイル名重複時の処理] が [ジョブを中止（保存しない）] に設定されているため、ファイルを保存できませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・保存先にある同名のファイルを削除、または名前を変更して、もう一度スキャンしてください。 ・[ファイル名重複時の処理] を [ジョブを中止（保存しない）] 以外に設定して、もう一度スキャンしてください。 ➔『オンラインマニュアル』「3.4 PC に保存する」
031-574		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、保存先に指定したサーバー名のコンピューターが、ネットワーク上に見つかりませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・DNS サーバーとの接続を確認してください。 ・保存先の FTP サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
031-575		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、DNS サーバーが設定されていませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・DNS サーバーアドレスを設定してください。 ・保存先の FTP サーバーのアドレスを IP アドレスで設定してください。
031-576		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、サーバーに接続できませんでした。 【処置】 保存先の FTP サーバーとスキャナーがネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。たとえば、次の内容を確認してください。 ・FTP サーバーの IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続を確認してください。 ・保存先のコンピューターの、FTP サーバーが起動しているかを確認してください。
031-578		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、ログインできませんでした。 【処置】 ログイン名（ユーザー名）およびパスワードが正しいかを確認してください。
031-579		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、スキャンデータを保存場所に保存できませんでした。 【処置】 保存場所の指定が正しいかを確認してください。
031-580		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバーのファイル名 / フォルダー名の取得に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-581		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、ファイル名 / フォルダー名のサフィックスが制限値を超えました。 【処置】 ファイル名または保存先フォルダーを変更してください。または、保存先フォルダー内のファイルを移動するか、削除してください。
031-582		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルの作成に失敗しました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 指定した名前が、保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。 ・ 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-584		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、フォルダーの作成に失敗しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 指定した名前が、保存場所に作成可能なフォルダー名かを確認してください。 ・ 指定した名前と同じ名前のフォルダーが、すでに存在していないかを確認してください。 ・ 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-585		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバー内でのファイルの削除に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-587		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバー内でのフォルダーの削除に失敗しました。 【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-588		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバーへのデータ書き込みに失敗しました。 【処置】 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-590		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、[ファイル名重複時の処理] が [ジョブを中止（保存しない)] に設定されているため、ファイルを保存できませんでした。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 保存先にある同名のファイルを削除、または名前を変更して、もう一度スキャンしてください。 ・ [ファイル名重複時の処理] を [ジョブを中止（保存しない)] 以外に設定して、もう一度スキャンしてください。 ➔『オンラインマニュアル』「3.4 PC に保存する」
031-594 031-595		○				【原因】 FTP で PC 保存しようとしましたが、ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作をしてください。 それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	分類					原因 / 処置	
	C	P	M	U	O		
031-597		○				【原因】	FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、同名ファイルあるいはフォルダーがあったため、処理を中止しました。
						【処置】	複数の機械から同一サーバーの同一フォルダーにアクセスしない状態で、もう一度同じ操作をしてください。 それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
031-598		○				【原因】	FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルに対する書き込み処理に失敗しました。
						【処置】	FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-599		○				【原因】	FTP で PC 保存しようとしましたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルに対するファイル生成処理に失敗しました。
						【処置】	FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。
031-700	○					【原因】	接続プリンターに異常が発生しました。
						【処置】	プリンターの操作パネルを確認してください。対処方法はプリンターの取扱説明書を参照してください。
031-701	○					【原因】	接続プリンターとの通信が遮断されました。
						【処置】	スキャナーとプリンターの接続を確認し、プリンターの電源が入っていることを確認してください。
031-702	○					【原因】	接続プリンター側でジョブが中止されました。
						【処置】	プリンターを確認してください。
031-710	○	○	○	○		【原因】	読み取り範囲の認識に失敗しました。
						【処置】	原稿をセットし直し、スキャンし直してください。 再び同じメッセージが表示された場合は、表示内容を書き写してください。 そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
031-722					○	【原因】	宛先表の保存 / 復元に失敗しました。
						【処置】	CentreWare Internet Services、MultiWriter スキャンマネージャからアクセスしている可能性があります。 CentreWare Internet Services、MultiWriter スキャンマネージャからのアクセスを中止して、保存 / 復元し直してください。
031-723					○	【原因】	宛先表の復元に失敗しました。
						【処置】	宛先表の内容が適正でない可能性があります。スキャナーから保存した宛先表かどうかを確認してください。
031-724					○	【原因】	スキャナー内の宛先数が最大登録可能数（350 件）を超えたため、すべての宛先表データを復元できませんでした。
						【処置】	CentreWare Internet ServicesまたはMultiWriterスキャンマネージャで、スキャナー内の不要な宛先を削除してから、復元を行ってください。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ

エラーコード	分類					原因 / 処置	
	C	P	M	U	O		
031-730 031-731				○		【原因】	設定 / 登録データの保存に失敗しました。
						【処置】	次のいずれかの方法で処置してください。 ・USBフラッシュメモリーが抜けていないかを確認してください。 ・USB フラッシュメモリーに不良（空き容量含む）がないかを確認してください。 ・USBフラッシュメモリーがライトプロテクトされていないかを確認してください。
031-732					○	【原因】	設定 / 登録データの復元に失敗しました。
						【処置】	次のいずれかの方法で処置してください。 ・USBフラッシュメモリーが抜けていないかを確認してください。 ・USB フラッシュメモリーに不良（空き容量含む）がないかを確認してください。 ・復元するファイルが壊れていないかを確認して、再度、復元を実行してください。
031-733					○	【原因】	設定 / 登録データの復元に失敗しました。
						【処置】	復元するファイルが壊れていないかを確認して、再度、復元を実行してください。
031-764			○			【原因】	SMTP サーバーとの接続時にエラーが発生しました。
						【処置】	システム管理者にご相談ください。
031-765			○			【原因】	SMTP サーバーの容量が不足しています。
						【処置】	システム管理者にご相談ください。
031-766			○			【原因】	SMTP サーバーで、メールボックスの容量が不足しています。
						【処置】	システム管理者にご相談ください。
031-767			○			【原因 1】	宛先のメールアドレスが正しくありません。
						【処置 1】	メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。
						【原因 2】	SMTPサーバーでPOP before SMTP認証エラーが発生しました。
						【処置 2】	送信時の認証方式がPOP before SMTPかどうかを確認してください。POP before SMTP 認証を使用する場合は、POP3 サーバーの設定が必要です。 送信時の認証方式、および POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-768			○			【原因】	送信元のメールアドレスが正しくありません。
						【処置】	メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。
031-786		○				【原因】	スキャンデータの送受信でタイムアウトエラーが発生しました。
						【処置】	ネットワークケーブルが断線していないか、正しく接続されているかどうかを確認してください。 ネットワークケーブルに問題がない場合は、システム管理者にご相談ください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-788		○		○		【原因】 ファイル名が同じファイルが存在しました。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 ・ ファイル名重複時の処理で［上書き保存］を指定するか、［ファイル名を変更して保存］を指定してください。 ・ 保存先の同一名のファイルを削除してください。 ➔『オンラインマニュアル』「3.4 PC に保存する」
031-950				○		【原因】 USB フラッシュメモリーの空き容量が不足しています。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーに保存できる空き容量を確保してください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 ➔84 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
031-951				○		【原因】 メディア保存しようとしたファイルサイズが上限に達しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 ➔84 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
031-985			○			【原因】 メール送信できるデータサイズの上限に達しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のデータサイズ上限値を増やしてください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のページ分割送信の単位を少なくしてください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、83 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
031-986		○	○	○		【原因】 保存しようとしたファイルサイズがファイルフォーマットの上限に達しました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は、圧縮率を上げてください。 ➔83 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-987			○			【原因】 スキャンデータを蓄積する本機内のメモリーがいっぱいになりました。 【処置】 次のいずれかの方法で処置してください。 ・CentreWare Internet Services で、メール送信のデータサイズ上限値を増やしてください。 ・CentreWare Internet Services で、メール送信のページ分割送信の単位を少なくしてください。 ・解像度を下げてください。 ・画像を縮小して（A3 → A4 など）、再送信してください。 ➔CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、83 ページ、『オンラインマニュアル』「3.8 その他のスキャン項目を設定する」
062-360					○	【原因】 キャリッジロックがロックされている可能性があります。 【処置】 いったん電源を切り、キャリッジロックを解除してから、電源を入れ直してください。 ➔30 ページ
062-790	○	○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿が、コピー禁止の原稿です。 【処置】 「法律上の注意事項」(21 ページ) を参照して、コピーできる原稿を確認してください。
131-701		○		○		【原因】 【PC 保存】または【メディア保存】で、ファイル名を変更して保存しました。 【処置】 ［閉じる］を押します。
131-702		○		○		【原因】 【PC 保存】または【メディア保存】で、ファイル名を上書きして保存しました。 【処置】 ［閉じる］を押します。
131-703	○	○	○	○		【原因】 スキャンした総枚数が最大蓄積枚数（500 枚）を超えました。 【処置】 ページを確認して残りの原稿を再セットし、スキャンし直してください。

その他のエラーについて

以下のようなメッセージが表示された場合の処置について説明します。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
機械内部に異常が発生しました。 電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。 (xxx-yyy)	○	○	○	○	○	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、再度、電源スイッチを入れてください。 再び同じメッセージが表示された場合は、「xxx-yyy」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

オプション品一覧

主なオプション製品について説明します。お買い上げの際は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

商　品　名	型番	備考
スキャナテーブル	PR-MW-ST40	スキャナーを設置する専用のスタンドです。スキャナテーブルを使用すると、スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。

商品の種類や型番は 2007 年 7 月現在のものです。
価格などにつきましては、スキャナーのカタログを参考にしてください。当社ホームページでは、カタログを PDF ファイルで用意しています。

http://nec8.com/

製品情報の入手方法

スキャナーのファームウエアのバージョンアップについて

当社では、スキャナー本体に組み込まれたソフトウエア（以下、ファームウエアと呼びます）を提供しています。
最新のファームウエアは、以下の当社ホームページのアドレス（URL）から取り出し、バージョンアップできます。
表示されたホームページの指示に従って、該当するファームウエアをダウンロードし、バージョンアップしてください。

http://nec8.com/

- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

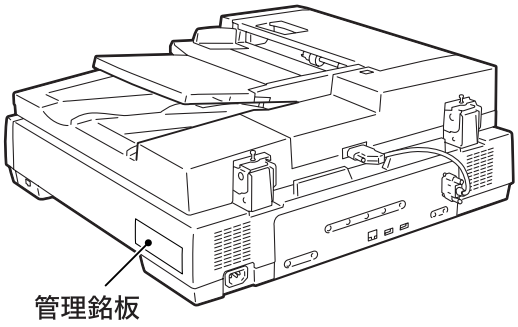
保証について

保証書について

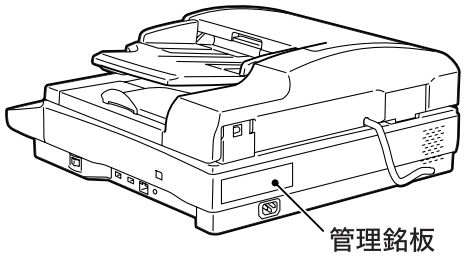
スキャナーには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、スキャナーに添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

注記

- 本体に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際に、この内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一スキャナーが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



スキャナユニット PR-MW-SC51



スキャナユニット PR-MW-SC41

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においても安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには、次のような種類があります。

- 契約保守
  年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理
  サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

●保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため、一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング（株）
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料*2	修理料 + 出張料	その都度清算	

*1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」、またはインターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。
*2　本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

スキャナーの寿命について

スキャナー製品の寿命は以下のとおりです

- PR-MW-SC51：
  スキャン回数（A3 サイズ）42 万回（自動原稿送り装置 28 万回 / 原稿ガラス 14 万回）、または使用年数 5 年のいずれか早い方
- PR-MW-SC41：
  スキャン回数（A4 サイズ）30 万回（自動原稿送り装置 25 万回 / 原稿ガラス 5 万回）、または使用年数 5 年のいずれか早い方

継続使用される場合や定期保守については、販売店または「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後 7 年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記の PC マニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、スキャナーの型番が必要になります。あらかじめお調べのうえ、お申し込みください。

品名：スキャナユニット PR-MW-SC51/PR-MW-SC41 ユーザーズマニュアル
なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PC マニュアルセンター

URL： http://pcm.mepros.com/
電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00 ～ 12：00/13：00 ～ 16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX： 03-5471-3996
24 時間受付。ただし、いただいた FAX に対する回答は翌営業日以降になります。

ポイント

- 製造終了後 7 年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
- 一部取り扱いのないマニュアルがあります。

情報サービスについて

・ スキャナー製品に関する最新情報
インターネット「NEC8 番街」 URL：http://nec8.com/
・ スキャナーに関する技術的なご質問、ご相談
NEC 121 コンタクトセンター
（電話番号、受付時間などについては、「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。）

索引

➔【○○○○】の【　】内は、本書で使用している用語です。

記号・英数

Active Directory ····· 104
CentreWare Internet Services に
接続できない ····· 108
DHCP サーバー ····· 33
DNS サーバーの設定 ····· 44
DocuWorks ····· 85
DocuWorks 文書 ····· 66
IP アドレス
　コンピューター ····· 54
　スキャナー ····· 33, 110
IP アドレスの取得方法 ····· 33
JPEG ····· 66
MAC アドレス
　スキャナー ····· 110
MultiWriter スキャンマネージャ ····· 39
NetBIOS 形式 ····· 104
【PC 保存】 ····· 67
PC 保存画面 ····· 67
PC 保存先 ····· 48
［PC 保存先］画面 ····· 83
PC 保存できない ····· 105
【PC 保存】の準備 ····· 40
PDF ····· 66
SMB/FTP ····· 83
SMB 共有名 ····· 54
TIFF ····· 66
UPN 形式 ····· 104
USB インターフェイス ····· 35
USB ケーブル ····· 35
USB コネクター ····· 22, 23, 78, 98
Web ブラウザー ····· 42
Windows Vista ····· 104
Windows XP ····· 104

ア

宛先 ····· 39, 45, 48, 51
宛先 /CC/BCC ····· 83
宛先の設定項目 ····· 54
宛先の選択 ····· 68, 72
宛先の登録 ····· 45
　PC 保存 ····· 48
　メール送信 ····· 51
宛先表 ····· 39, 45, 68, 72, 83, 84
宛先表フォルダー ····· 45, 98
宛先表フォルダー画面 ····· 68, 72
宛先表フォルダーの登録 ····· 47
安全にお使いいただくために ····· 12
安全にかかわる表示 ····· 2
インストール
　MultiWriter スキャンマネージャ ····· 39
インターフェイスケーブルを接続する→
【ケーブルの接続】 ····· 32
内カバー ····· 24, 94, 96
エラーコード ····· 111
エラーランプ ····· 94
延長ガイド ····· 24
オプション品 ····· 124
おまかせ画質調整 ····· 92
オンラインヘルプ
　CentreWare Internet Services ····· 44
　MultiWriter スキャンマネージャ ····· 47

カ

解像度 ····· 66
鍵マーク ····· 98
［画質調整］画面 ····· 92
画像圧縮率 ····· 83, 84
紙の重さ→【原稿の質量】 ····· 58
カラーコピーできない ····· 97

カラーでスキャンできない ····· 97
カラーバランス ····· 92
カラーモード ····· 83, 84, 92
かんたん設定モード ····· 40, 107
機械管理者 ID ····· 109
機械管理者暗証番号 ····· 33, 98
機械管理者暗証番号を忘れた ····· 98
機械管理者パスワード ····· 109
［基本］画面 ····· 92
［基本スキャン］画面 ····· 83, 84
キャリッジ ····· 22, 23, 30
キャリッジロック ····· 22, 23, 30
共有名 ····· 54, 83
ケーブルの接続 ····· 32
原稿受け ····· 24
原稿送りトレイ ····· 24, 95, 96
原稿ガイド ····· 24
原稿が送り込まれない ····· 99
原稿がたびたび詰まる ····· 99
原稿が詰まった ····· 94
原稿カバー ····· 22
原稿カバー開閉センサー ····· 22, 61
原稿が排紙ローラーにはさまっている ···· 94, 96
原稿ガラス ····· 22
原稿検知ランプ ····· 24
原稿サイズ入力 ····· 92
原稿セット向き指定 ····· 83, 84, 92
原稿の画質 ····· 83, 84, 92
原稿の質量 ····· 58
原稿のセット ····· 57, 60
原稿の端が折れる ····· 100
原稿の向き ····· 60, 102
件名 ····· 76
コピーができない ····· 97
コピー画面 ····· 88
コピーが汚れる ····· 100
コピー濃度 ····· 92
コピーの開始 ····· 90
コピーのしかた ····· 87
コピーの中止 ····· 91
コメント ····· 76
コントラスト ····· 83, 84
コンピューターに保存する→
【PC 保存】 ····· 40, 67

サ

サーバー ····· 83
サーバー名 ····· 54
サイズ
　希望のサイズにスキャン / コピーされない
　····· 99
サイズが異なる原稿→
【ミックスサイズ原稿送り】 ····· 64
彩度 ····· 92
削除 ····· 83
サブネット ····· 104
サブネットマスク
　スキャナー ····· 110
地色除去 ····· 83, 84, 92
時間がかかる ····· 105
自動原稿送り装置 ····· 24
自動検知できない ····· 100
縞模様が発生する
　コピー ····· 101
　スキャン画像 ····· 101
シャープネス ····· 83, 84, 92
出力ファイル形式 ····· 66, 83, 84
準備 ····· 37
準備の流れ ····· 38
詳細設定 ····· 83
使用できない原稿 ····· 59
使用できる原稿 ····· 58
情報サービス ····· 127
消耗品 ····· 126
ジョブ確認 ····· 103
仕分け ····· 92
スキャナーに接続できない ····· 107
スキャナーの寿命 ····· 126
スキャナーの選択 ····· 46
スキャナーのトラブル ····· 97
スキャナテーブル ····· 124
スキャン画像が汚れる ····· 100

スキャン結果の確認 …… 70, 75, 79
スキャンできない …… 97
スキャンの開始 …… 69, 75, 78
スキャンのしかた …… 65
スキャンの中止 …… 82
スキャンの定型設定 …… 49, 55
ずれる
　コピー …… 101
　スキャン画像 …… 101
製品情報 …… 124
接続できない
　CentreWare Internet Services …… 108
　スキャナー …… 107
設置 …… 27
設置の流れ …… 28
設置場所 …… 29
節電モード …… 26
セットできる原稿サイズ …… 58
セットできる枚数 …… 58
線が入る …… 101
操作パネル …… 22
送信者 …… 73, 83, 106
［その他］画面 …… 83, 84, 92

タ

タッチパネルディスプレイ …… 23
中止
　コピー …… 91
　スキャン …… 82
次の原稿があるとき …… 80
定形サイズでない原稿 …… 63
電源切り時のお願い …… 25
電源コードコネクター …… 23
電源コードを接続する …… 31
電源スイッチ …… 23
同梱品 …… 29
登録リスト …… 76
ドキュワークス→【DocuWorks】 …… 66, 85
ドメイン管理 …… 104
ドメイン形式 …… 104
トラブル
　Centreware Internet Services …… 108
　MultiWriter スキャンマネージャ …… 107
　PC 保存 …… 104
　エラーコード …… 111
　画質 …… 100
　原稿セット …… 99
　原稿の向き …… 102
　スキャナー本体 …… 97
　スキャン …… 102
　ネットワーク …… 110
　メール送信 …… 106
トラブル対処→【困ったときには】 …… 93

ナ

ネットワークコネクター …… 23
ネットワークに接続する …… 32
ノブ …… 24, 94, 95

ハ

倍率選択 …… 92
パス指定 …… 84
パスワード …… 54, 83
左側カバー …… 24, 94, 95
非定形サイズ …… 63
表示言語 …… 108
ファームウエア …… 124
ファイル …… 66
ファイル形式 …… 66
ファイル名 …… 103
ファイル名変更 …… 83, 84
フィニッシャー …… 98
フォルダーの登録 …… 47
部数 …… 89
付せんが貼られている原稿 …… 63
プリンターと接続する …… 35
プレビュー …… 81, 83, 84
返信先アドレス …… 74
ポート …… 104
ポート番号 …… 54
補修用性能部品 …… 126
保守サービス …… 125
保証書 …… 125

保存先 …… 68
［保存先］画面 …… 84
保存先フォルダー …… 40
保存場所 …… 54, 83
本体メールアドレス …… 44

マ

曲がる
　コピー …… 101
　スキャン画像 …… 101
まとめて 1 枚 -2 アップ …… 92
マニュアル体系 …… 10
マニュアルの再購入 …… 127
ミックスサイズ原稿送り …… 64, 83, 84, 92
［メール宛先］画面 …… 83
メール環境 …… 43
メール（グループ） …… 51
メール（個人） …… 51
【メール送信】 …… 71
メール送信画面 …… 71
メール送信できない …… 106
【メール送信】の準備 …… 42
メールに添付する→【メール送信】 …… 42, 71
メールの受信 …… 106
メディアの取り外し …… 79
メディア保存 …… 77
メディア保存画面 …… 77

ヤ

ユーザー名 …… 54, 83, 104
用紙選択 …… 92
汚れる
　コピー …… 100
　スキャン画像 …… 100
読み込み濃度 …… 83, 84
読み取り解像度 …… 66, 83, 84
読み取り可能エリア …… 58
読み取りサイズ …… 83, 84
読み取り倍率 …… 83, 84

ラ

両面 / 片面選択 …… 92
両面原稿 …… 102
両面原稿送り …… 83, 84
レバー …… 94, 96

ワ

わく消し …… 83, 84, 92

このマニュアルは再生紙を使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、廃棄の際は回収 リサイクルに出しましょう。

NEC